

Ⅲ 調査結果

【1】瀬戸内市のめざす姿に対する実感度と重要度について

問1. 瀬戸内市がめざしている将来（2040年）の姿に対する現在の「実感度」について、1～25の項目ごとに、あなたの考えに一番近いものそれぞれ1つに○印をつけてください。

1. 現在の实感度

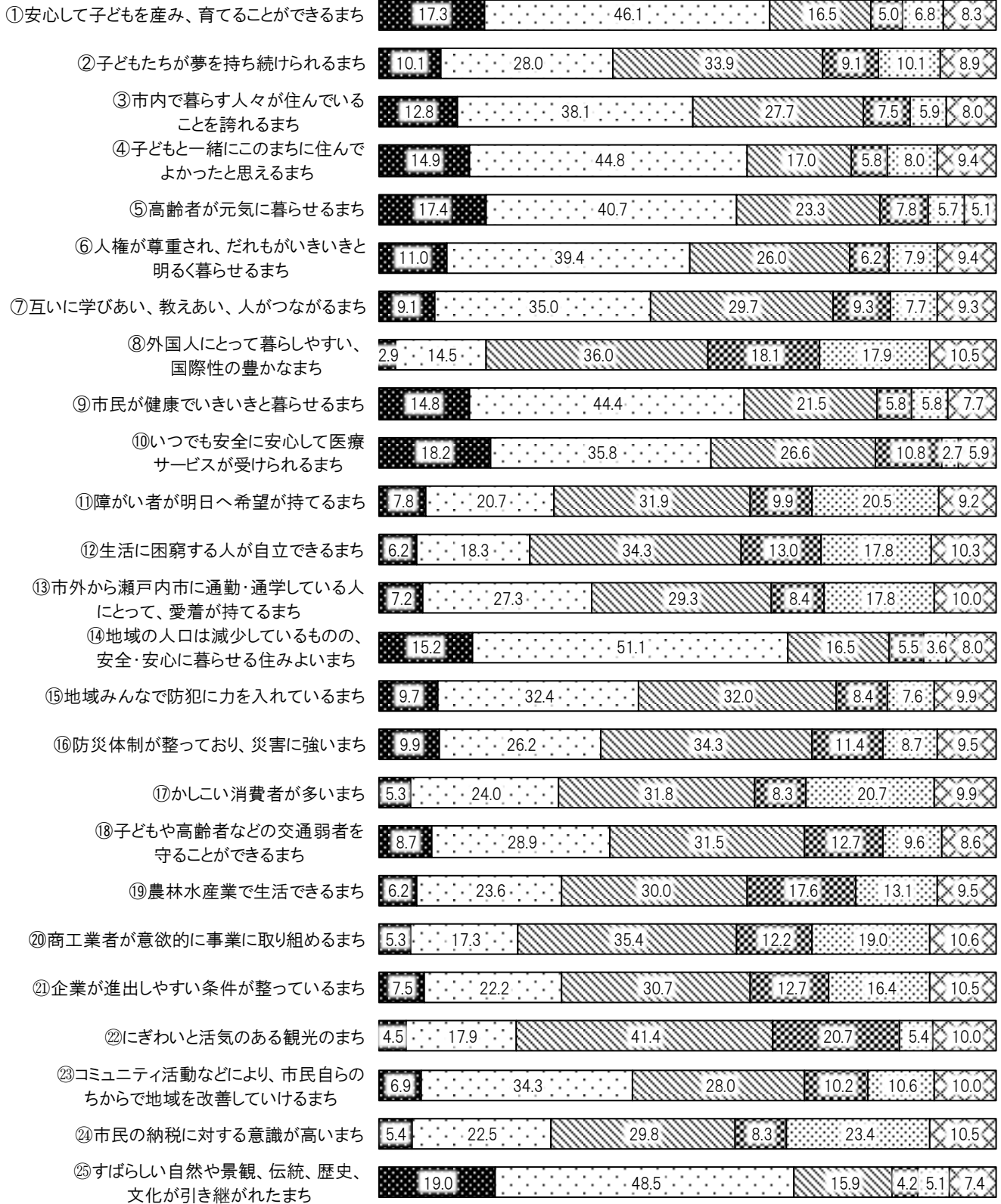
25の項目について、現在の实感度を5段階評価で質問したところ、「そう思う」への回答が最も高かったのは「㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち」（19.0%）で、以下「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」（18.2%）、「5. 高齢者が元気に暮らせるまち」（17.4%）、「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」（17.3%）、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（15.2%）、「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」（14.9%）、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」（14.8%）などの順となっている。

また、「思わない」への回答が最も高かったのは、「㉔にぎわいと活気のある観光のまち」（20.7%）であり、次いで「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（18.1%）、「⑰農林水産業で生活できるまち」（17.6%）の順となっている。

問1-1. 現在の実感度
全体(N=883)

■ そう思う □ まあ そう思う □ あまり そう 思う □ 思わない □ わから ない □ 無回答

凡例(%)



【実感度／平均評定値による集計】

実感度は以下に示す平均評定値（加重平均値）を算出する方法で点数化している。

- 「実感度」については「そう思う」「まあそう思う」への回答とともに、「あまりそう思わない」「思わない」「わからない」という選択肢もある。そのため、この「実感度」をよりの確に分析するために、平均評定値（加重平均値）による指標化を行った。
- 平均評定値（加重平均値）は、「そう思う」に＋2点、「まあそう思う」に＋1点、「あまりそう思わない」に－1点、「思わない」に－2点、「わからない」に0点の係数（ウエイト）を設定し、

【（「そう思う」の回答件数）×2（点）＋（「まあそう思う」の回答件数）×1（点）＋（「まあそう思う」の回答件数）×－1（点）＋（「思わない」の回答件数）×－2（点）＋（「わからない」の回答件数）×0（点）】÷【回答者件数－無回答件数】

の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「実感度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果でみると、実感度評価が最も高い施策は「㉕すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち」（0.672）で、以下「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」（0.591）、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（0.585）、「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」（0.510）、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」（0.444）、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」（0.385）などの順となっている。

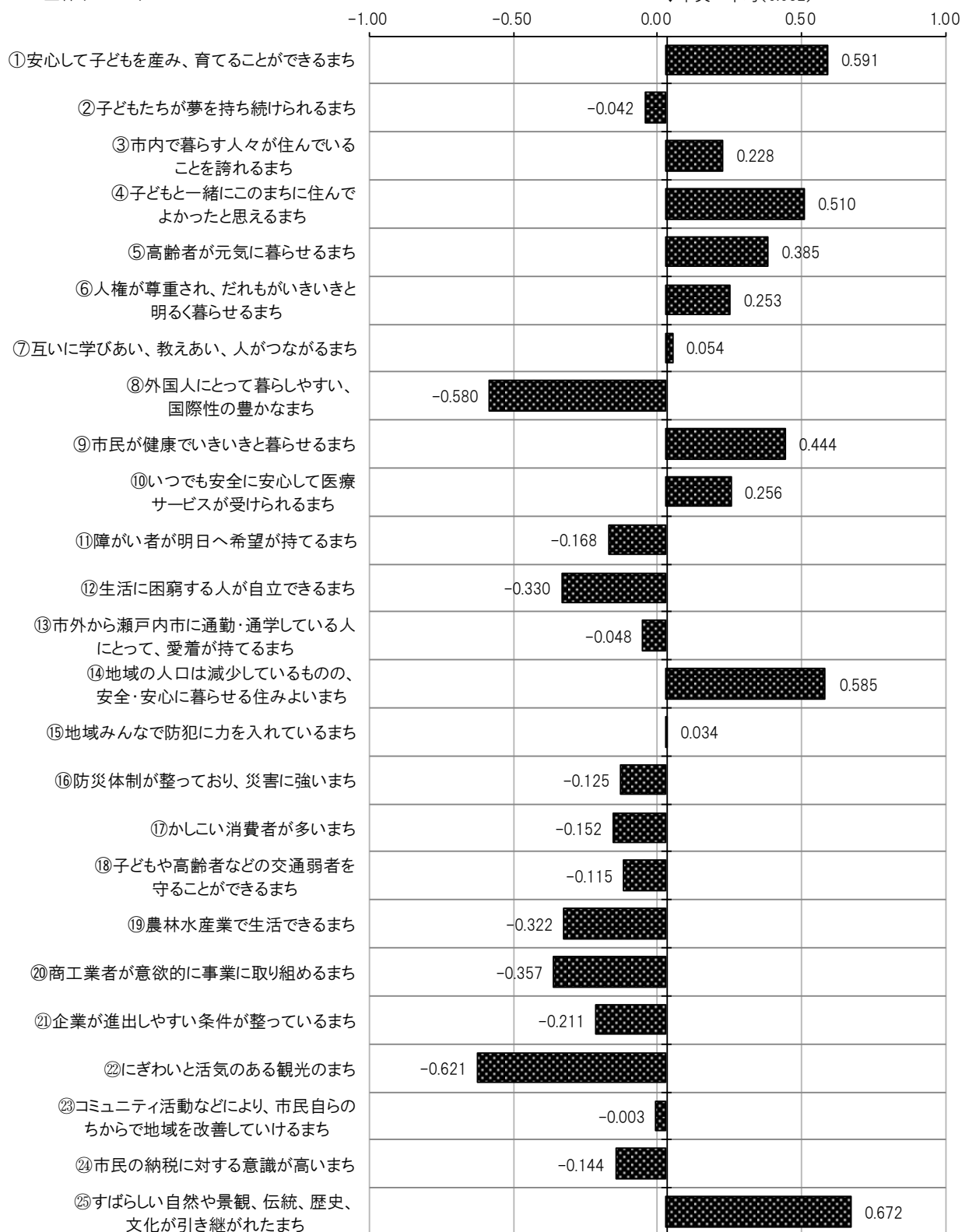
一方、相対的に実感度評価が低い施策としては、「㉔にぎわいと活気のある観光のまち」（－0.621）、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（－0.580）、「㉑商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」（－0.357）、「⑫生活に困窮する人が自立できるまち」（－0.330）、「⑲農林水産業で生活できるまち」（－0.322）などがあげられる。

全体的な評価の平均は0.032となっており、25項目中でウエイト値がプラス評価だったのは11項目、マイナス評価だったのは14項目となっている。

問1-1. 現在の実感度
全体(N=883)

低い ← → 高い

↓中央=平均(0.032)



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると今回、実感度が高くなった項目としては、「⑦互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち」、「⑮すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち」であり、「⑦互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち」についてはマイナス評価からプラス評価に転じている。

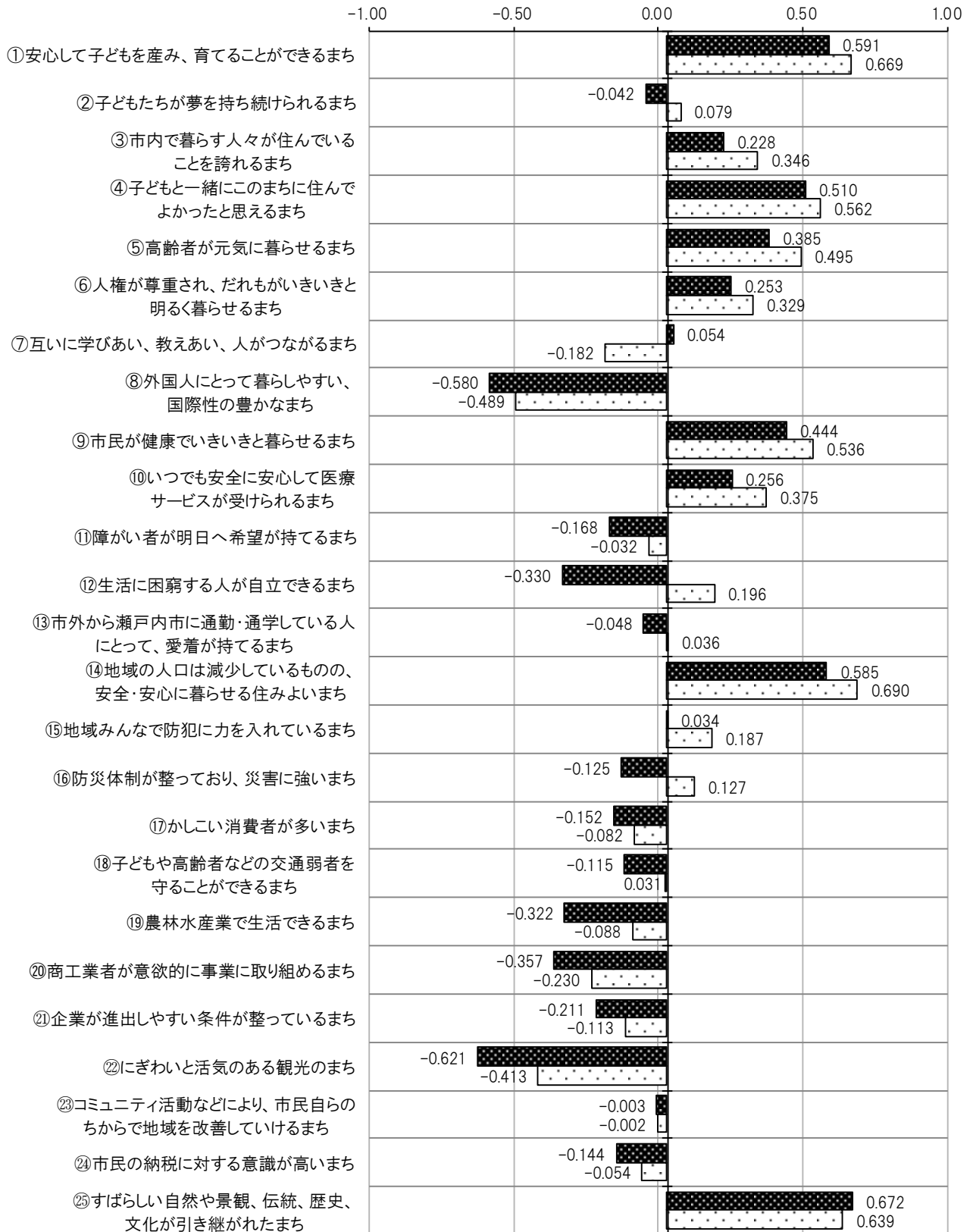
一方、実感度が低くなった項目としては、「⑫生活に困窮する人が自立できるまち」、「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」、「⑰農林水産業で生活できるまち」、「⑱にぎわいと活気のある観光のまち」などがあげられる。とくに「⑫生活に困窮する人が自立できるまち」、「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」はプラス評価からマイナス評価に転じており、全体的に前回調査と比較すると現在の実感度は低下している。

問1-1. 現在の実感度

■今回調査(H28年度 N=883)
□前回調査(H26年度 N=861)

低い ← → 高い

↓中央=今回平均(0.032)



2. 現在の重要度

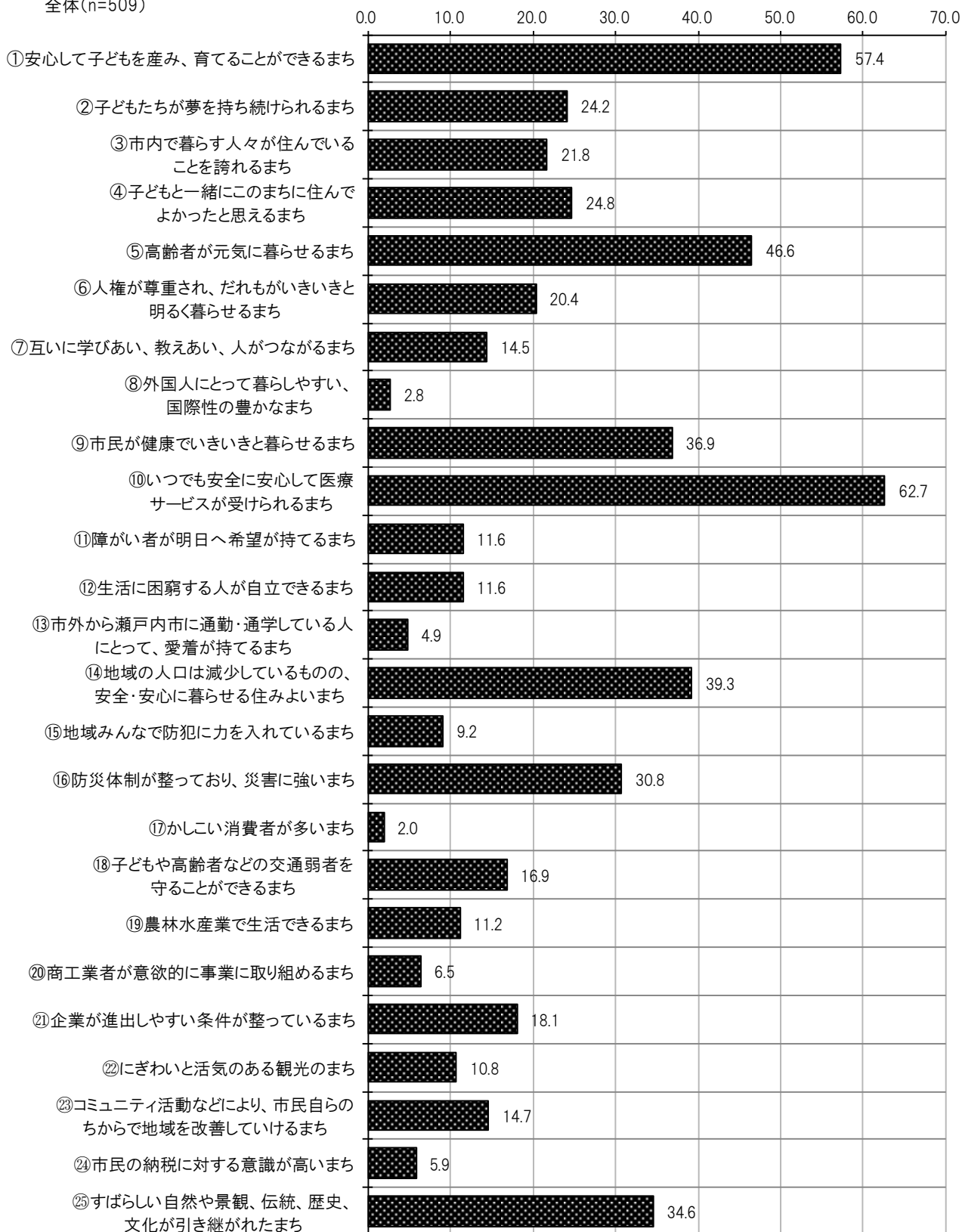
問1. また、瀬戸内市がめざしている将来（2040年）の姿のうち、あなたが重要だと思うものを、1～25の項目の中から5つまで選んで、「重要度」の欄に○印をつけてください。

25の項目について、重要だと思われる施策を質問したところ、「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」が62.7%と最も高く、次いで「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」（57.4%）、「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」（46.6%）、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」（39.3%）、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」（36.9%）、「⑳すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち」（34.6%）、「⑩防災体制が整っており、災害に強いまち」（30.8%）などの順になっている。

一方で、相対的に重要度が低い施策は、「⑰かしこい消費者が多いまち」（2.0%）、「⑧外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち」（2.8%）、「⑬市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち」（4.9%）、「㉑市民の納税に対する意識が高いまち」（5.9%）、「㉒商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち」（6.5%）などがあげられる。

問1-2. 施策の重要度(%)

全体(n=509)



注: 集計結果の数値は、「無回答」を除く母数(n=509)で算出している。

性別でみると、男性で「②子どもたちが夢を持ち続けられるまち」、女性で「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」などがそれぞれ高くなっている。

年齢別でみると、30歳代以下で「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」が高く、30歳代では「④子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち」も高くなっている。また、50歳代で「⑯防災体制が整っており、災害に強いまち」、70歳以上で「⑤高齢者が元気に暮らせるまち」、「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」、「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」などが他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

地域別でみると、長浜、玉津で「②子どもたちが夢を持ち続けられるまち」、「⑨市民が健康でいきいきと暮らせるまち」、豊原、本庄で「⑦互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち」、玉津、美和で「⑫生活に困窮する人が自立できるまち」、牛窓、鹿忍で「⑳すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち」がそれぞれ高くなっている。一方で、邑久、玉津は「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」が他の地域に比べて低い。

その他、美和で「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」、「⑲市民の納税に対する意識が高いまち」、今城で「⑭地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち」、鹿忍で「⑱子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち」が他の地域に比べてそれぞれ高い。

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
単位(%)	安心して子どもを産み、育てることができるまち	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち
全体(n=509)	57.4	24.2	21.8	24.8	46.6	20.4	14.5	2.8	36.9	62.7

【性別】

男性(n=203)	55.2	29.1	22.2	27.1	46.3	18.7	12.8	4.4	39.4	61.1
女性(n=278)	58.6	20.5	21.9	22.7	48.2	21.6	14.7	0.7	36.0	65.8

【年齢別】

29歳以下(n=22)	72.7	13.6	13.6	31.8	31.8	18.2	13.6	0.0	22.7	63.6
30歳代(n=54)	77.8	27.8	18.5	37.0	38.9	11.1	11.1	3.7	29.6	66.7
40歳代(n=86)	64.0	25.6	16.3	31.4	45.3	15.1	10.5	1.2	30.2	66.3
50歳代(n=72)	50.0	16.7	22.2	23.6	43.1	23.6	11.1	2.8	34.7	55.6
60歳代(n=116)	58.6	30.2	21.6	16.4	46.6	23.3	12.1	2.6	40.5	64.7
70歳以上(n=153)	47.7	22.9	26.8	21.6	54.2	23.5	20.3	3.9	44.4	60.8

【地域(詳細)別】

牛窓地域(n=93)	51.6	25.8	25.8	24.7	40.9	21.5	14.0	3.2	40.9	62.4
牛窓(n=42)	42.9	19.0	21.4	21.4	33.3	16.7	19.0	4.8	31.0	64.3
鹿忍(n=31)	58.1	25.8	35.5	35.5	48.4	29.0	12.9	3.2	41.9	51.6
長浜(n=20)	60.0	40.0	20.0	15.0	45.0	20.0	5.0	0.0	60.0	75.0
邑久地域(n=249)	59.8	26.5	18.1	26.1	49.4	21.3	15.3	3.2	35.3	59.0
邑久(n=75)	60.0	21.3	16.0	30.7	53.3	22.7	8.0	5.3	28.0	46.7
福田(n=45)	53.3	35.6	17.8	28.9	42.2	22.2	13.3	4.4	42.2	62.2
今城(n=42)	64.3	26.2	16.7	21.4	40.5	28.6	14.3	2.4	38.1	66.7
豊原(n=20)	55.0	20.0	10.0	30.0	55.0	15.0	30.0	0.0	40.0	65.0
本庄(n=17)	64.7	35.3	23.5	11.8	52.9	11.8	35.3	5.9	23.5	64.7
笠加(n=9)	55.6	22.2	22.2	22.2	44.4	22.2	0.0	0.0	11.1	77.8
玉津(n=11)	63.6	45.5	27.3	36.4	54.5	9.1	0.0	0.0	54.5	27.3
裳掛(n=30)	63.3	20.0	23.3	20.0	56.7	20.0	26.7	0.0	43.3	73.3
長船地域(n=161)	57.1	19.9	24.2	21.1	45.3	18.6	13.0	1.9	37.3	68.9
美和(n=21)	81.0	14.3	4.8	28.6	38.1	33.3	9.5	0.0	38.1	66.7
国府(n=53)	56.6	22.6	26.4	20.8	41.5	17.0	15.1	1.9	41.5	69.8
行幸(n=87)	51.7	19.5	27.6	19.5	49.4	16.1	12.6	2.3	34.5	69.0

No.	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
障 ち ま が い 者 が 明 日 へ 希 望 が 持 て る	生 活 に 困 窮 す る 人 が 自 立 で き る	市 外 か ら 瀬 戸 内 市 に 通 勤 ・ 通 学 し て い る 人 に と つ て 、 愛 着 が 持 持 て る ま ち	地 域 の 人 口 は 減 少 し て い る も の よ い ま ち	地 域 み ん な で 防 犯 に 力 を 入 れ て い る ま ち	防 災 体 制 が 整 っ て お り 、 災 害 に 強 い ま ち	か し こ い 消 費 者 が 多 い ま ち	子 ど も や 高 齢 者 な ど の 交 通 弱 者 を 守 る こ と が で き る ま ち	農 林 水 産 業 で 生 活 で き る ま ち	商 工 業 者 が 意 欲 的 に 事 業 に 取 り 組 め る ま ち	
単 位 (%)										
全 体 (n=509)	11.6	11.6	4.9	39.3	9.2	30.8	2.0	16.9	11.2	6.5

【性別】

男 性 (n=203)	13.3	12.3	3.0	36.0	11.8	24.6	2.5	15.3	14.8	6.9
女 性 (n=278)	10.8	10.4	5.0	43.5	7.9	34.2	1.8	18.3	8.6	6.1

【年齢別】

29歳以下(n=22)	18.2	9.1	0.0	27.3	4.5	27.3	0.0	4.5	13.6	9.1
30歳代(n=54)	1.9	5.6	3.7	18.5	7.4	33.3	0.0	13.0	3.7	11.1
40歳代(n=86)	10.5	9.3	7.0	33.7	14.0	33.7	1.2	11.6	9.3	7.0
50歳代(n=72)	12.5	15.3	4.2	36.1	5.6	38.9	0.0	9.7	9.7	2.8
60歳代(n=116)	14.7	13.8	0.9	44.0	5.2	25.0	3.4	13.8	14.7	4.3
70歳以上(n=153)	11.8	11.8	7.8	49.7	13.1	29.4	3.3	27.5	13.1	7.8

【地域(詳細)別】

牛窓地域(n=93)	7.5	9.7	6.5	43.0	1.1	31.2	2.2	19.4	15.1	15.1
牛窓(n=42)	7.1	11.9	4.8	42.9	2.4	31.0	2.4	9.5	19.0	11.9
鹿忍(n=31)	9.7	3.2	6.5	45.2	0.0	22.6	3.2	32.3	9.7	19.4
長浜(n=20)	5.0	15.0	10.0	40.0	0.0	45.0	0.0	20.0	15.0	15.0
邑久地域(n=249)	12.9	10.0	4.0	38.6	11.2	30.1	2.4	14.1	11.6	4.8
邑久(n=75)	16.0	13.3	5.3	30.7	6.7	29.3	4.0	10.7	8.0	8.0
福田(n=45)	15.6	4.4	2.2	44.4	15.6	26.7	0.0	11.1	6.7	4.4
今城(n=42)	14.3	7.1	9.5	54.8	23.8	38.1	0.0	23.8	7.1	2.4
豊原(n=20)	5.0	0.0	0.0	25.0	5.0	30.0	5.0	20.0	20.0	5.0
本庄(n=17)	23.5	11.8	0.0	29.4	11.8	29.4	5.9	17.6	23.5	11.8
笠加(n=9)	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1	55.6	0.0	22.2	22.2	0.0
玉津(n=11)	18.2	27.3	0.0	45.5	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0
裳掛(n=30)	0.0	16.7	3.3	36.7	6.7	20.0	3.3	10.0	20.0	0.0
長船地域(n=161)	11.8	14.9	5.0	39.1	11.2	32.3	1.2	18.6	7.5	4.3
美和(n=21)	4.8	33.3	4.8	28.6	19.0	33.3	0.0	23.8	9.5	9.5
国府(n=53)	15.1	11.3	7.5	39.6	18.9	43.4	1.9	17.0	3.8	5.7
行幸(n=87)	11.5	12.6	3.4	41.4	4.6	25.3	1.1	18.4	9.2	2.3

No.	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
単位(%)	て企業が進出しやすい条件が整っているまち	ちにぎわいと活気のある観光のまち	市民自らの活動などにより、市民自らのまちから地域を改善しているまち	市民の納税に対する意識が高いまち	歴史、文化、自然や景観、伝統、文化が引き継がれたまち
全体(n=509)	18.1	10.8	14.7	5.9	34.6

【性別】

男性(n=203)	20.2	10.3	13.8	9.4	34.5
女性(n=278)	15.8	10.8	15.8	4.0	35.3

【年齢別】

29歳以下(n=22)	9.1	13.6	9.1	4.5	31.8
30歳代(n=54)	11.1	11.1	11.1	3.7	31.5
40歳代(n=86)	16.3	12.8	8.1	3.5	18.6
50歳代(n=72)	19.4	12.5	20.8	5.6	37.5
60歳代(n=116)	18.1	8.6	13.8	11.2	36.2
70歳以上(n=153)	22.9	10.5	19.0	3.9	43.1

【地域(詳細)別】

牛窓地域(n=93)	19.4	19.4	16.1	4.3	51.6
牛窓(n=42)	16.7	23.8	14.3	4.8	54.8
鹿忍(n=31)	22.6	12.9	16.1	3.2	51.6
長浜(n=20)	20.0	20.0	20.0	5.0	45.0
邑久地域(n=249)	19.3	10.0	14.9	4.8	30.1
邑久(n=75)	18.7	12.0	8.0	4.0	32.0
福田(n=45)	15.6	11.1	15.6	0.0	26.7
今城(n=42)	16.7	11.9	21.4	2.4	31.0
豊原(n=20)	15.0	0.0	20.0	15.0	25.0
本庄(n=17)	17.6	17.6	5.9	11.8	41.2
笠加(n=9)	33.3	11.1	11.1	22.2	33.3
玉津(n=11)	27.3	0.0	18.2	0.0	9.1
裳掛(n=30)	26.7	6.7	23.3	3.3	33.3
長船地域(n=161)	16.1	7.5	14.3	8.7	31.1
美和(n=21)	19.0	9.5	14.3	28.6	28.6
国府(n=53)	15.1	9.4	15.1	3.8	28.3
行幸(n=87)	16.1	5.7	13.8	6.9	33.3

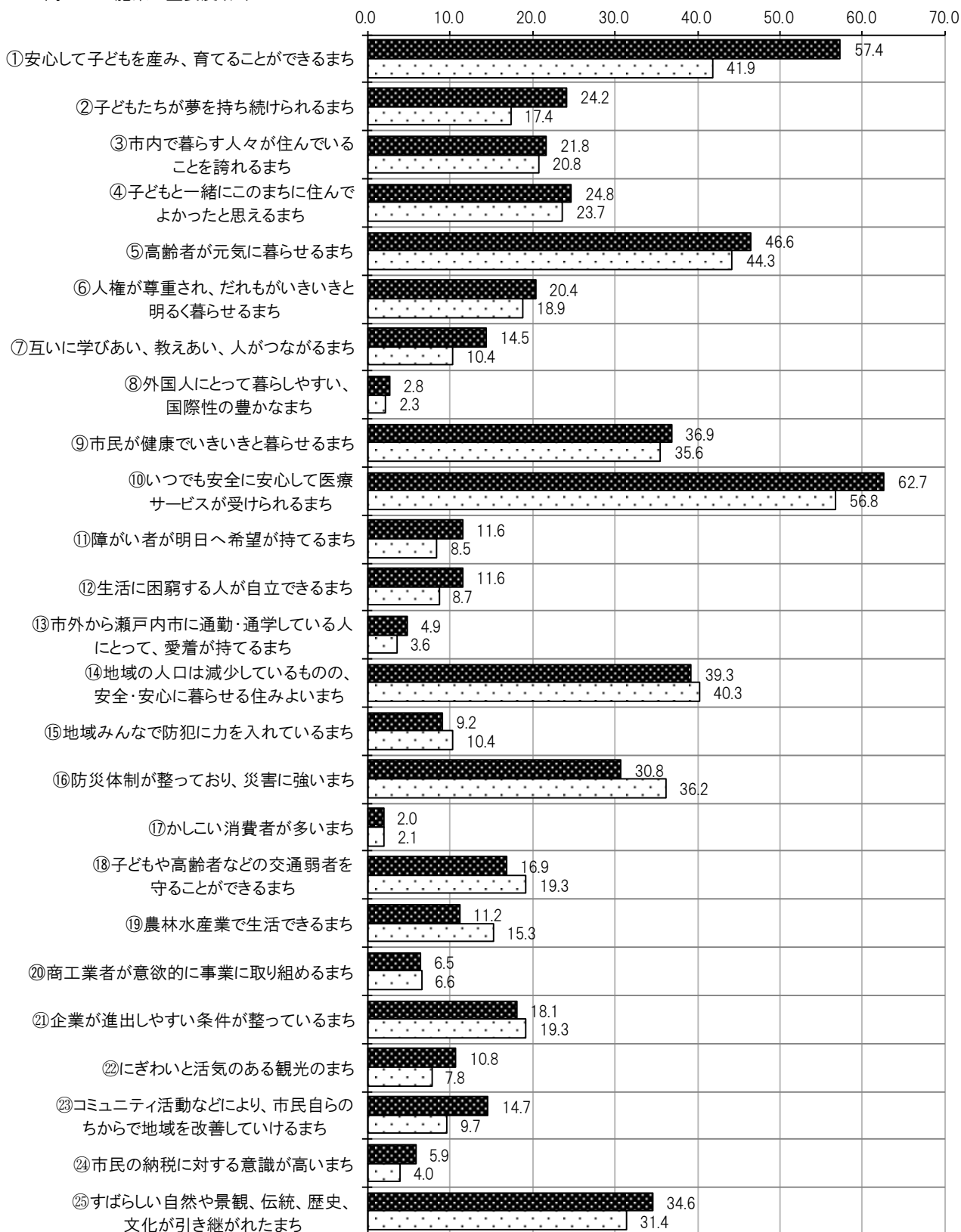
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、重要度が高くなった項目としては、「①安心して子どもを産み、育てることができるまち」、「②子どもたちが夢を持ち続けられるまち」、「⑩いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち」などがあげられる。

一方、重要度が低くなった項目としては、「⑩防災体制が整っており、災害に強いまち」などがあげられる。

問1-2. 施策の重要度(%)

■今回調査(H28年度 n=509) □前回調査(H26年度 n=472)



3. 実感度と重要度の相関図による分析

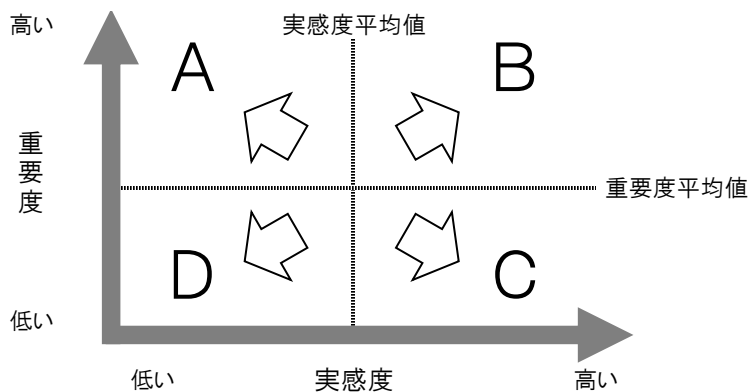
以降の図表等においては、各施策名を次の略表記対応表に従って記載している。

【略表記対応表】

No.	設問項目	略表記
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	安心して子育てできるまち
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	子どもが夢をもてるまち
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち
11	障がい者が明日へ希望が持てるまち	障がい者が希望をもてるまち
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち	市外の人愛着が持てるまち
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち
19	農林水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち
23	コミュニティ活動などにより、市民自らのちからで地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち

【実感度と重要度の相関図による分析】

実感度の加重平均値と重要度（無回答を除く件数を母数とした回答割合）それぞれの値をもとに、縦軸に重要度、横軸に実感度を設定し、25の施策を散布図上に示したものが相関図である。



縦軸に重要度、横軸に実感度をとった相関図では、実感度と重要度をマトリクス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。実感度と重要度の各々の平均値を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたがい、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、実感度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、実感度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、実感度を高める必要のある領域。

B. 重要度、実感度ともに高い（現状維持領域）

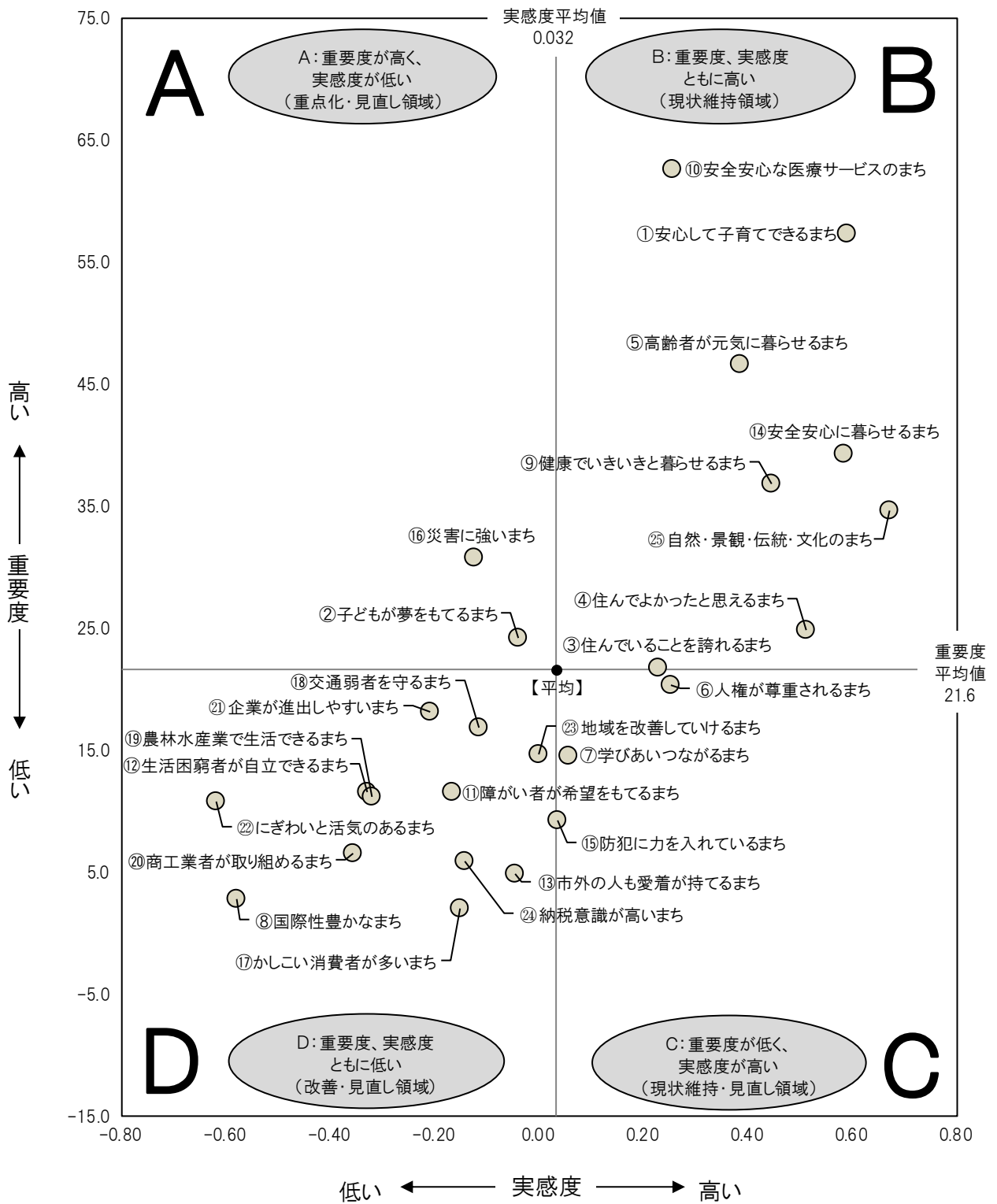
今後のまちづくりにおける重要度も実感度も高く、現時点での実感度の水準を維持していくことが必要な領域。

C. 重要度が低く、実感度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの実感度が高く、実感度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、実感度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も実感度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域。



【相関図の元データ】

No.	設問項目	略標記	実感度	重要度
1	安心して子どもを産み、育てることができるまち	安心して子育てできるまち	0.591	57.4
2	子どもたちが夢を持ち続けられるまち	子どもが夢をもてるまち	-0.042	24.2
3	市内で暮らす人々が住んでいることを誇れるまち	住んでいることを誇れるまち	0.228	21.8
4	子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまち	住んでよかったと思えるまち	0.510	24.8
5	高齢者が元気に暮らせるまち	高齢者が元気に暮らせるまち	0.385	46.6
6	人権が尊重され、だれもがいきいきと明るく暮らせるまち	人権が尊重されるまち	0.253	20.4
7	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	学びあいつながるまち	0.054	14.5
8	外国人にとって暮らしやすい、国際性の豊かなまち	国際性豊かなまち	-0.580	2.8
9	市民が健康でいきいきと暮らせるまち	健康でいきいきと暮らせるまち	0.444	36.9
10	いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまち	安全安心な医療サービスのまち	0.256	62.7
11	障がい者が明日へ希望が持てるまち	障がい者が希望をもてるまち	-0.168	11.6
12	生活に困窮する人が自立できるまち	生活困窮者が自立できるまち	-0.330	11.6
13	市外から瀬戸内市に通勤・通学している人にとって、愛着が持てるまち	市外の人愛着が持てるまち	-0.048	4.9
14	地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまち	安全安心に暮らせるまち	0.585	39.3
15	地域みんなで防犯に力を入れているまち	防犯に力を入れているまち	0.034	9.2
16	防災体制が整っており、災害に強いまち	災害に強いまち	-0.125	30.8
17	かしこい消費者が多いまち	かしこい消費者が多いまち	-0.152	2.0
18	子どもや高齢者などの交通弱者を守ることができるまち	交通弱者を守るまち	-0.115	16.9
19	農林水産業で生活できるまち	農林水産業で生活できるまち	-0.322	11.2
20	商工業者が意欲的に事業に取り組めるまち	商工業者が取り組めるまち	-0.357	6.5
21	企業が進出しやすい条件が整っているまち	企業が進出しやすいまち	-0.211	18.1
22	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のあるまち	-0.621	10.8
23	コミュニティ活動などにより、市民自らのちからで地域を改善していけるまち	地域を改善していけるまち	-0.003	14.7
24	市民の納税に対する意識が高いまち	納税意識が高いまち	-0.144	5.9
25	すばらしい自然や景観、伝統、歴史、文化が引き継がれたまち	自然・景観・伝統・文化のまち	0.672	34.6
平均→			0.032	21.6

注：実感度はウエイト付けによる加重平均値、重要度は無回答者を除く母数(n=509)に対する回答割合

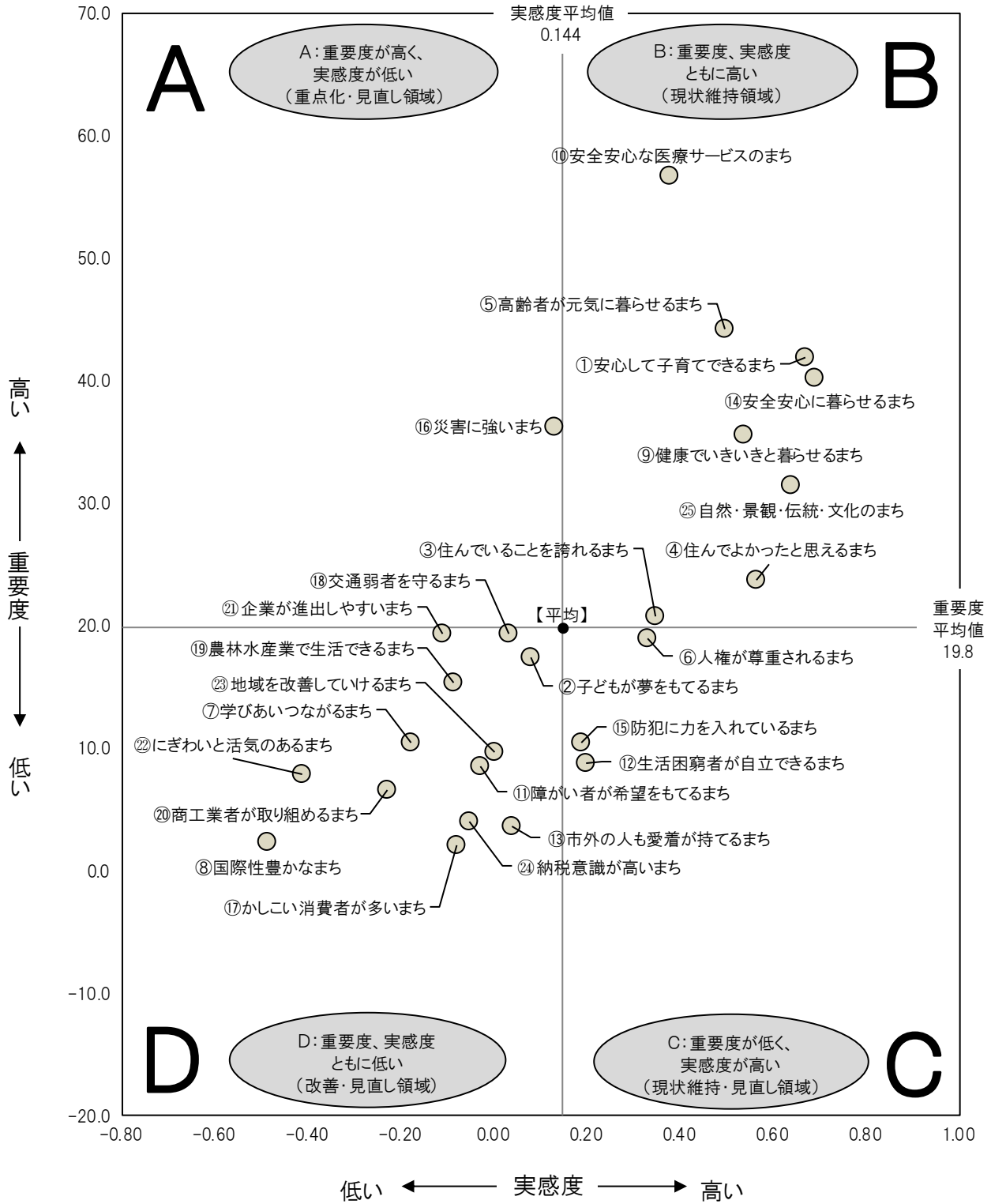
【前回調査との比較】

前回の相関図と比べて大きく変化した項目としては、「2. 子どもが夢をもてるまち」が（D）から（A）へ、「7. 学びあいつながるまち」が（D）から（C）へ、「12. 生活困窮者が自立できるまち」が（C）から（D）へそれぞれ移行している。

No.	略標記	前回調査結果		領域	今回調査結果		領域
		実感度	重要度		実感度	重要度	
1	安心して子育てできるまち	0.669	41.9	B	0.591	57.4	B
2	子どもが夢をもてるまち	0.079	17.4	D	-0.042	24.2	A
3	住んでいることを誇れるまち	0.346	20.8	B	0.228	21.8	B
4	住んでよかったと思えるまち	0.562	23.7	B	0.510	24.8	B
5	高齢者が元気に暮らせるまち	0.495	44.3	B	0.385	46.6	B
6	人権が尊重されるまち	0.329	18.9	C	0.253	20.4	C
7	学びあいつながるまち	-0.182	10.4	D	0.054	14.5	C
8	国際性豊かなまち	-0.489	2.3	D	-0.580	2.8	D
9	健康でいきいきと暮らせるまち	0.536	35.6	B	0.444	36.9	B
10	安全安心な医療サービスのまち	0.375	56.8	B	0.256	62.7	B
11	障がい者が希望をもてるまち	-0.032	8.5	D	-0.168	11.6	D
12	生活困窮者が自立できるまち	0.196	8.7	C	-0.330	11.6	D
13	市外の人も愛着が持てるまち	0.036	3.6	D	-0.048	4.9	D
14	安全安心に暮らせるまち	0.690	40.3	B	0.585	39.3	B
15	防犯に力を入れているまち	0.187	10.4	C	0.034	9.2	C
16	災害に強いまち	0.127	36.2	A	-0.125	30.8	A
17	かしこい消費者が多いまち	-0.082	2.1	D	-0.152	2.0	D
18	交通弱者を守るまち	0.031	19.3	D	-0.115	16.9	D
19	農林水産業で生活できるまち	-0.088	15.3	D	-0.322	11.2	D
20	商工業者が取り組めるまち	-0.230	6.6	D	-0.357	6.5	D
21	企業が進出しやすいまち	-0.113	19.3	D	-0.211	18.1	D
22	にぎわいと活気のあるまち	-0.413	7.8	D	-0.621	10.8	D
23	地域を改善していけるまち	-0.002	9.7	D	-0.003	14.7	D
24	納税意識が高いまち	-0.054	4.0	D	-0.144	5.9	D
25	自然・景観・伝統・文化のまち	0.639	31.4	B	0.672	34.6	B
平均		0.144	19.8		0.032	21.6	

注：「網掛け」は前回から今回で領域が変わった項目を示している。

【参考／前回調査における相関図】



【2】行動や考えについて

問2. あなたの日頃の行動や考えについておたずねします。下記の(1)~(36)の質問ごとに、回答欄の2つの選択肢（(16)については4つ）から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

1. 市役所が行うまちづくりの取り組みへの満足感

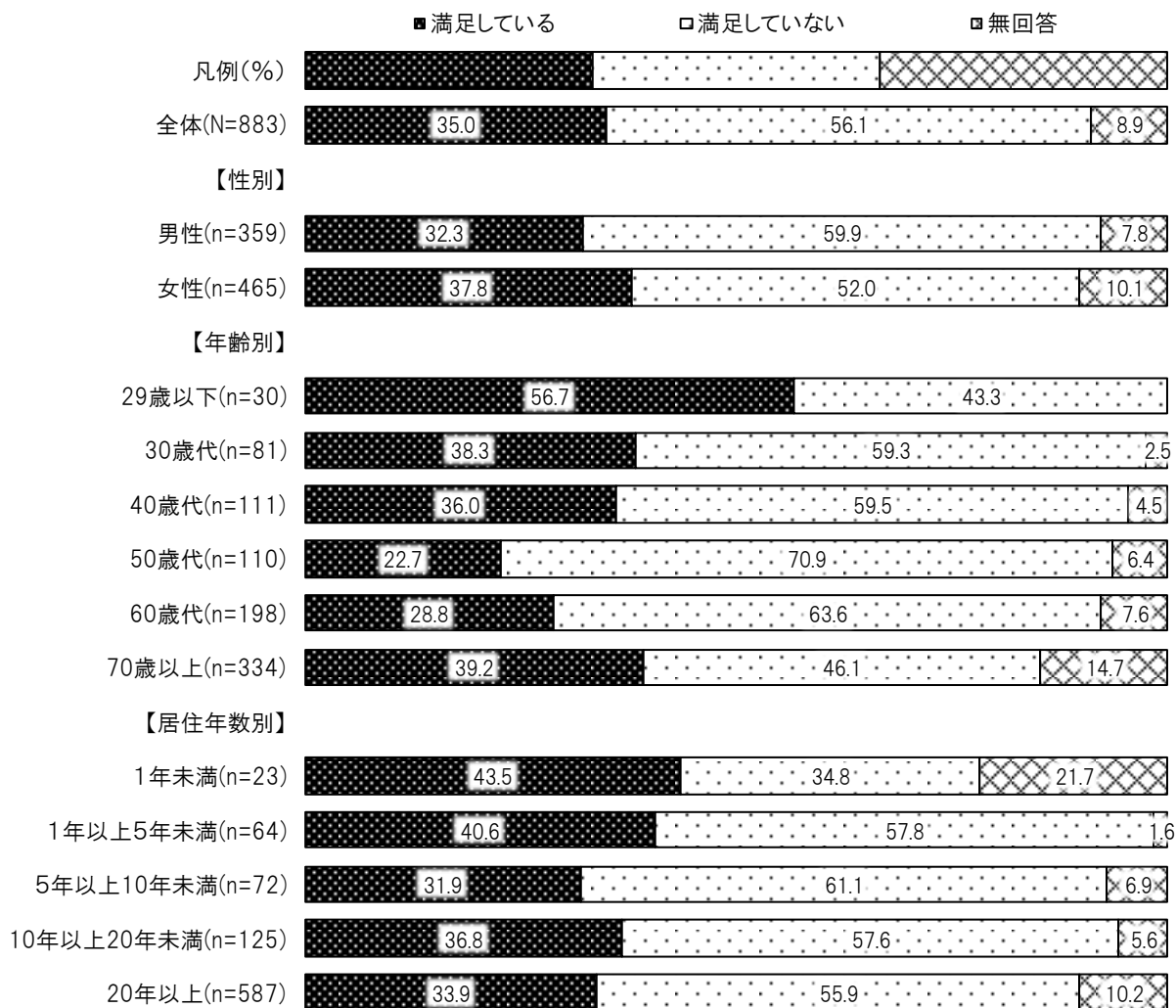
(1) あなたは、市役所が行うまちづくりの取り組みについて満足していますか

市役所が行うまちづくりの取り組みへの満足感については、「満足している」が35.0%、「満足していない」が56.1%であった。

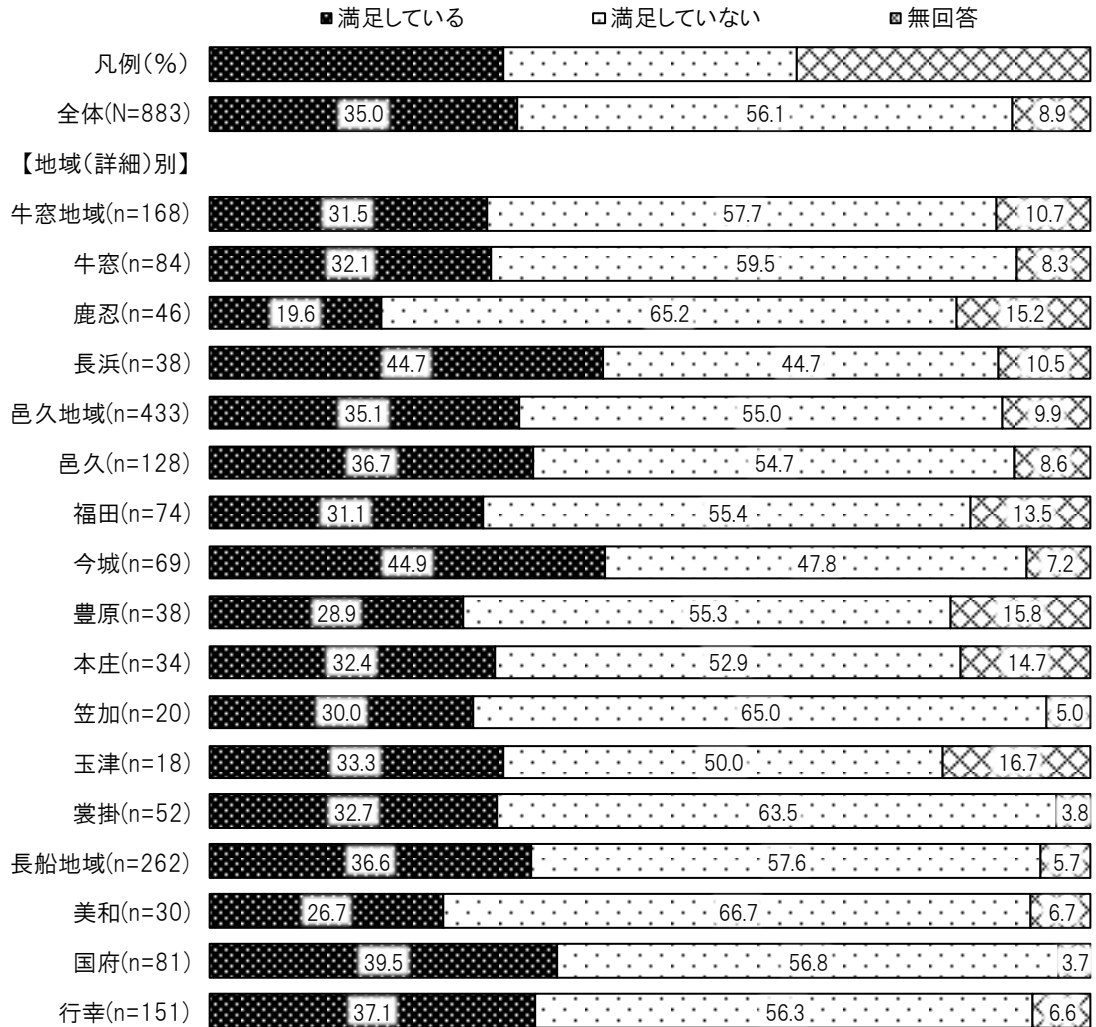
性別では、女性に比べ男性で「満足していない」が高い。

年齢別では、29歳以下の過半数が「満足している」と回答する一方で、50歳代の7割が「満足していない」と回答している。

居住年数別では、年数が長くなるほど満足感もおおむね低下する傾向にある。

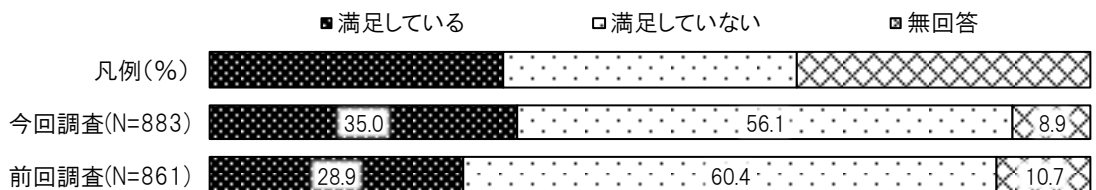


地域別にみると、「満足している」は長浜、今城などで高く、「満足していない」は鹿忍、笠加、裳掛、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ「満足している」が増加した。



2. 人権が守られていることについて

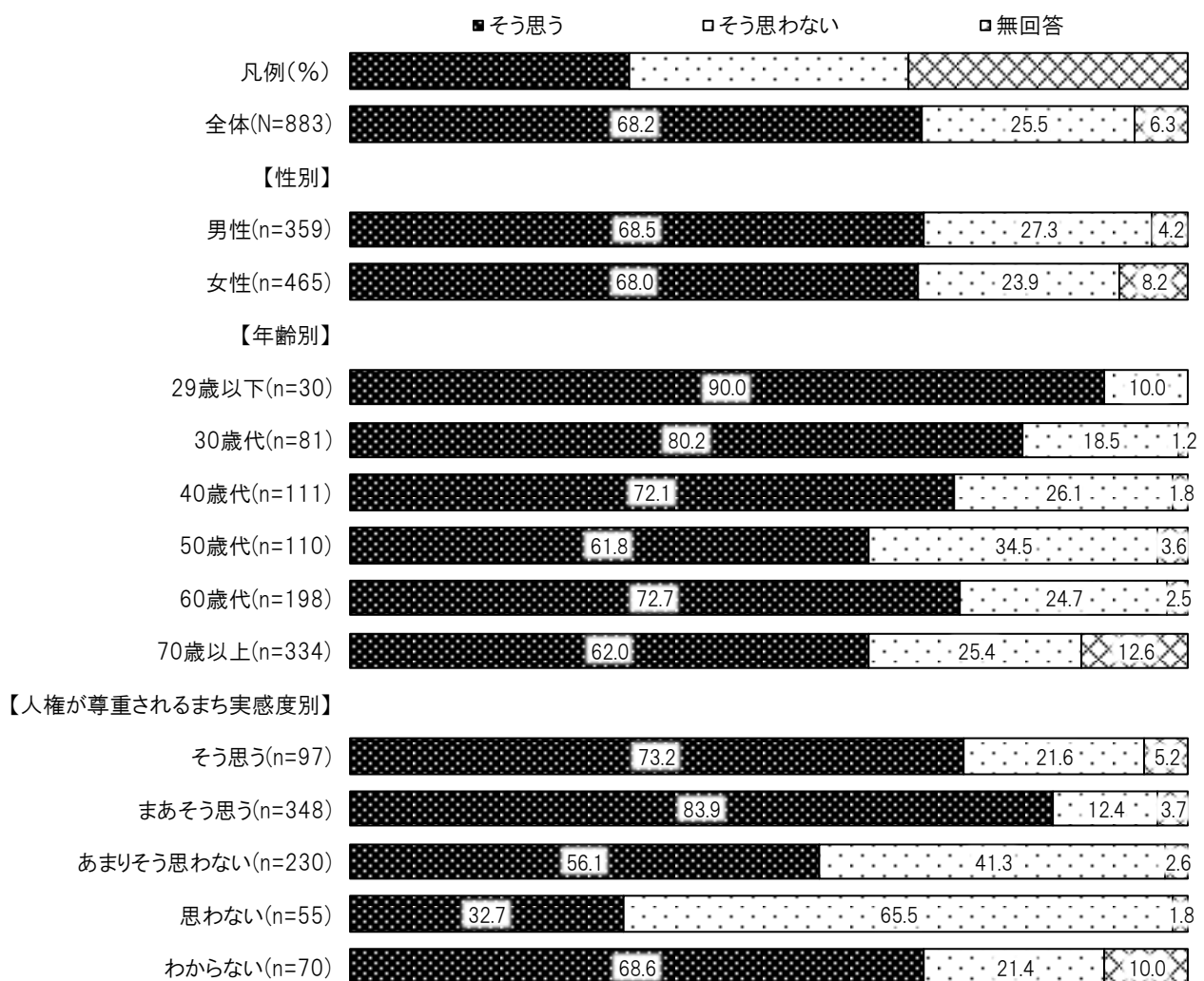
(2) あなたは、ご自身の人権が守られていると思いますか

人権が守られていることについては、「そう思う」が68.2%、「そう思わない」が25.5%であった。

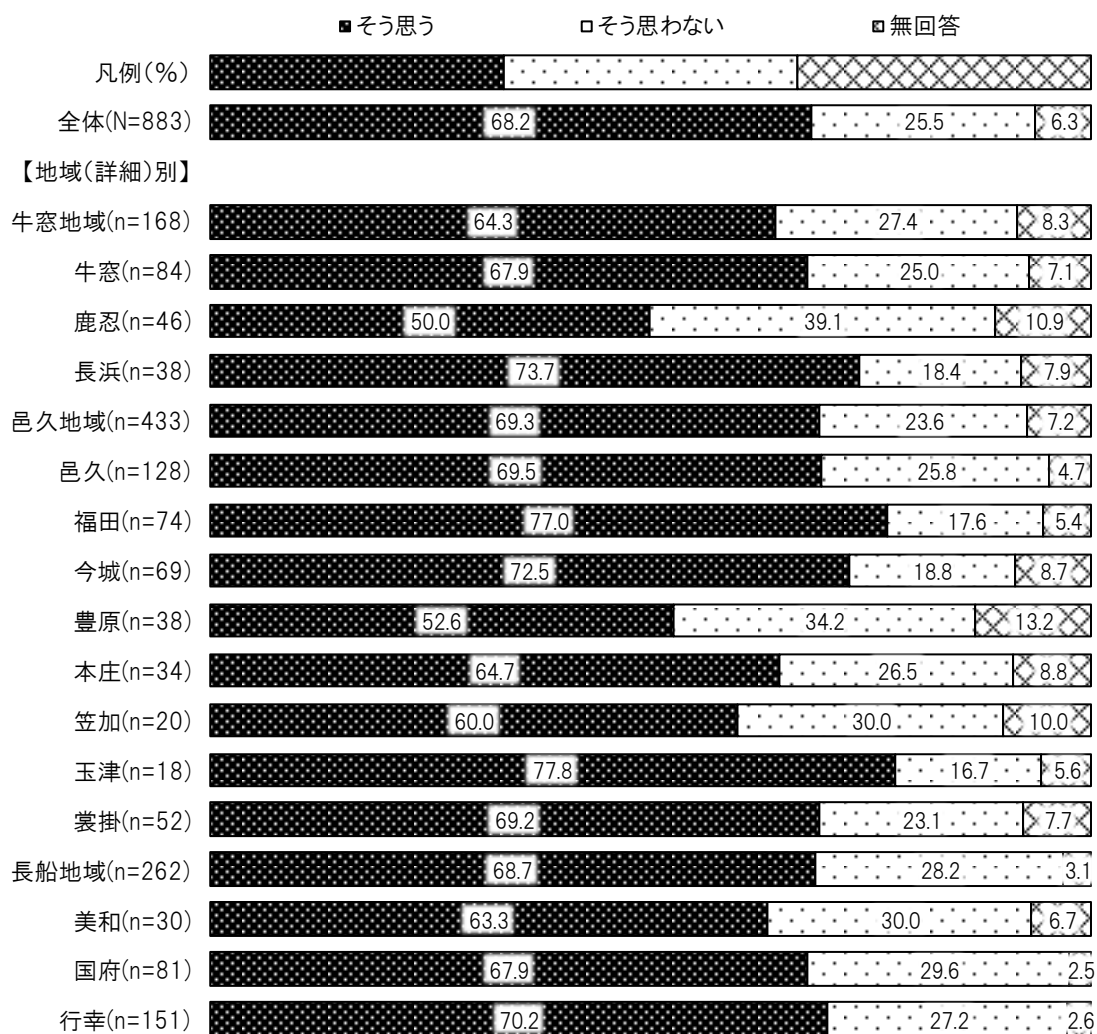
性別では、女性に比べて男性で「そう思わない」が高い。

年齢別では、若い年齢層ほど「そう思う」がおおむね高くなる傾向にあり、29歳以下では9割を占める。一方、50歳代の3割以上が「そう思わない」と回答している。

人権が尊重されるまち実感度別では、実感が低い層ほど人権擁護意識も低くなる傾向にある。

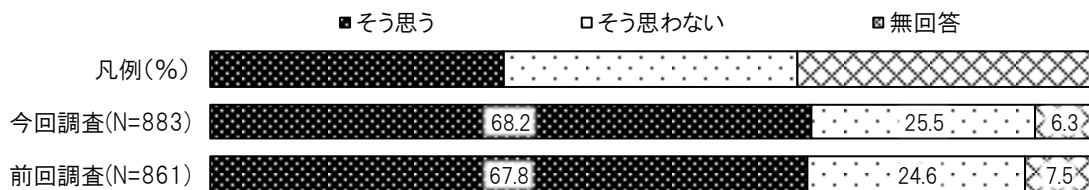


地域別にみると、「そう思う」は福田、玉津などで高く、「そう思わない」は鹿忍、豊原などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。



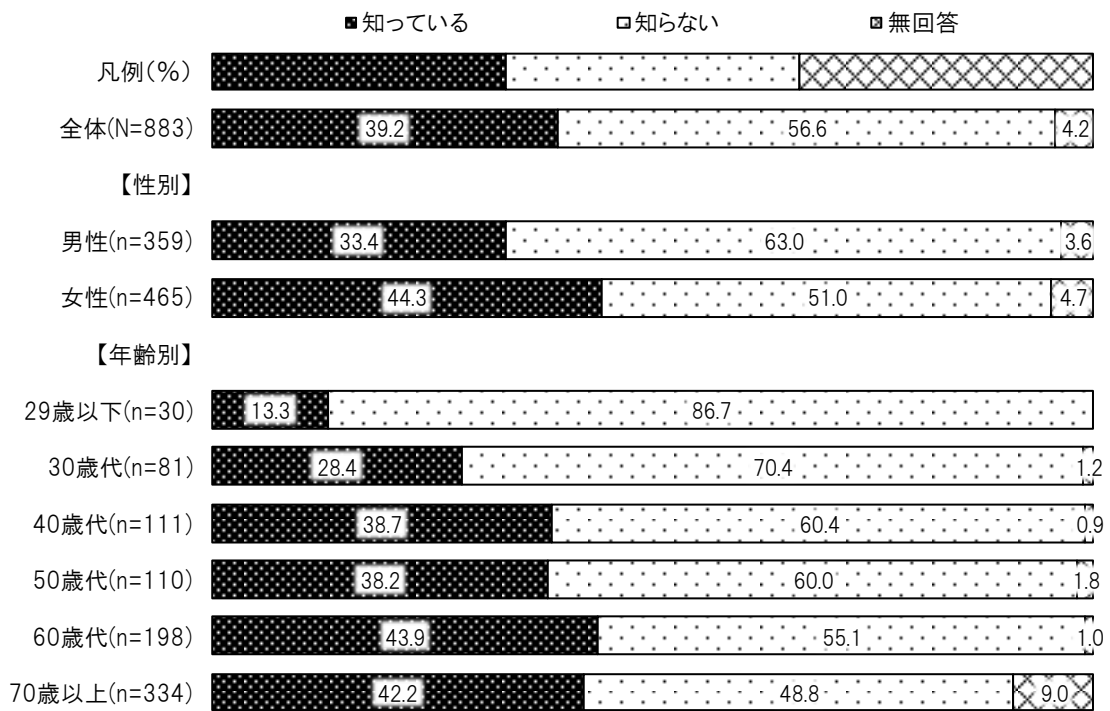
3. 「なやみごと相談」窓口認知状況

(3) あなたは、人権問題について相談できる「なやみごと相談」の窓口を知っていますか

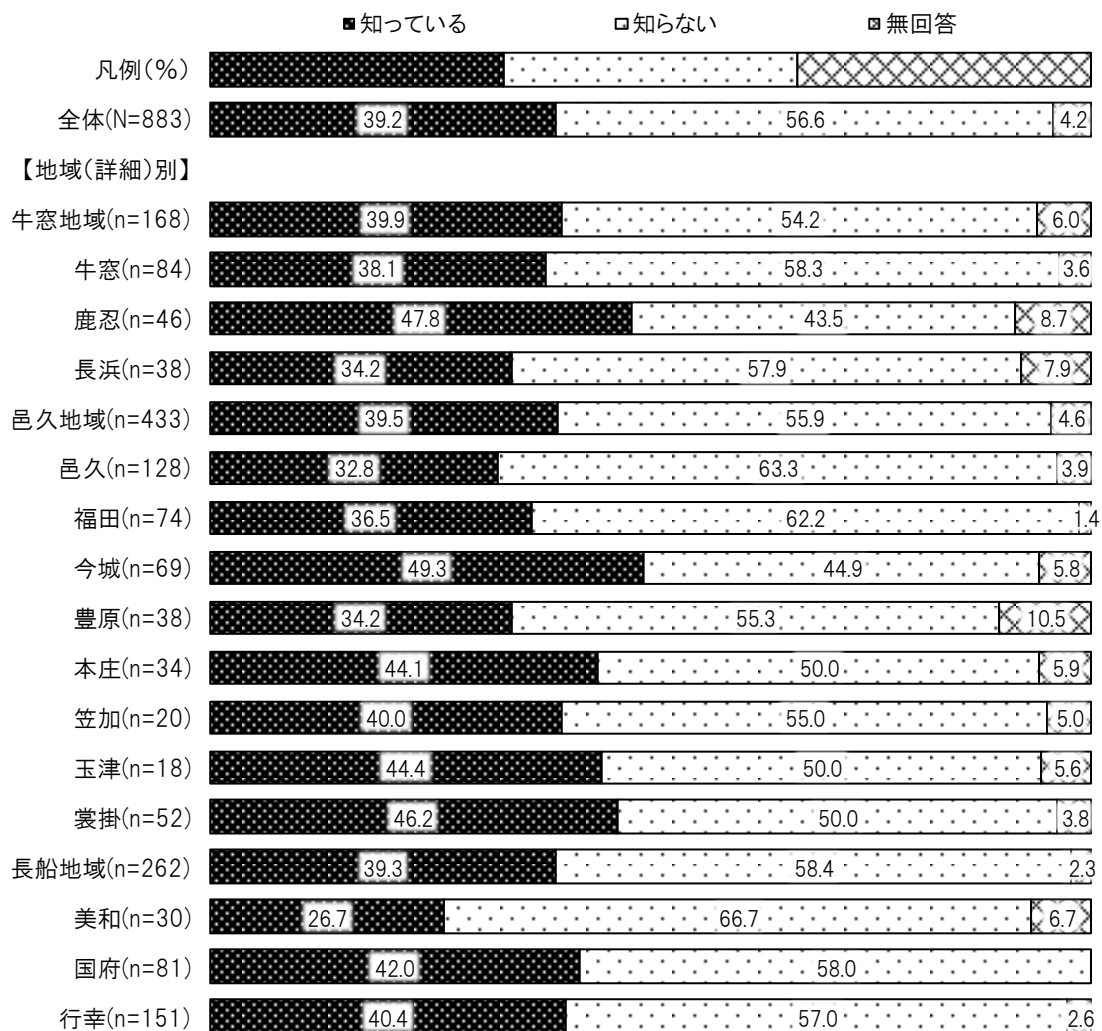
「なやみごと相談」窓口認知状況については、「知っている」が39.2%、「知らない」が56.6%であった。

性別では、女性に比べて男性で「知らない」が高い。

年齢別では、若い年齢層ほど「知らない」がおおむね高くなる傾向にあり、29歳以下では9割近くを占める。

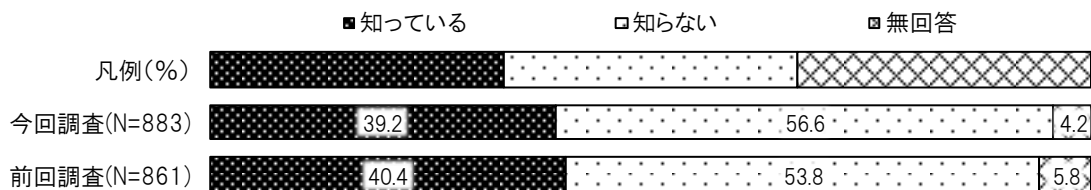


地域別にみると、「知っている」は鹿忍、今城などで高く、「知らない」は邑久、福田、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「知らない」がやや増加した。

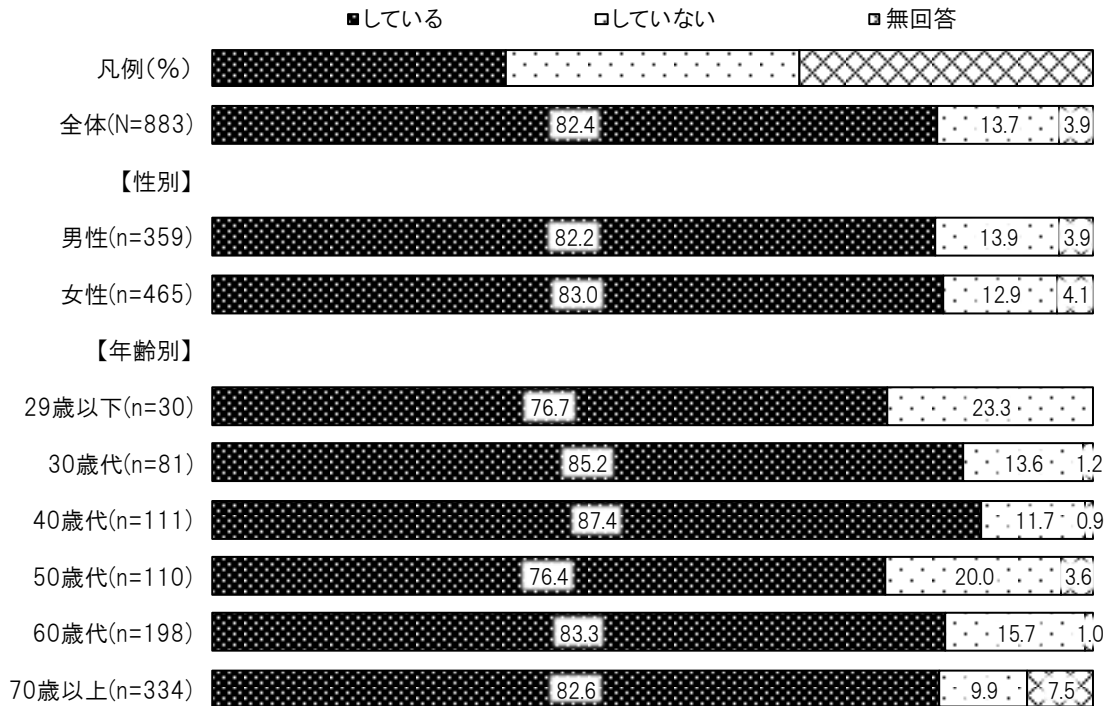


4. 近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについて

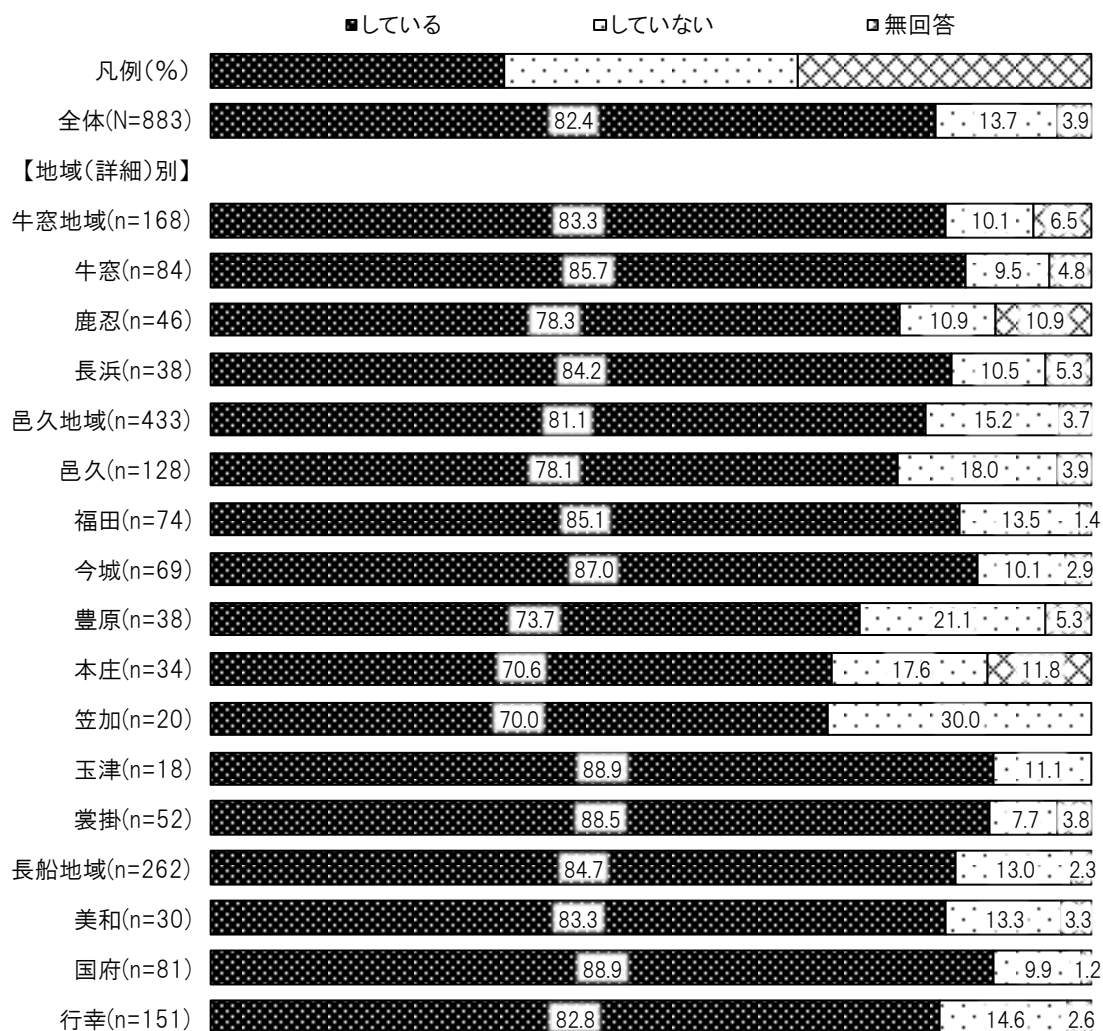
(4) あなたは、近所の子どもに会ったときに、あいさつや声かけをしていますか

近所の子どもに会ったときのあいさつや声かけについては、「している」が82.4%、「していない」が13.7%であった。

性別による差は目立たないが、年齢別で見ると、29歳以下と50歳代で「していない」が他の年齢層に比べて高くなっている。

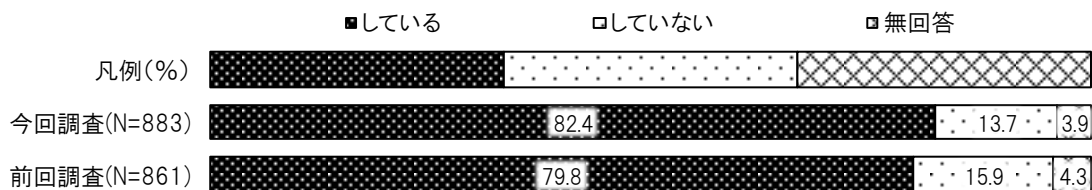


地域別にみると、「している」は今城、玉津、裳掛、国府などで高く、「していない」は豊原、笠加などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「している」がやや増加した。



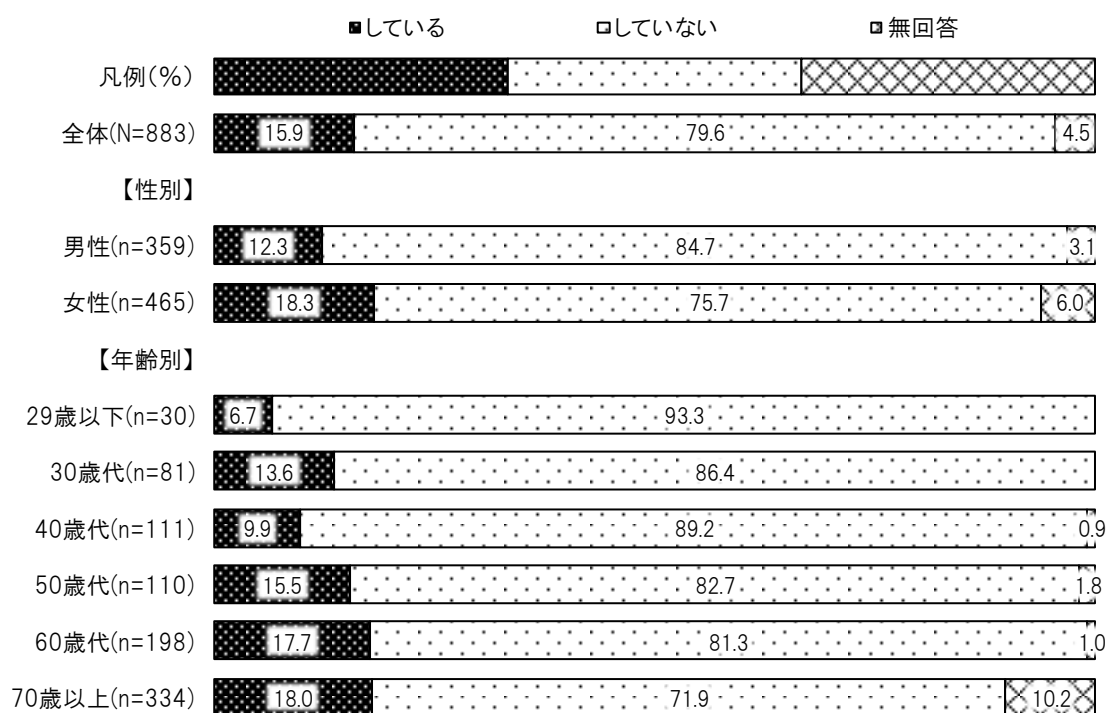
5. 芸術文化活動状況

(5) あなたは、芸術文化活動をしていますか

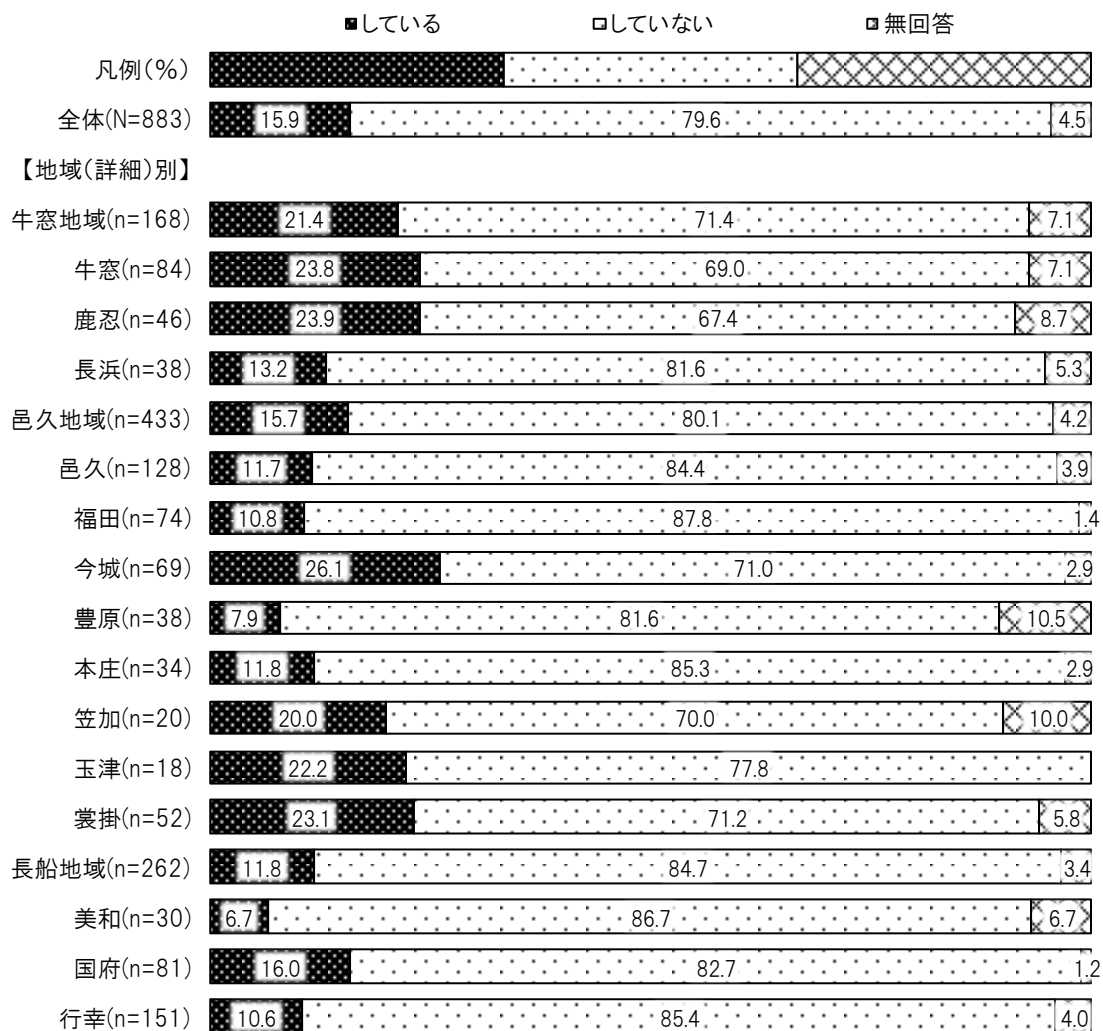
芸術文化活動状況については、「している」が15.9%、「していない」が79.6%であった。

性別では、女性に比べて男性で「していない」が高い。

年齢別では、若い年齢層ほど「していない」がおおむね高くなる傾向にあり、29歳以下では9割以上を占める。

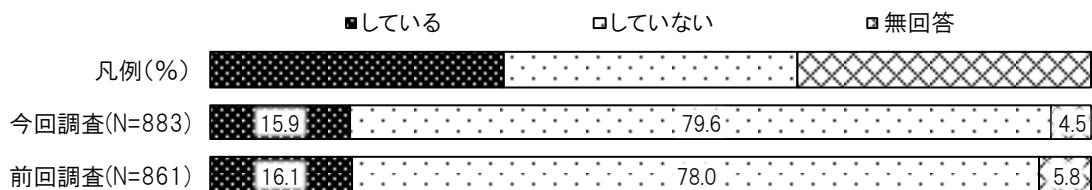


地域別にみると、「している」は牛窓、鹿忍、今城、笠加、玉津、裳掛などで高く、「していない」は邑久、福田、本庄、美和、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。



6. 生涯学習講座などへの参加状況

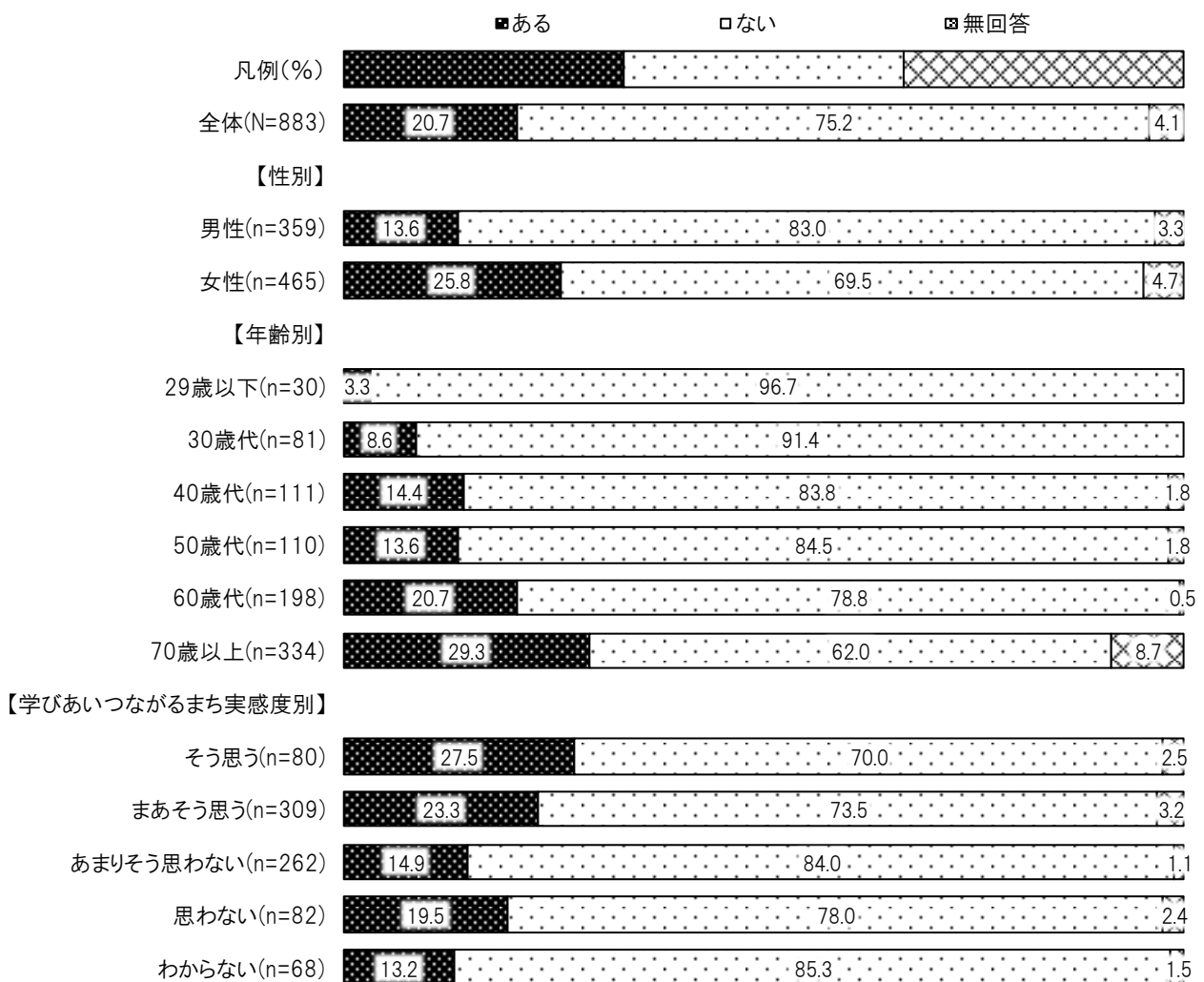
(6) あなたは、生涯学習講座などの活動に参加したことがありますか

生涯学習講座活動などへの参加状況については、「ある」が20.7%、「ない」が75.2%であった。

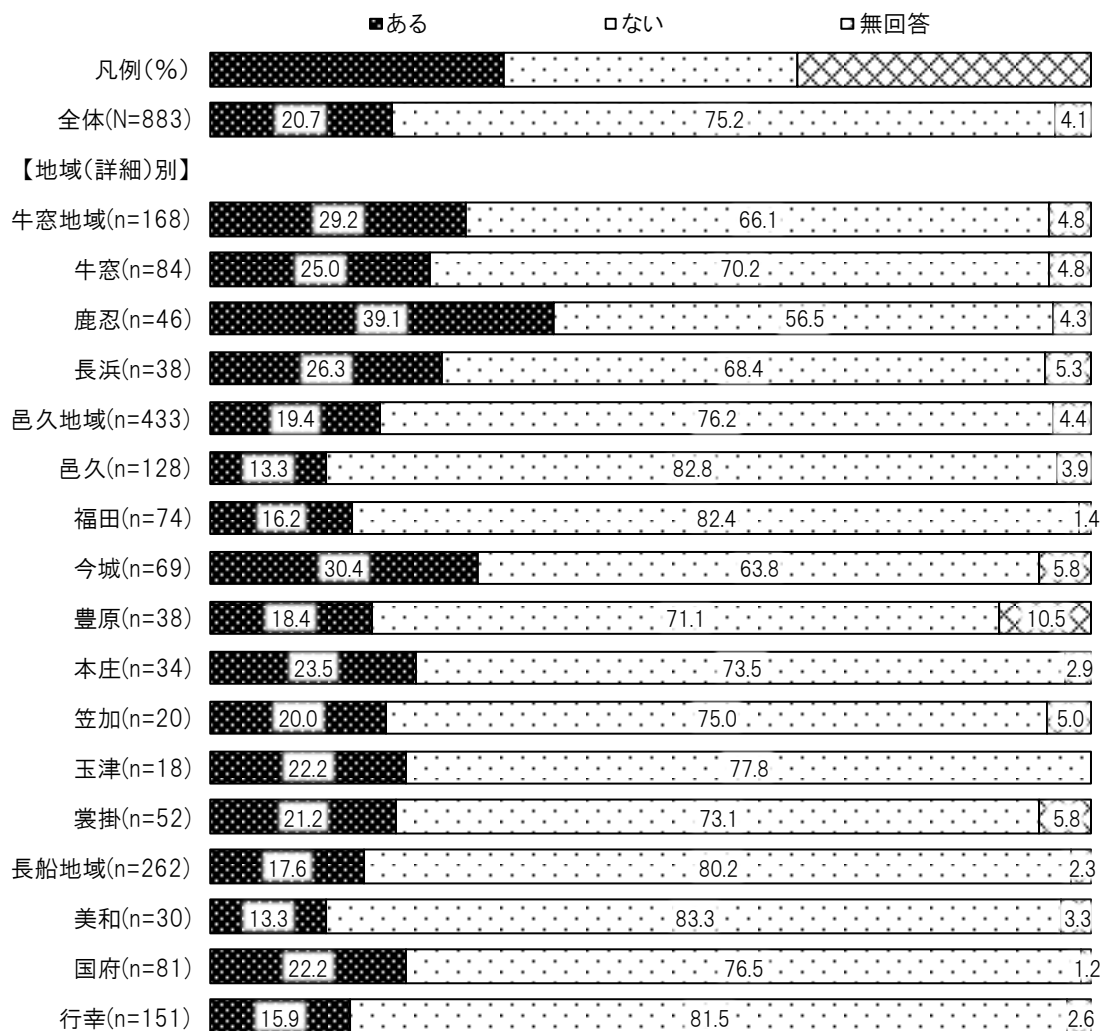
性別では、女性に比べて男性で「ない」が高い。

年齢別では、年齢層が上がるほど「ある」がおおむね高くなる傾向にある。一方、30歳代以下では9割以上が「ない」と回答している。

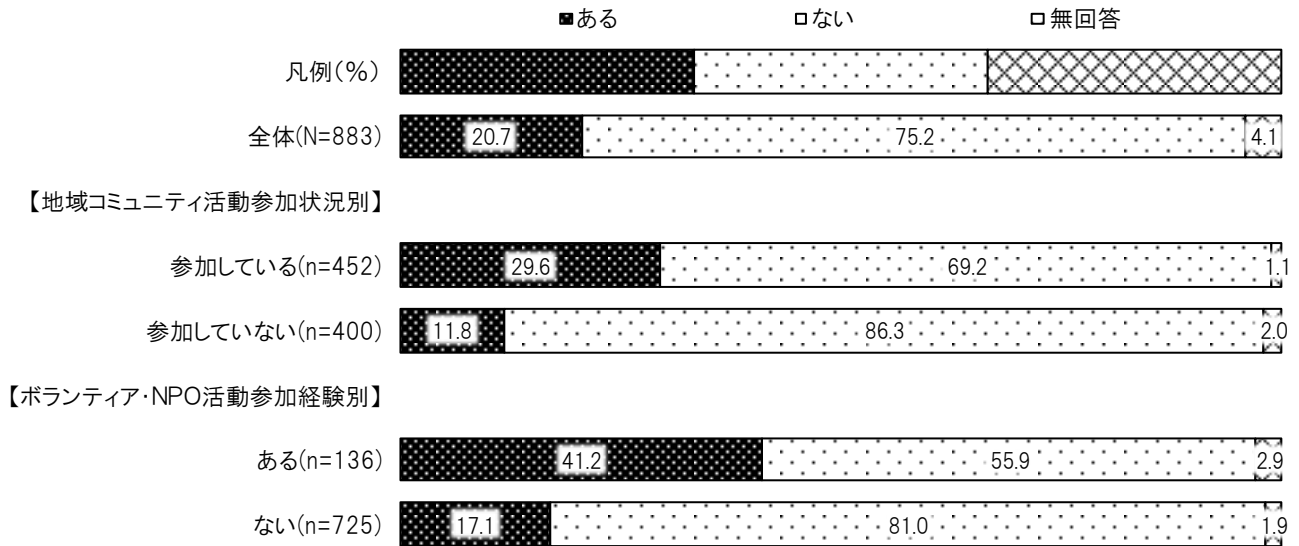
学びあいつながるまち実感度別では、実感度が高い層ほど参加率がおおむね高くなる傾向にある。



地域別にみると、「ある」は鹿忍、今城などで高く、「ない」は邑久、福田、美和、行幸などで高くなっている。

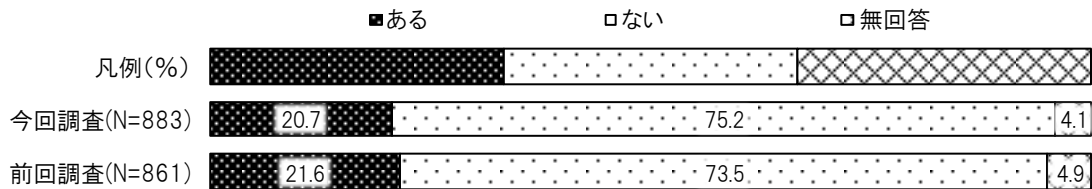


地域コミュニティ活動に参加している層やボランティア・NPO活動に参加経験のある層で、「ある」がそれぞれ高い。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。



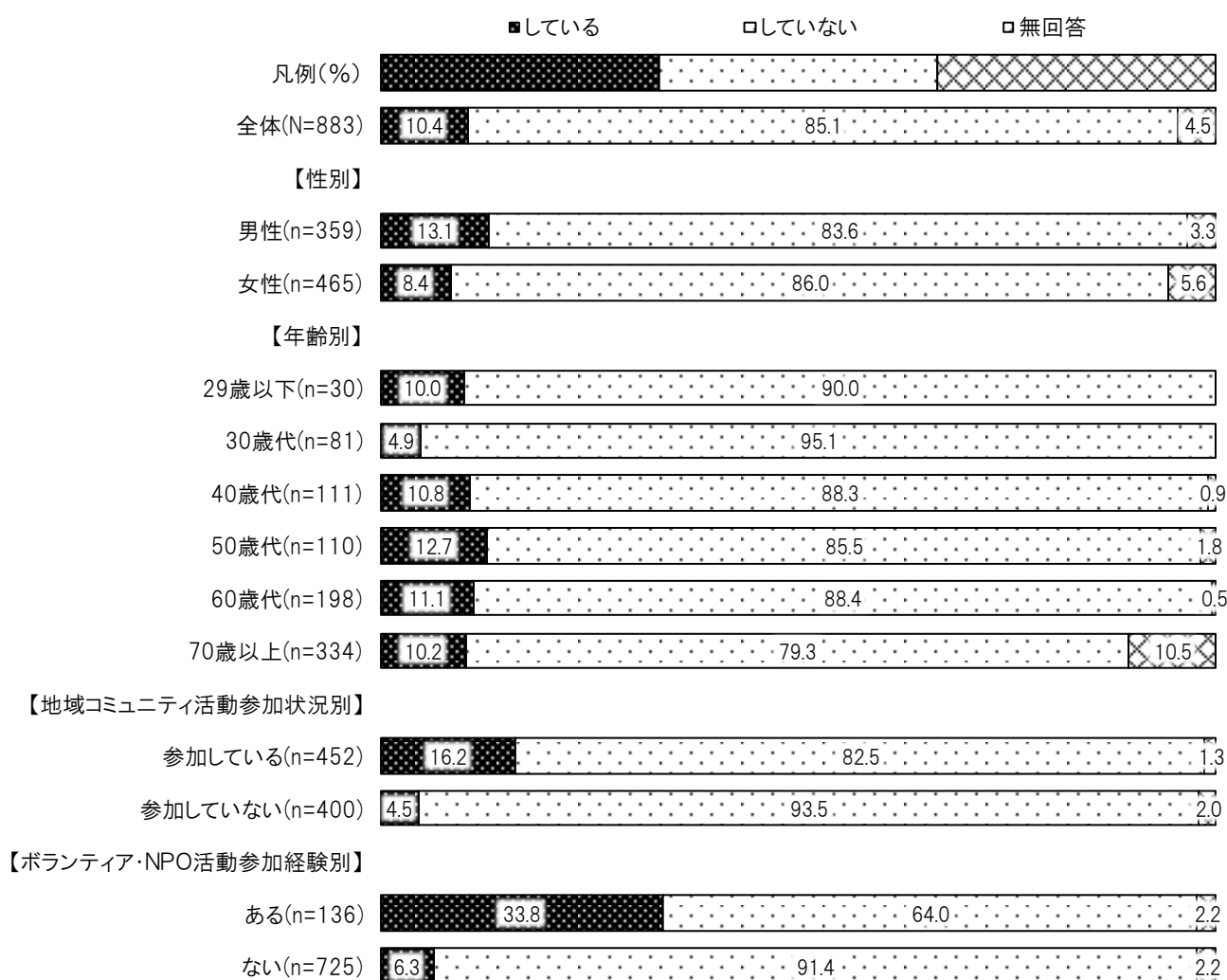
7. 地域に貢献する活動状況

(7) あなたは、学習やスポーツの指導など、地域に貢献する活動をしていますか

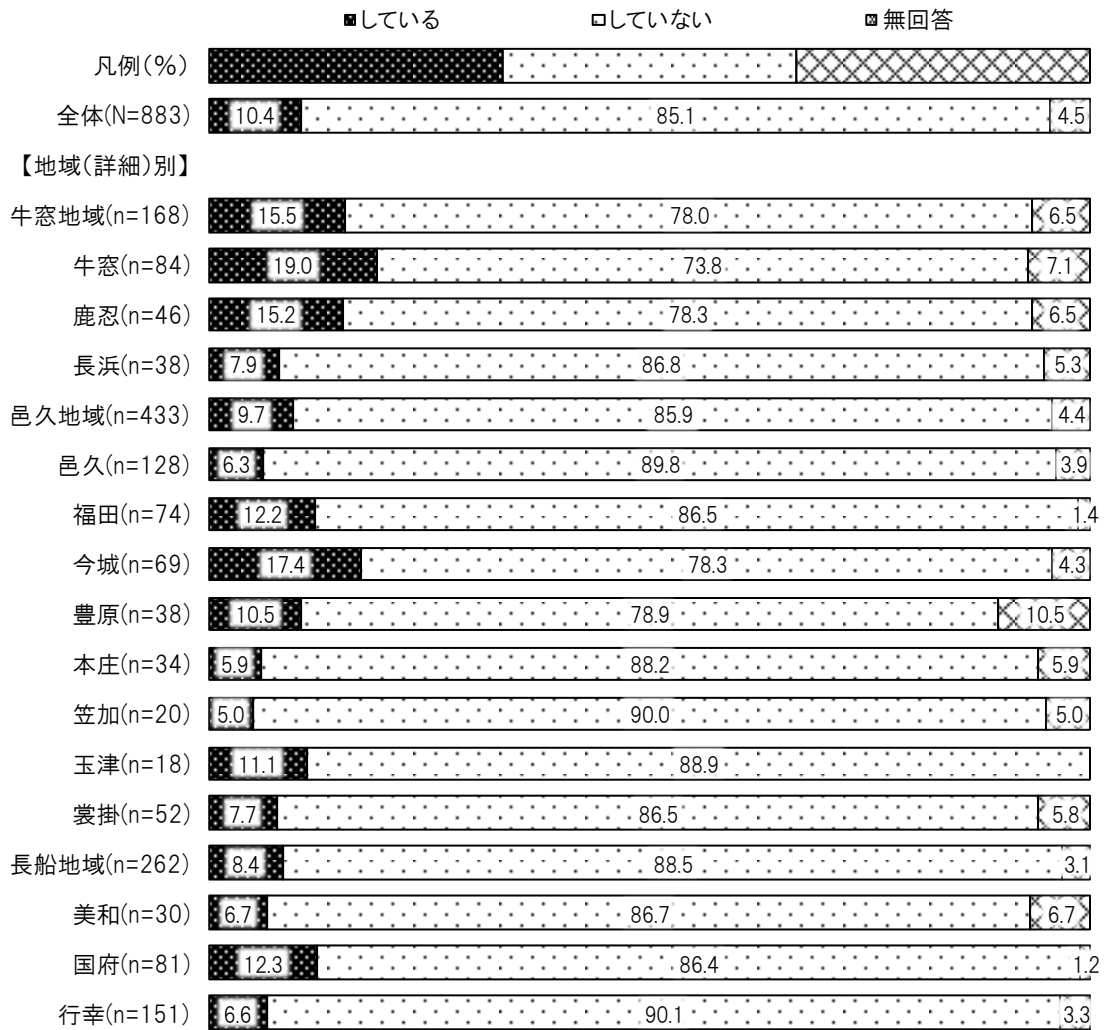
地域に貢献する活動状況については、「している」が10.4%、「していない」が85.1%であった。

性別では、女性に比べて男性で「している」が高く、年齢別では、30歳代で「していない」が他の年齢層に比べて高い。

地域コミュニティ活動に参加している層やボランティア・NPO活動に参加経験のある層で、「している」がそれぞれ高い。

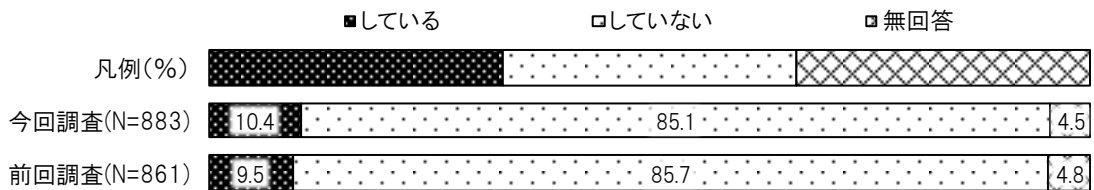


地域別にみると、「している」は牛窓、鹿忍、今城などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。

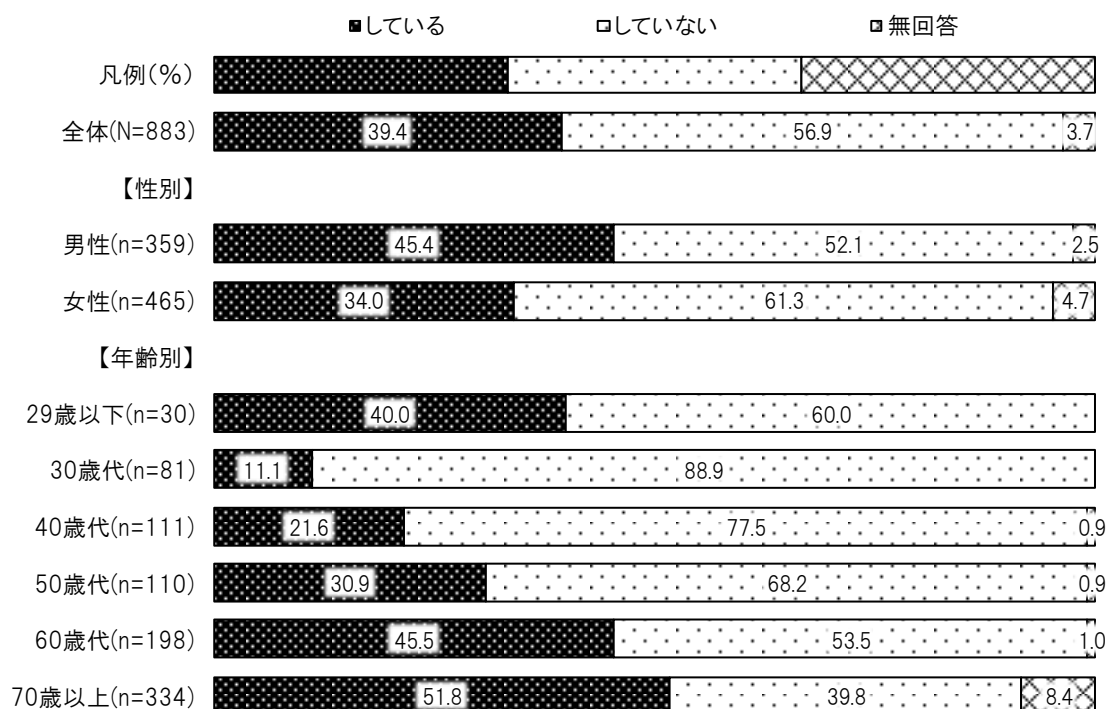


8. 運動継続状況

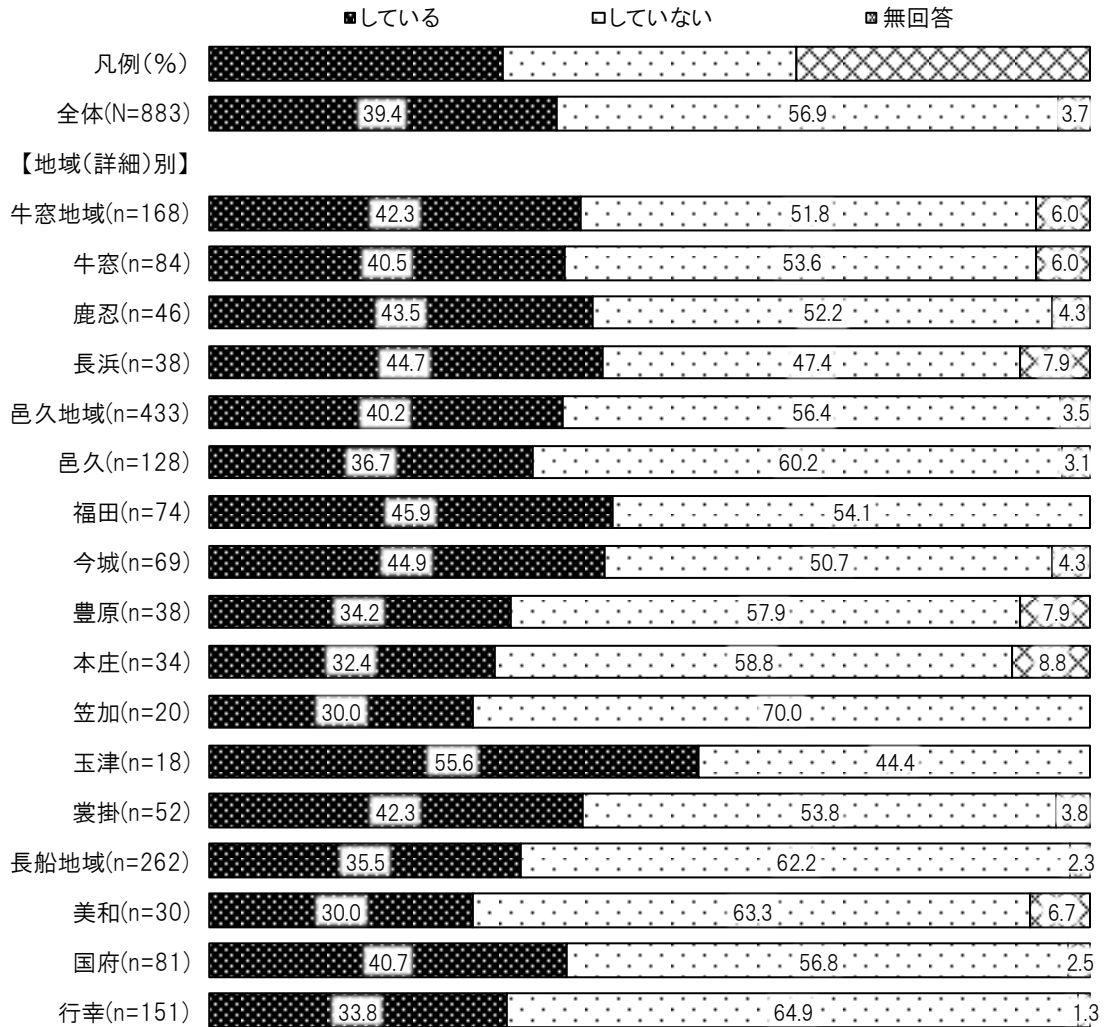
(8) あなたは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していますか

運動継続状況については、「している」が39.4%、「していない」が56.9%であった。
性別では、男性に比べて女性で「していない」が高い。

年齢別では、30歳代で「している」が1割程度と最も低くなっている。30歳代以降は年齢層が上がるほど「している」が高くなる傾向にあり、70歳以上の過半数が「している」と回答している。

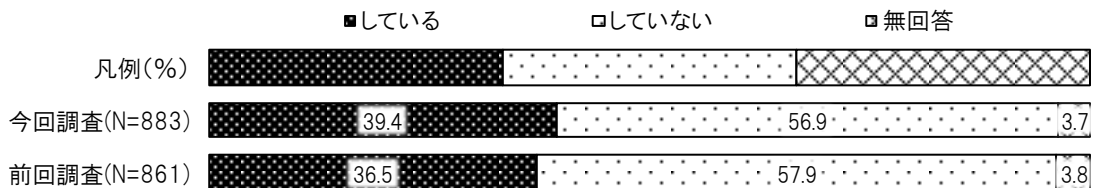


地域別にみると、「している」は玉津などで高く、「していない」は笠加、美和、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「している」が増加した。



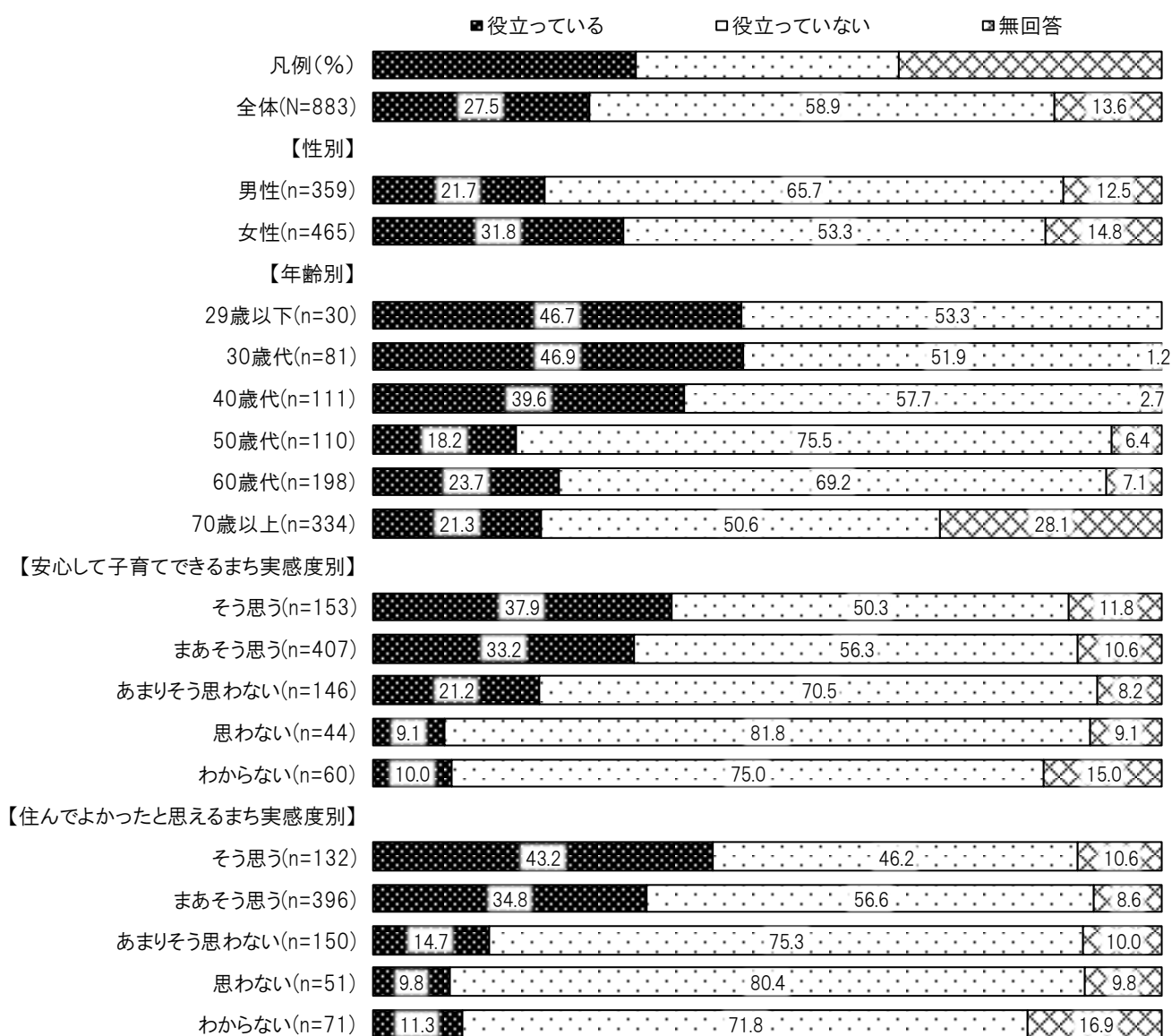
9. 子育て情報の有益度について

(9) あなたにとって、市が発信する子育て情報は役立っていますか

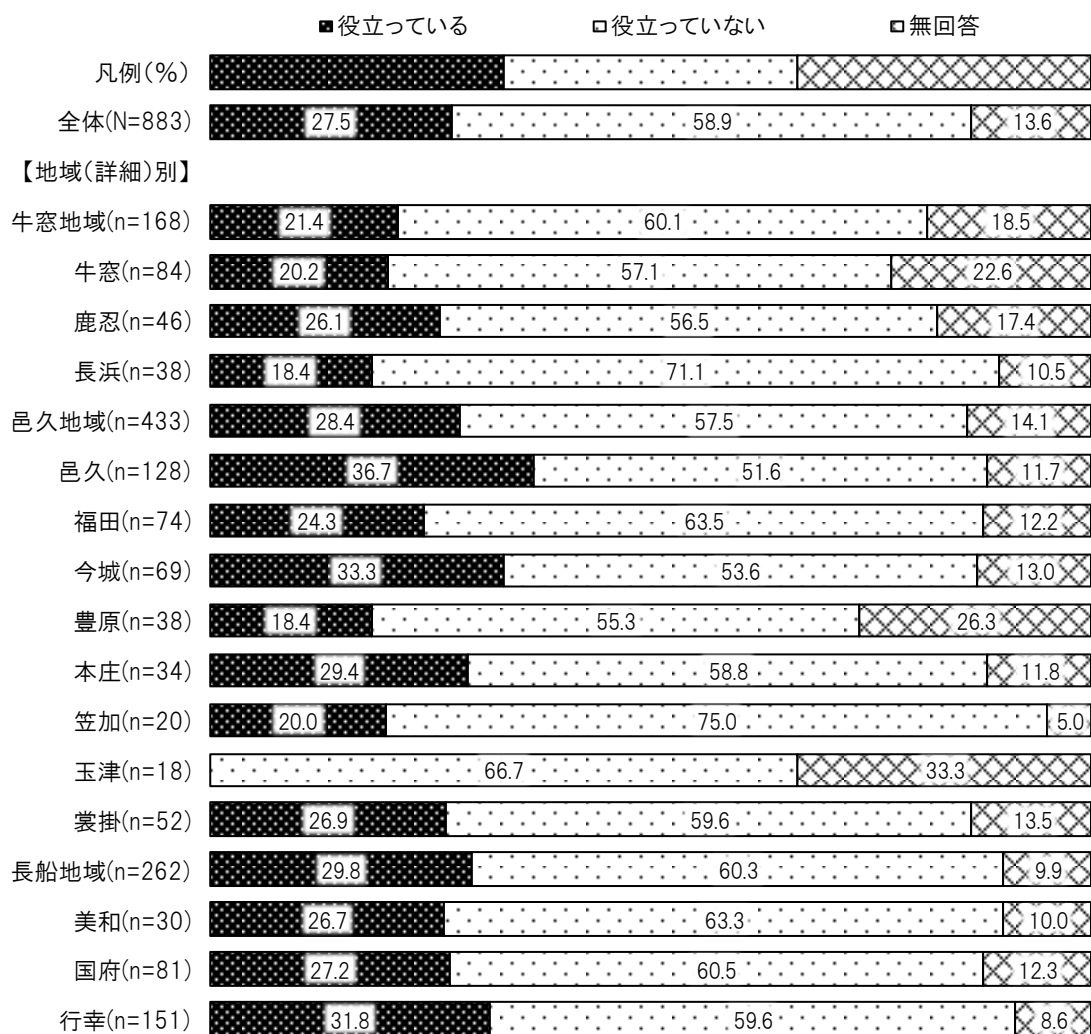
子育て情報の有益度については、「役立っている」が27.5%、「役立っていない」が58.9%であった。

性別では、男性に比べて女性で「役立っている」が高く、年齢別では、40歳代以下で「役立っている」が高くなっている。

安心して子育てできるまちや住んでよかったと思えるまちの実感度別では、実感度が高い層ほど「役立っている」も高くなる傾向にある。



地域別にみると、「役立っている」は邑久、今城などで高く、「役立っていない」は長浜、笠加などで高くなっている。



10. 「バリアフリー化」進行状況について

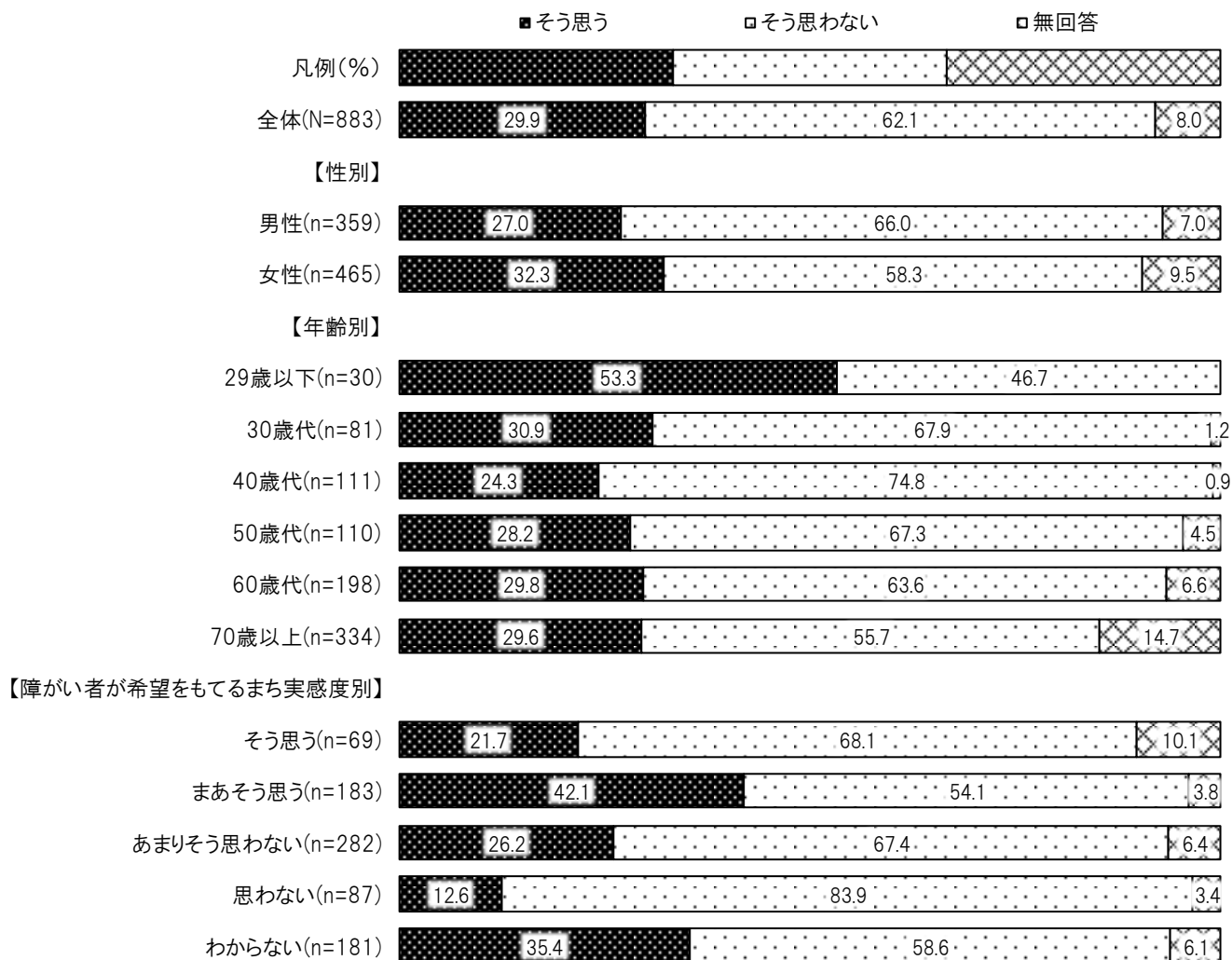
(10) あなたは、市内の公共施設や商業施設などで、「バリアフリー化」（障がい者や高齢者にとって不便な障がいを取り除く取り組み）が進んでいると思いますか

「バリアフリー化」進行状況については、「そう思う」が29.9%、「そう思わない」が62.1%であった。

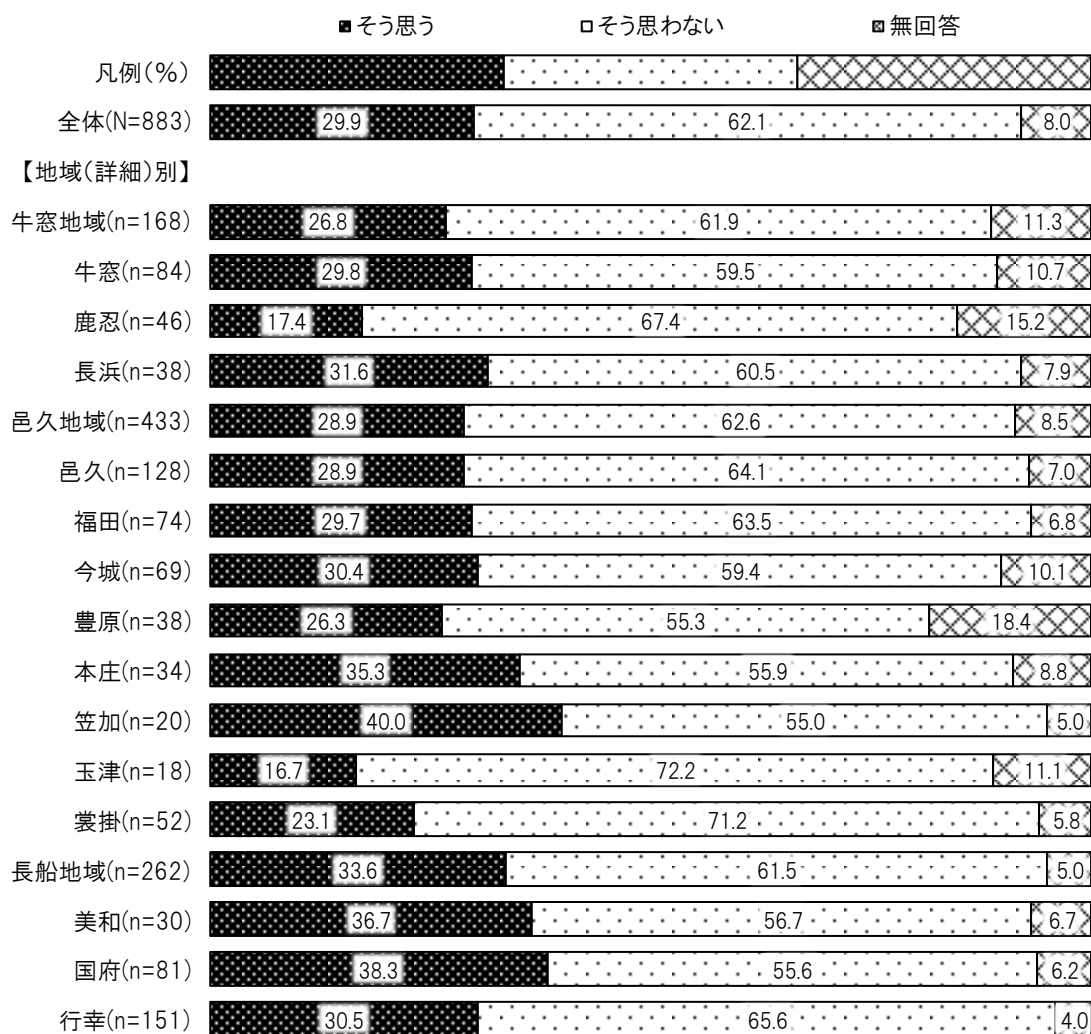
性別では、女性に比べて男性で「そう思わない」が高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「そう思う」が過半数を占める。その一方で、40歳代の7割以上が「そう思わない」と回答している。

障がい者が希望をもてるまち実感度別では、実感度の低い層の8割以上が「そう思わない」と回答している。一方、実感度が「まあそう思う」層で「そう思う」と回答した割合が他の層に比べて高くなっている。

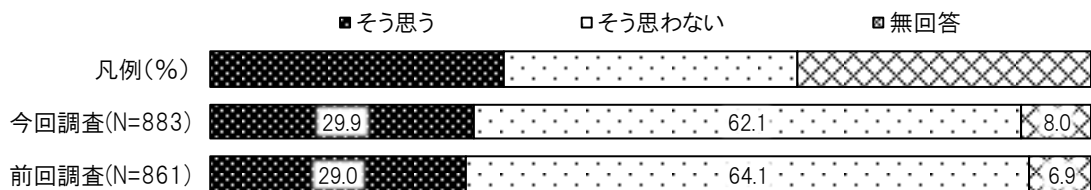


地域別にみると、「そう思う」は笠加、国府などで高く、「そう思わない」は玉津、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ「そう思わない」がやや減少した。

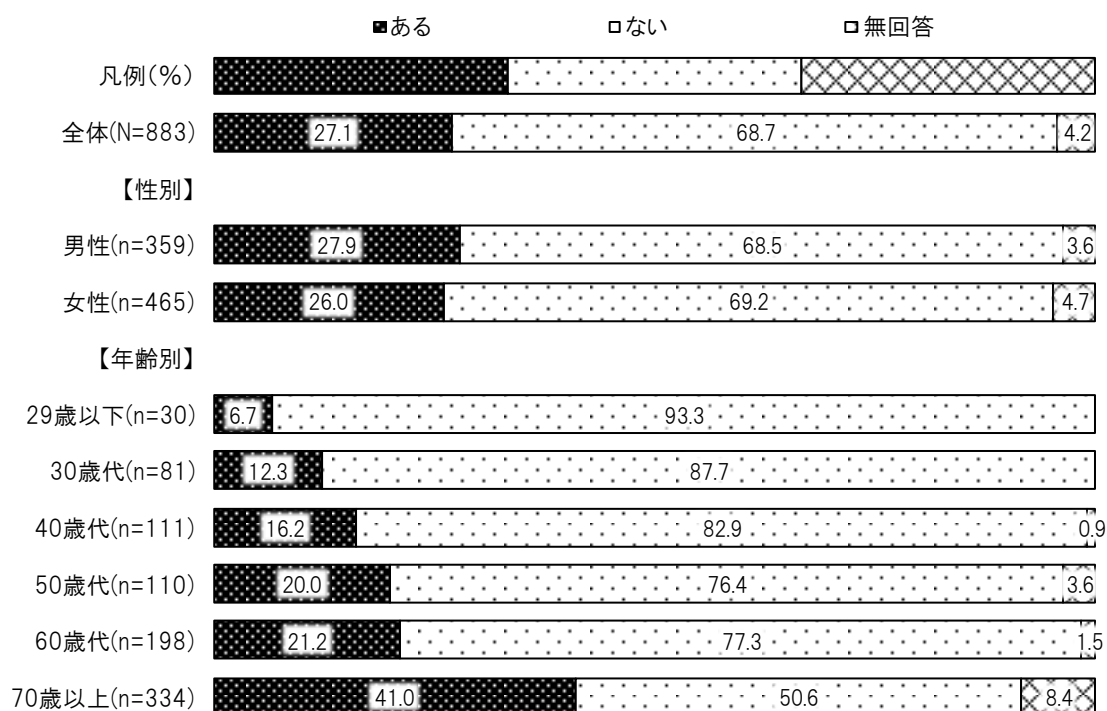


11. 日常生活に不自由を感じること

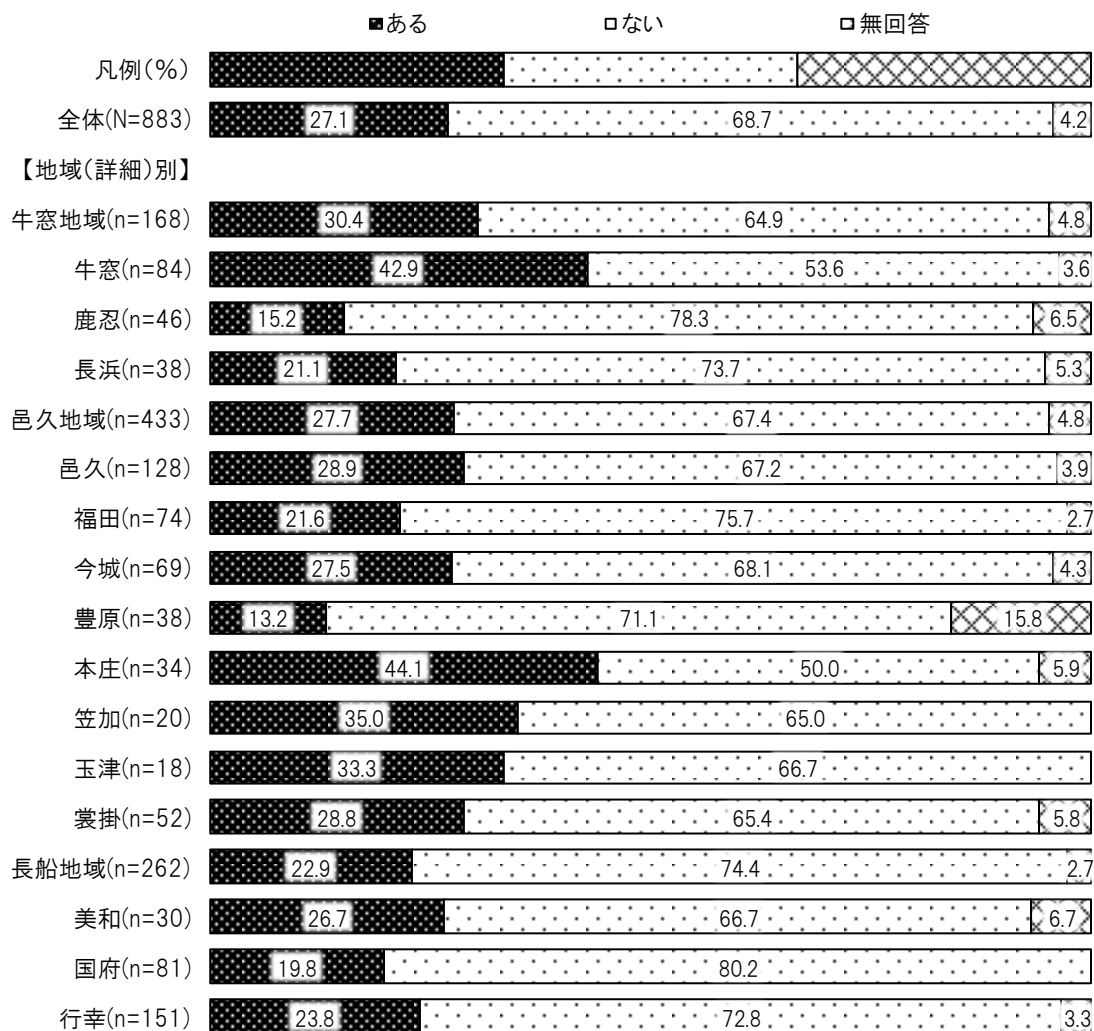
(11) あなたは、身体に障がいがあったり、体調が優れないなど、日常生活に不自由を感じることはありますか

日常生活に不自由を感じることは、「ある」が27.1%、「ない」が68.7%であった。

性別による目立った差はみられないが、年齢別では、年齢層が上がるほど「ある」が高くなる傾向にある。

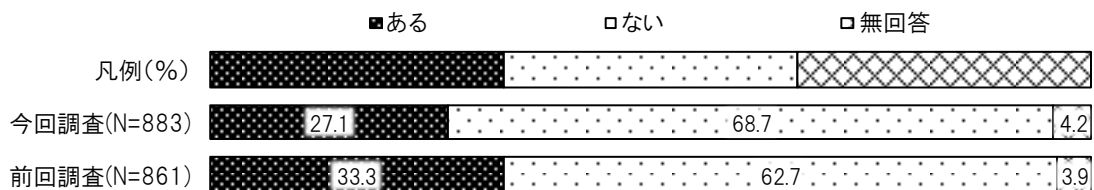


地域別にみると、「ある」は牛窓、本庄などで高く、「ない」は鹿忍、国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ない」が増加した。

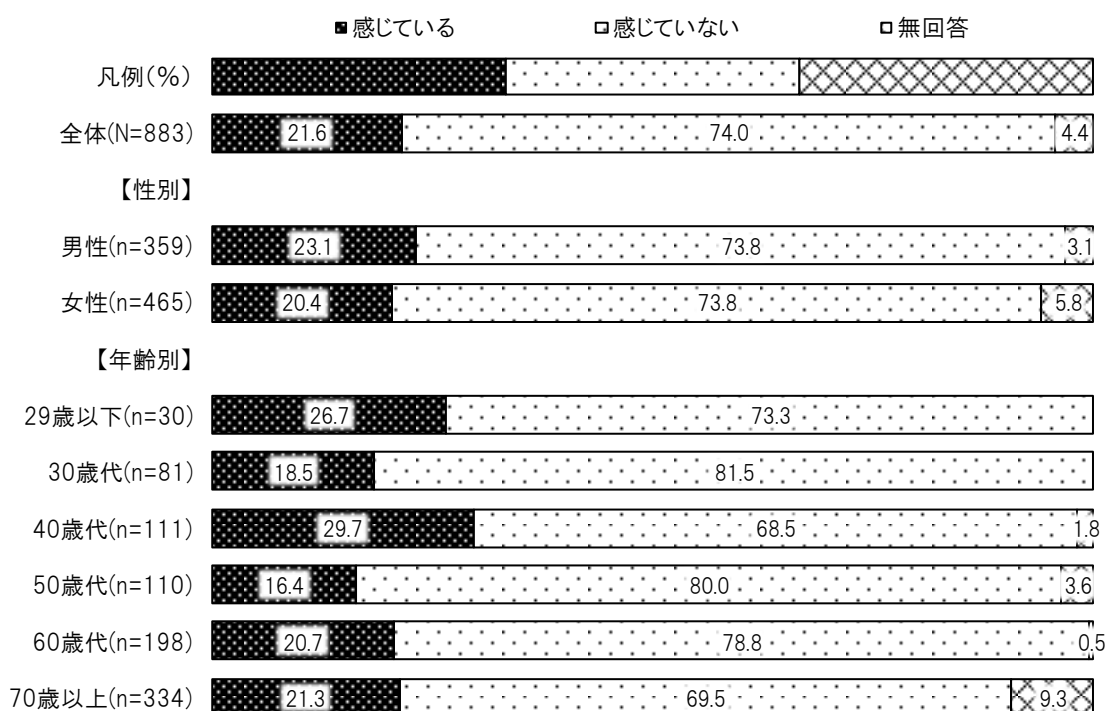


12. 経済的な理由による日常生活の困難さについて

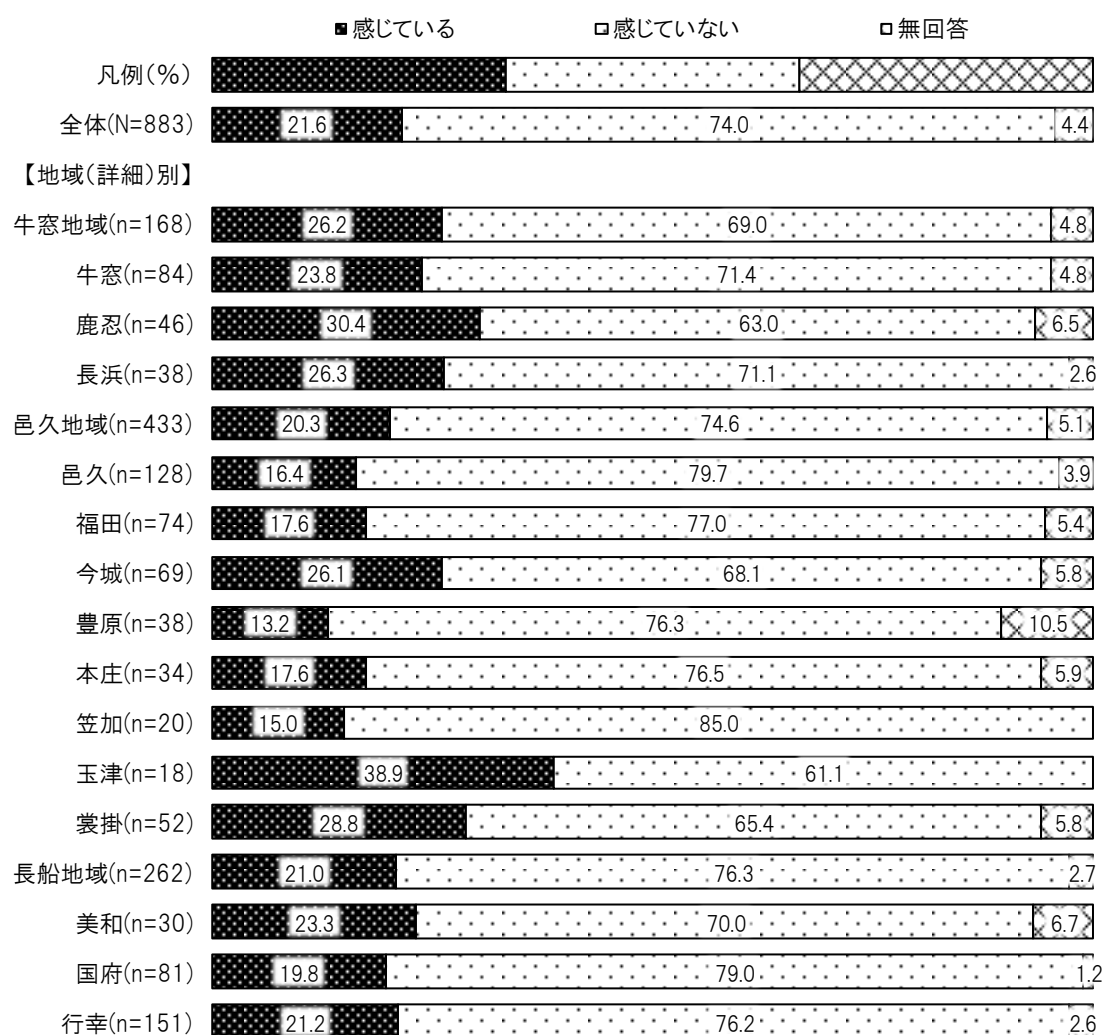
(12) あなたは、経済的な理由で日常生活が困難だと感じていますか

経済的な理由による日常生活の困難さについては、「感じている」が21.6%、「感じていない」が74.0%であった。

性別では、女性に比べて男性で「感じている」がやや高く、年齢別では、29歳以下と40歳代で「感じている」が他の年齢層に比べて高くなっている。

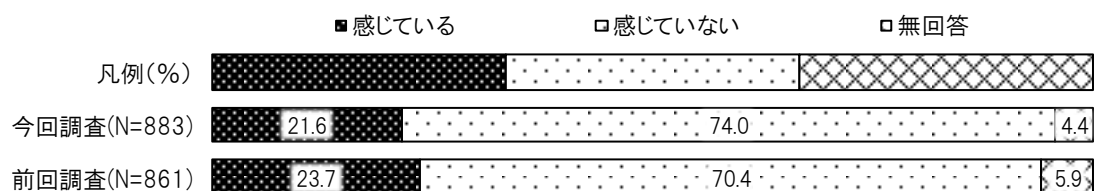


地域別にみると、鹿忍、玉津などで「感じている」が高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「感じていない」が増加した。



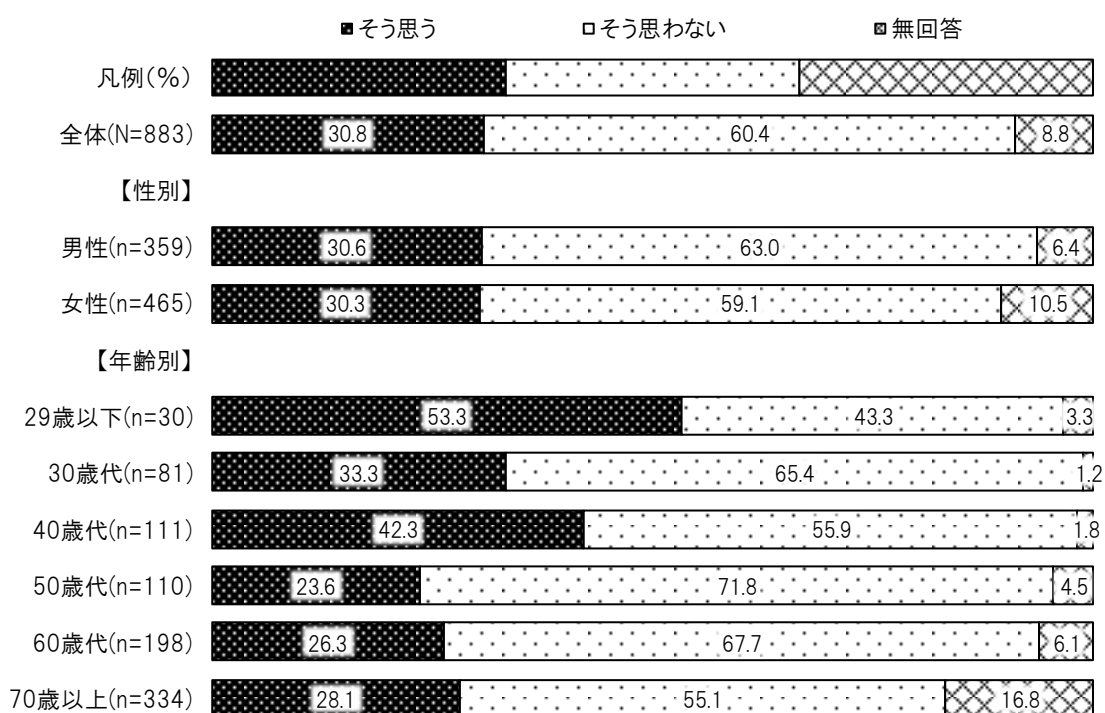
13. 計画的な土地利用について

(13) あなたは、瀬戸内市の土地利用は、住宅や店舗、工場などが混在することなく、計画的に進められていると思いますか

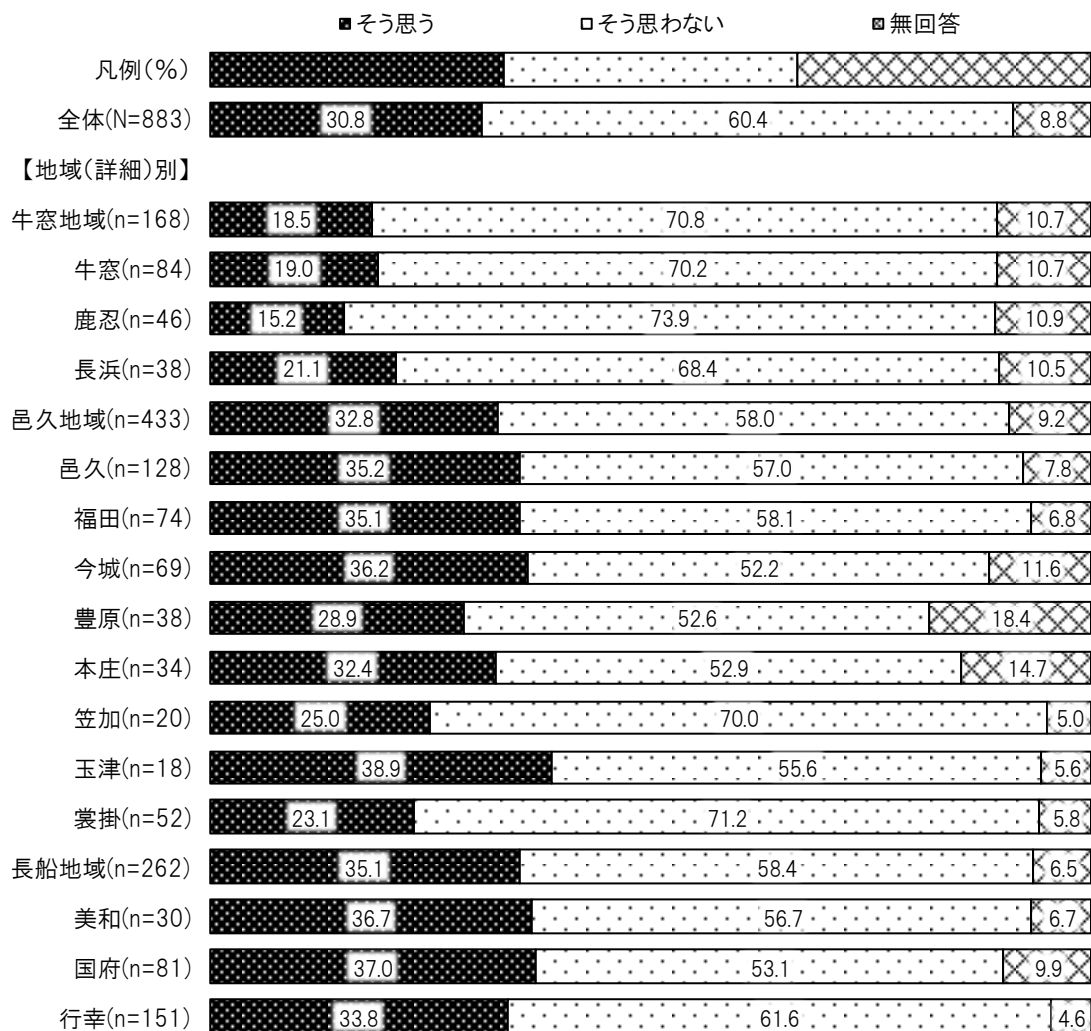
計画的な土地利用については、「そう思う」が30.8%、「そう思わない」が60.4%であった。

性別では、女性に比べて男性で「そう思わない」が高い。

年齢別では、29歳以下で「そう思う」が高く、50～60歳代で「そう思わない」が他の年齢層に比べて高い。

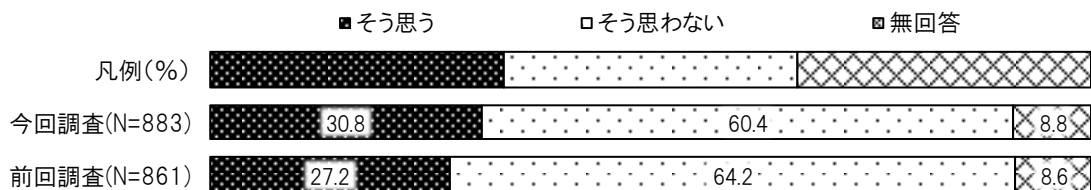


地域別にみると、「そう思う」は邑久、福田、今城、玉津、美和、国府などで高く、「そう思わない」は牛窓、鹿忍、長浜、笠加、裳掛などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思う」がやや増加した。

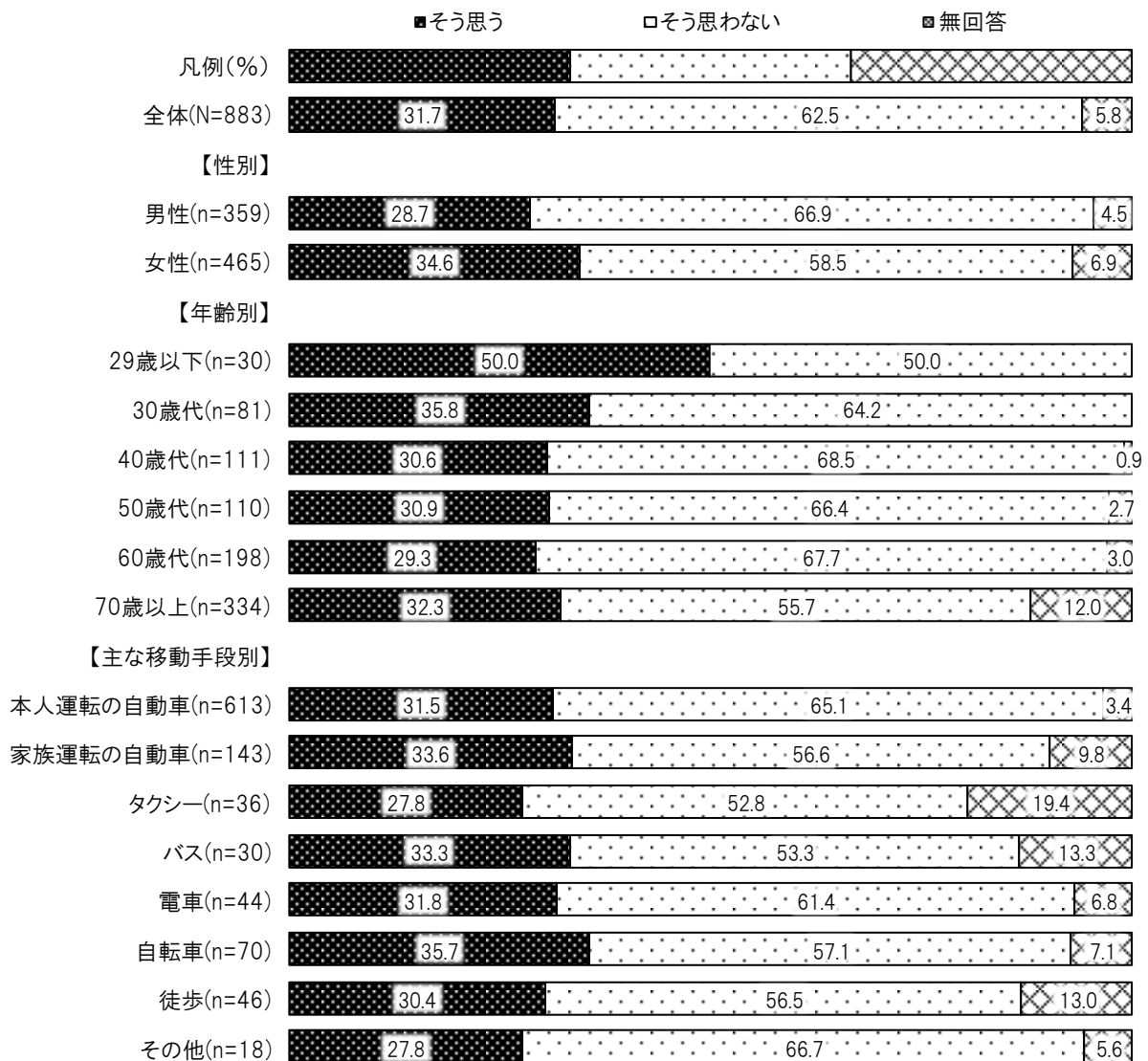


14. 道路の快適性について

(14) あなたは、瀬戸内市の道路は快適だと思いますか

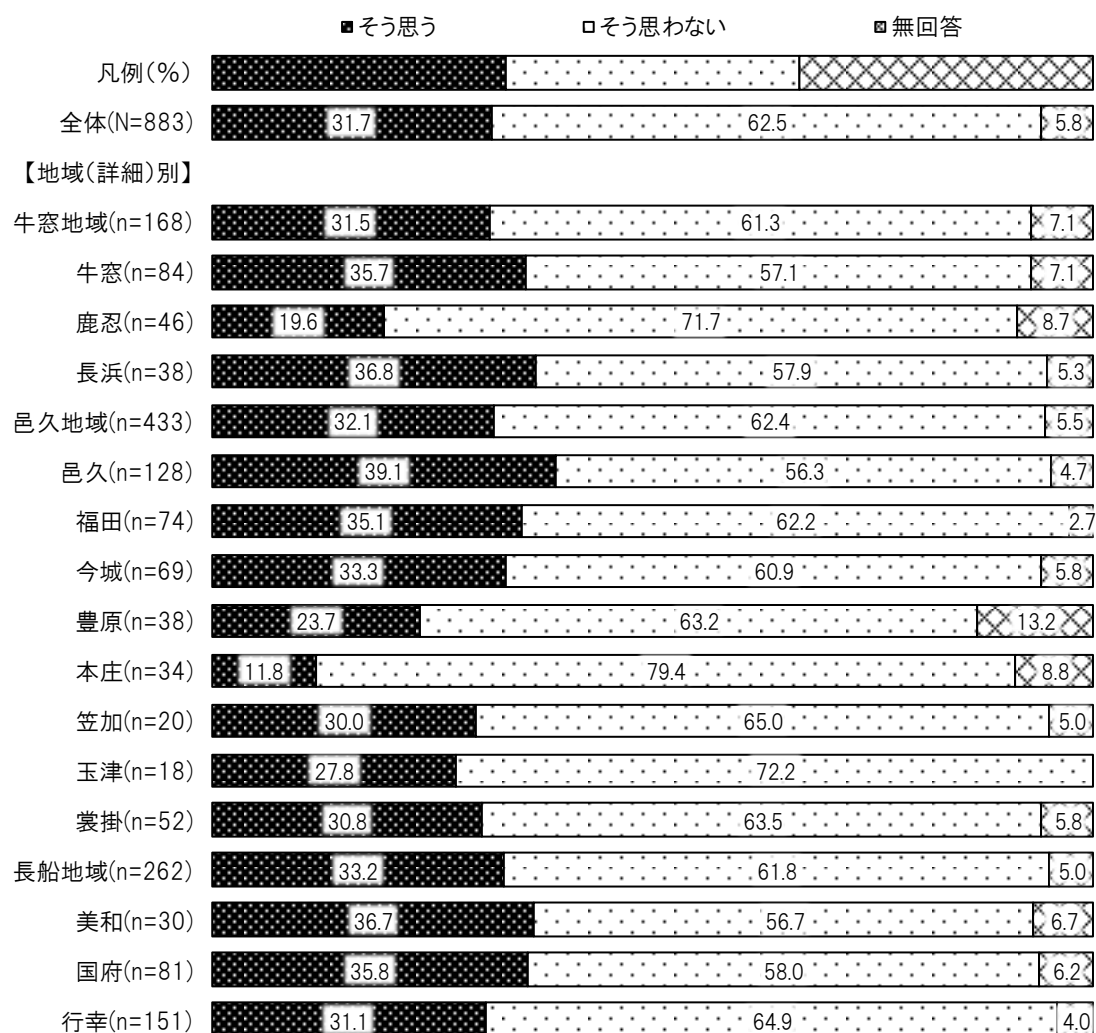
道路の快適性については、「そう思う」が31.7%、「そう思わない」が62.5%であった。性別では、女性に比べて男性で「そう思わない」が高く、年齢別では、若い年齢層ほど「そう思う」がおおむね高くなる傾向にある。

主な移動手段別にみると、いずれの交通機関利用者も過半数が「そう思わない」と回答している。



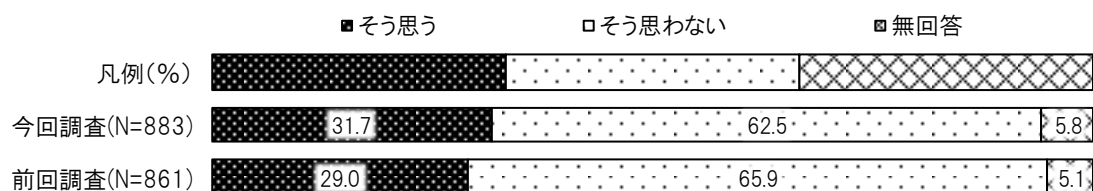
注：クロス軸のうち、主な移動手段別については、複数回答のため傾向値として参照

地域別にみると、「そう思わない」は鹿忍、本庄、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思わない」がやや減少した。



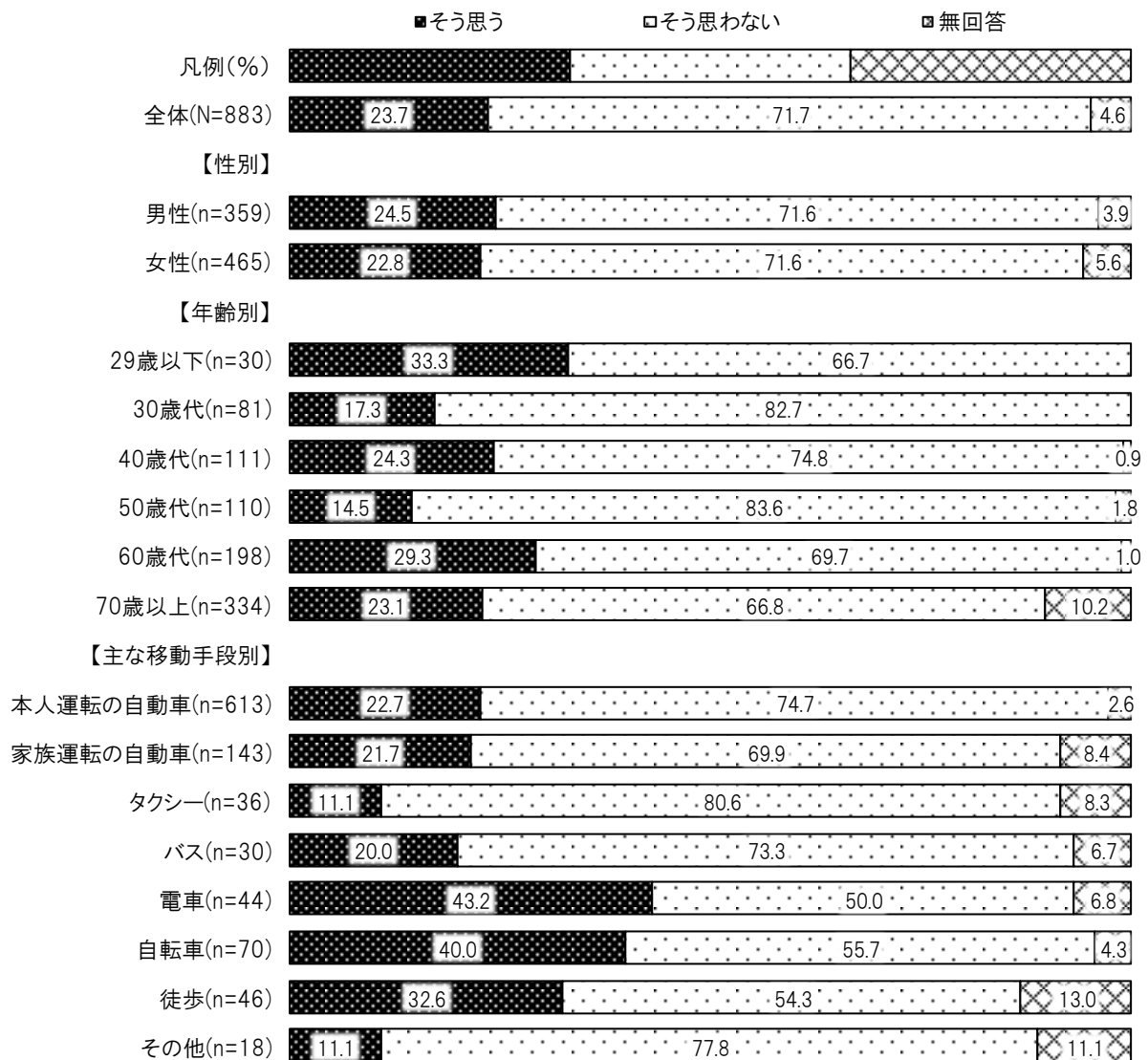
15. 公共交通機関の利用しやすさについて

(15) あなたは、バスや電車など、公共交通機関が利用しやすいと思いますか

公共交通機関の利用しやすさについては、「そう思う」が23.7%、「そう思わない」が71.7%であった。

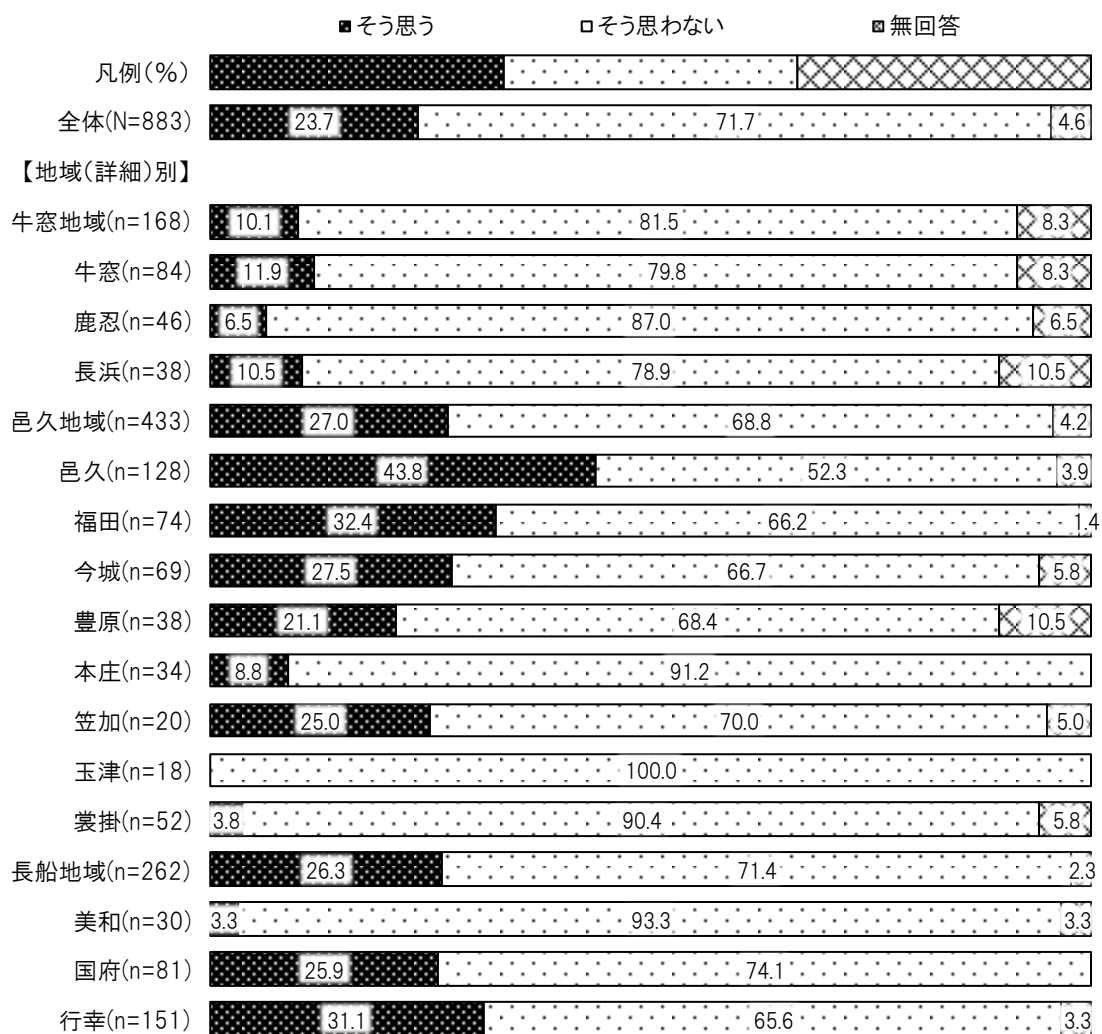
性別による目立った差はないが、年齢別では、30歳代と50歳代で「そう思わない」が他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

主な移動手段別にみると、「電車」利用者の4割以上が「そう思う」と回答する一方で、「タクシー」利用者の約8割、「バス」利用者の7割以上が「そう思わない」と回答しており、公共交通機関による差が目立っている。



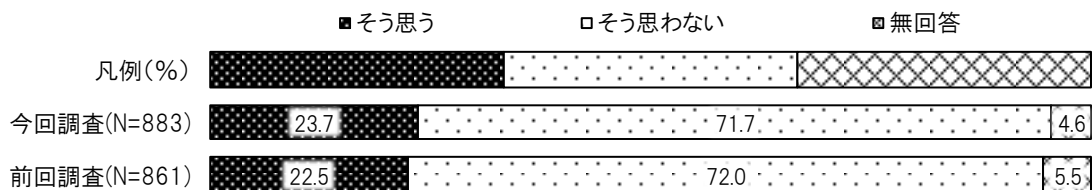
注:クロス軸のうち、主な移動手段別については、複数回答のため傾向値として参照

地域別にみると、「そう思う」は邑久、福田、行幸などで高く、「そう思わない」は牛窓、鹿忍、長浜、本庄、玉津、裳掛、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。



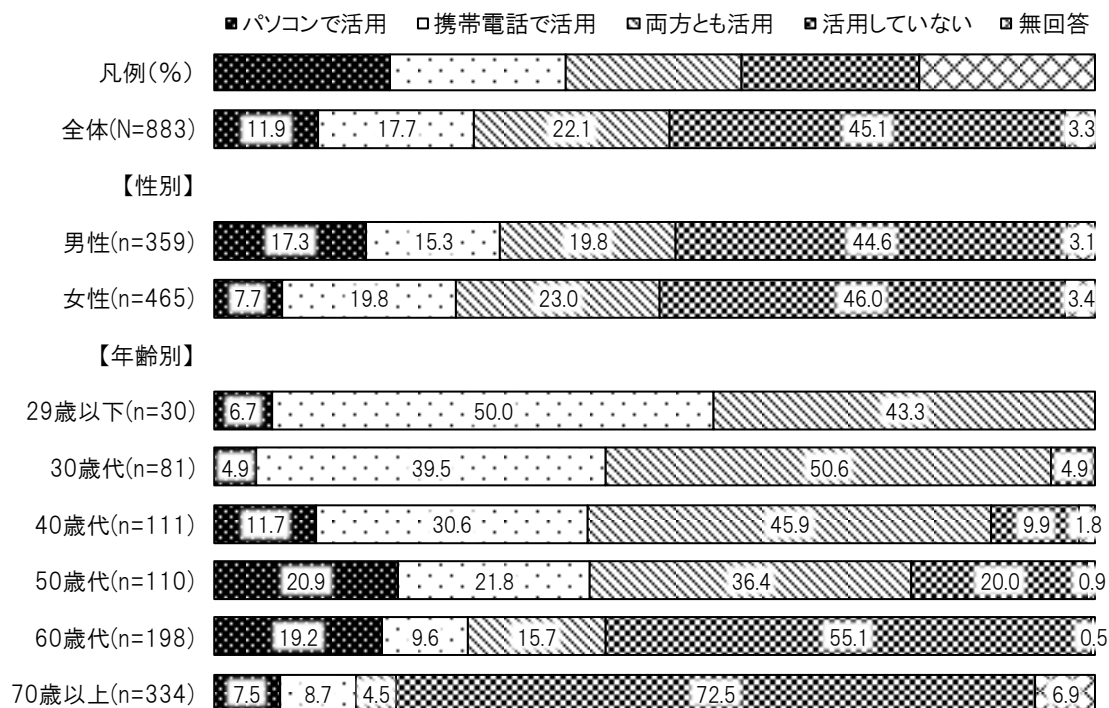
16. インターネットの活用状況

(16) あなたは、日常生活の中でインターネットを活用していますか

インターネットの活用状況については、「両方とも活用」が22.1%と最も高く、次いで「携帯電話で活用」(17.7%)、「パソコンで活用」(11.9%)の順となっており、合わせると過半数(51.7%)がインターネットを活用していると回答している。一方、「活用していない」は45.1%であった。

性別では、男性で「パソコンで活用」、女性で「携帯電話で活用」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「携帯電話で活用」「両方とも活用」が高く、インターネットの活用率が高くなる傾向にある。また、50～60歳代は「パソコンで活用」が他の年齢層に比べて高くなっている。



地域別にみると、「活用していない」は牛窓、鹿忍、本庄、玉津、裳掛などで高くなっている。一方、邑久、福田、国府などはインターネットの活用率が他の地域に比べて高い。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ「携帯電話で活用」「両方とも活用」が増加した。



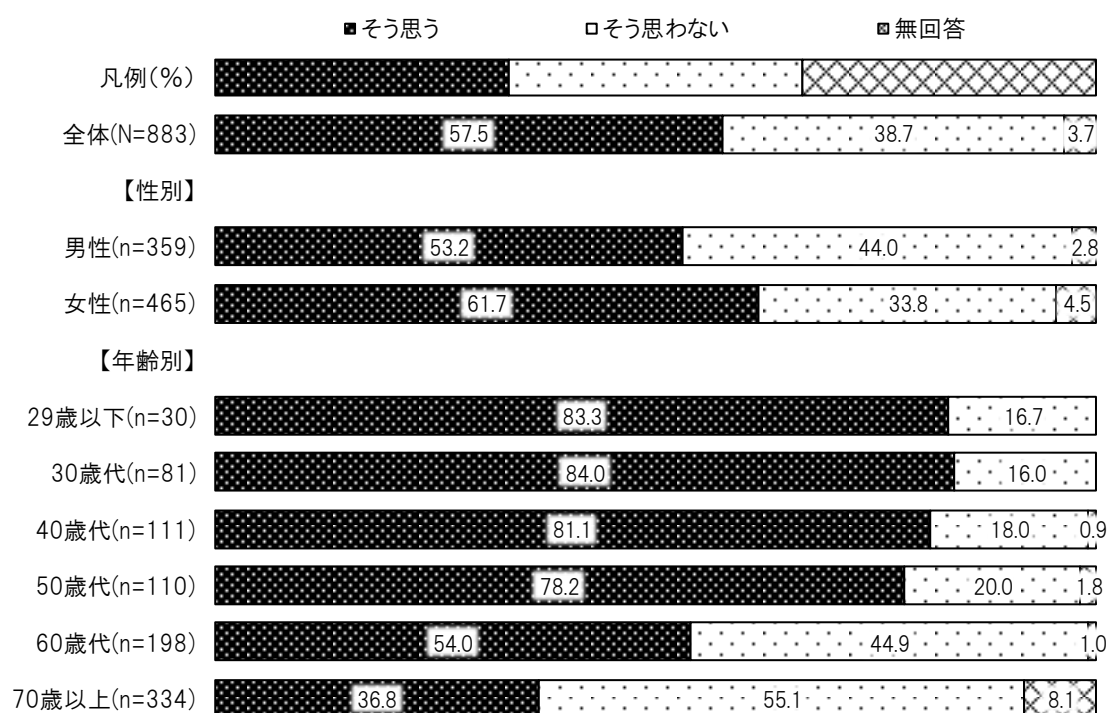
17. コンビニエンスストアでの税金などの支払利用希望

(17) あなたは、コンビニエンスストアで税金などの支払ができるようになった場合、利用したいと思いますか

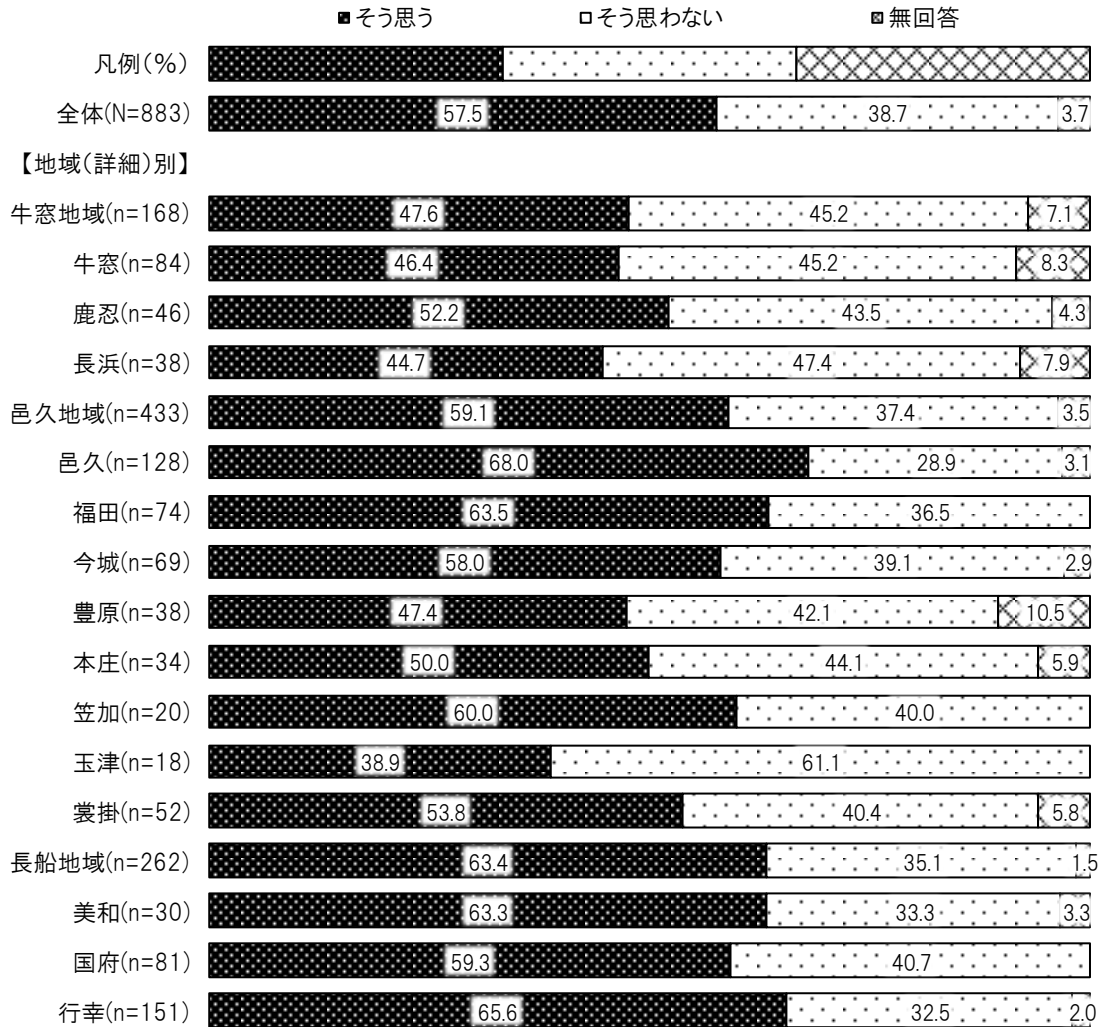
コンビニエンスストアでの税金などの支払利用希望については、「そう思う」が57.5%、「そう思わない」が38.7%であった。

性別では、男性に比べて女性で「そう思う」が高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「そう思う」がおおむね高くなる傾向にあり、50歳代以下の利用希望は8割前後を占める。



地域別にみると、「そう思う」は邑久などで高く、「そう思わない」は長浜、玉津などで高くなっている。

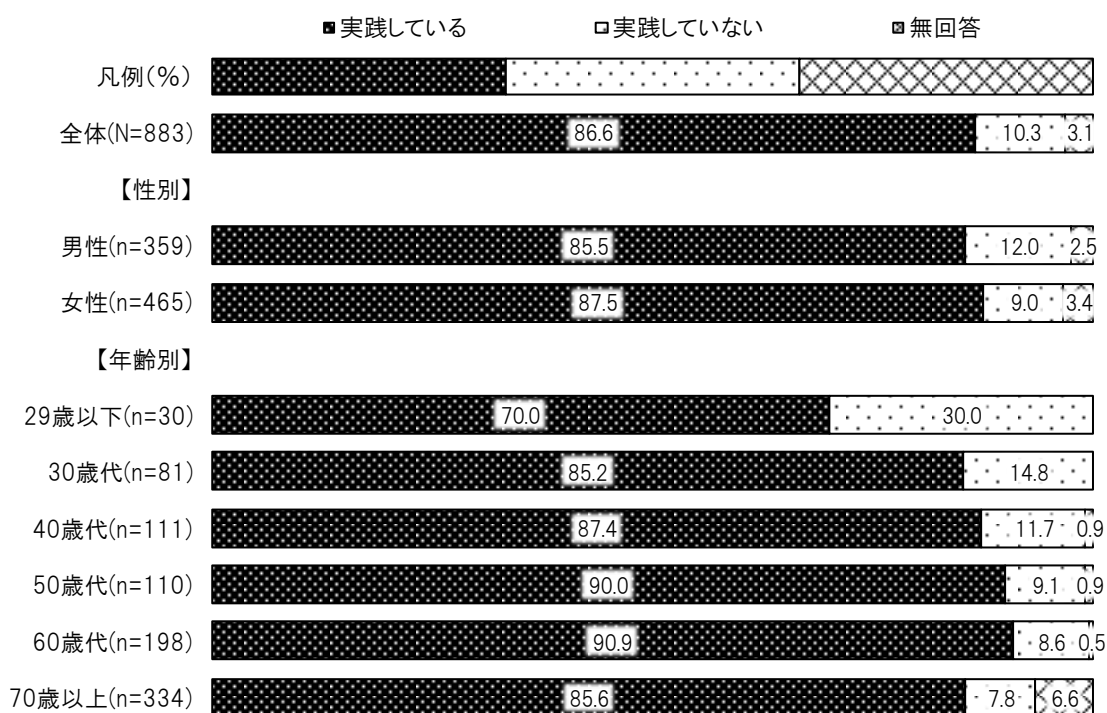


18. ごみのリサイクル実践状況

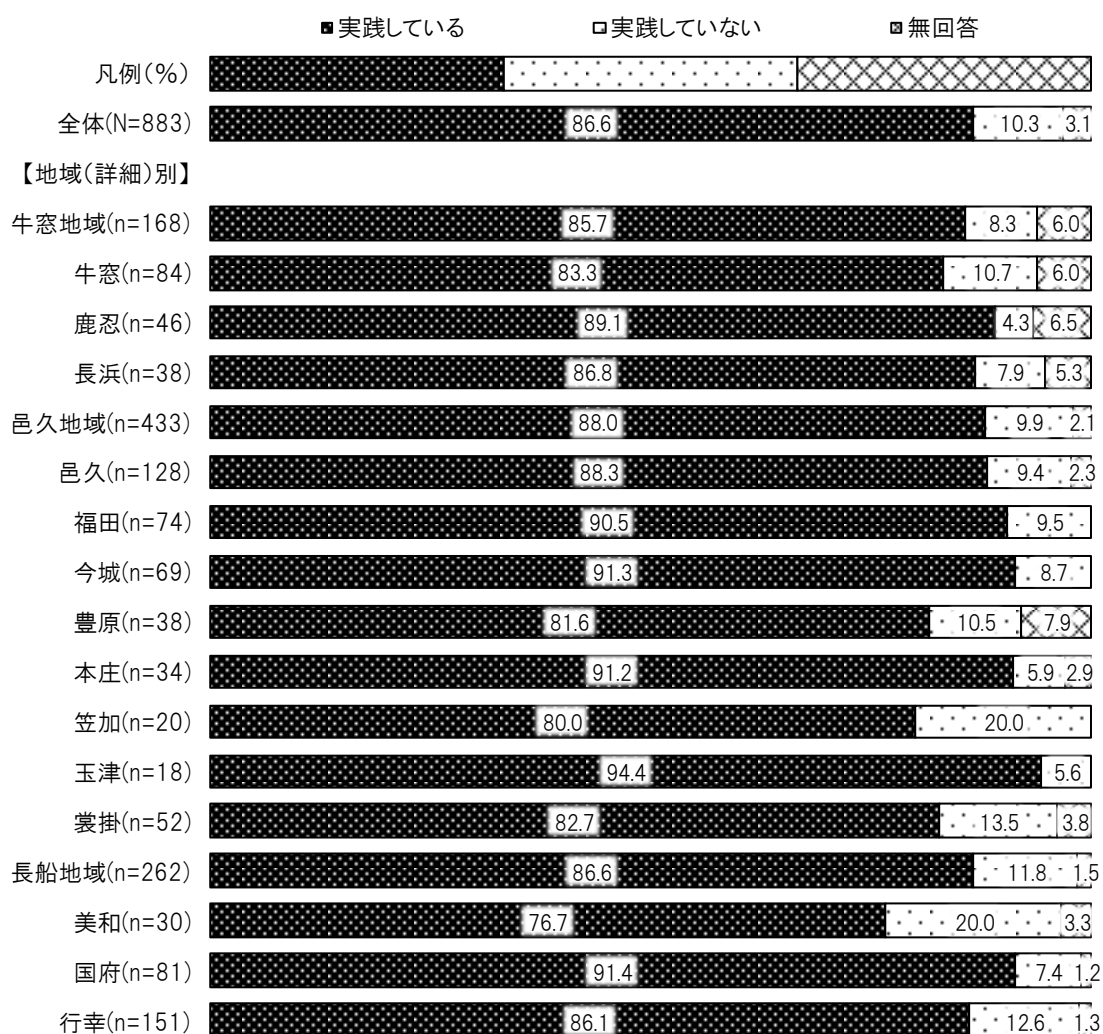
(18) あなたは、家庭から出るごみのリサイクルを実践していますか

ごみのリサイクル実践状況については、「実践している」が86.6%、「実践していない」が10.3%であった。

性別による目立った差はみられないが、年齢別では、29歳以下の3割が「実践していない」と回答している。

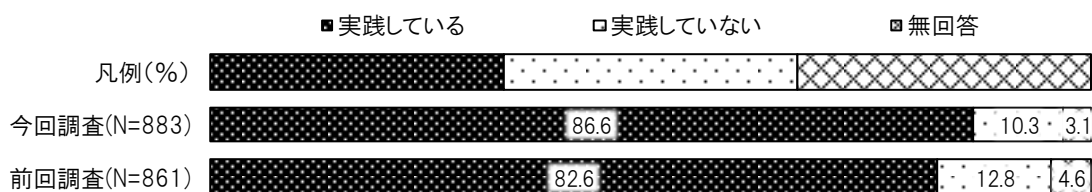


地域別にみると、「実践している」は福田、今城、本庄、玉津、国府などで高く、「実践していない」は笠加、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「実践している」が増加した。



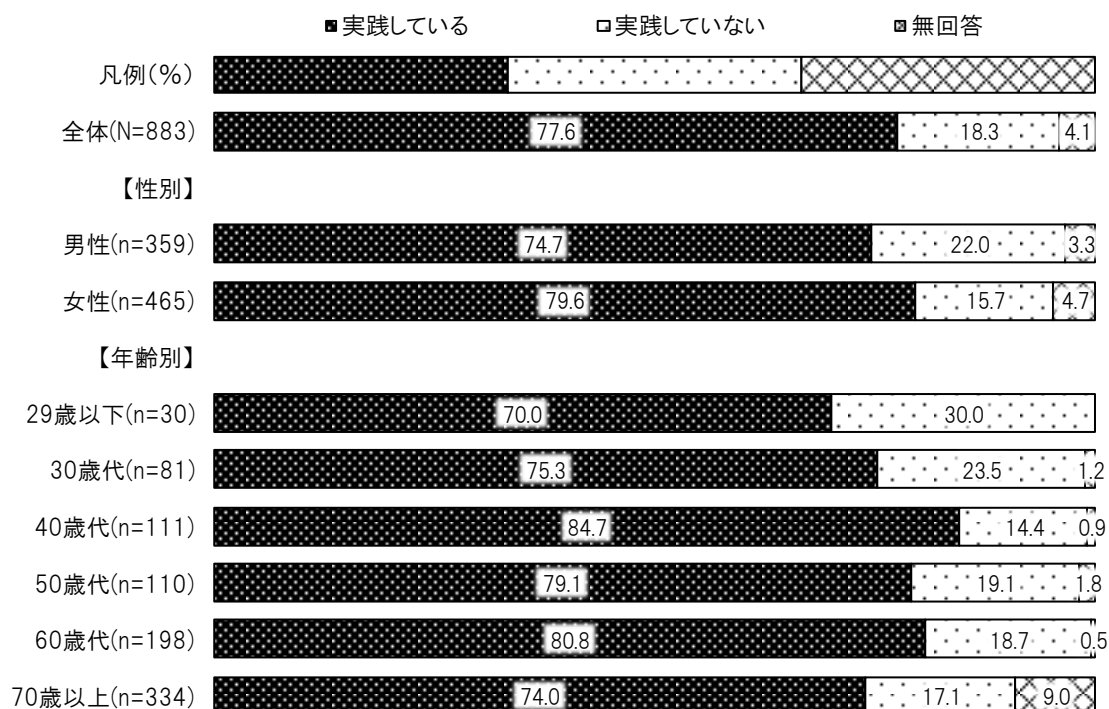
19. 省エネの実践状況

(19) あなたは、日常生活で省エネを実践していますか

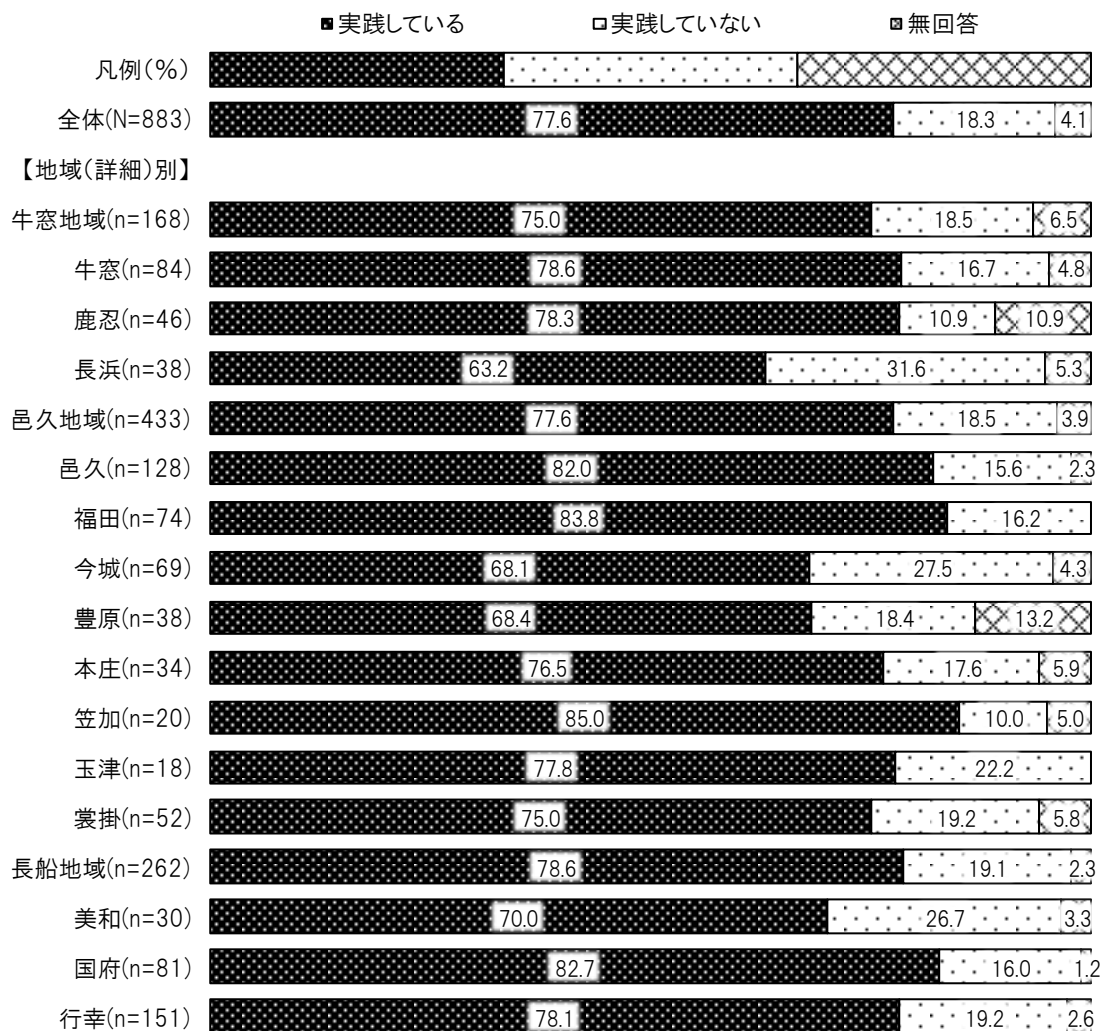
省エネの実践状況については、「実践している」が77.6%、「実践していない」が18.3%であった。

性別では、女性に比べて男性で「実践していない」が高い。

年齢別では、29歳以下の3割が「実践していない」と回答している。一方、40歳代で「実践している」が他の年齢層に比べて高い。

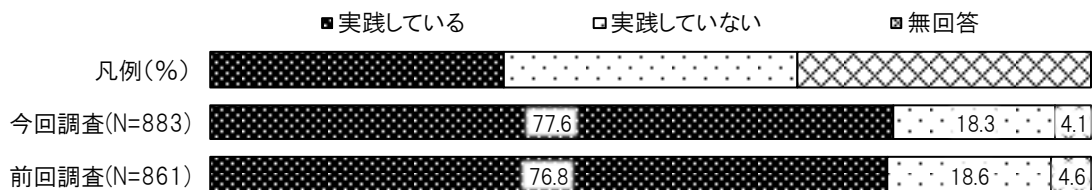


地域別にみると、「実践している」は邑久、福田、笠加、国府などで高く、「実践していない」は長浜、今城、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。

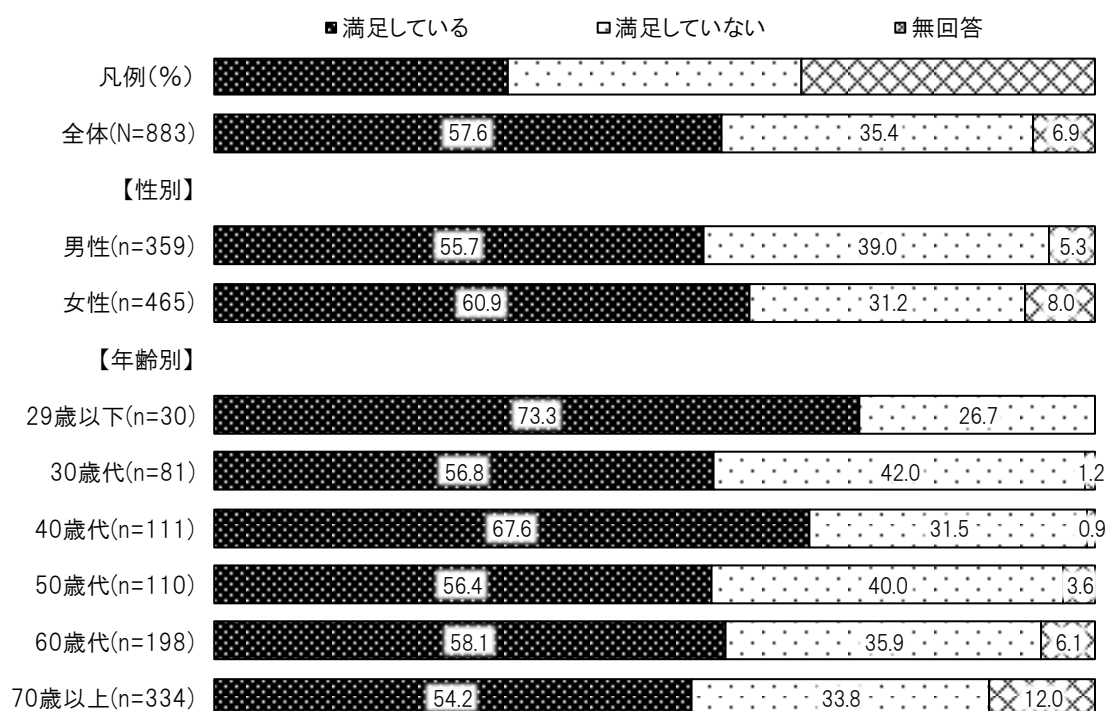


20. 瀬戸内市の景観への満足度

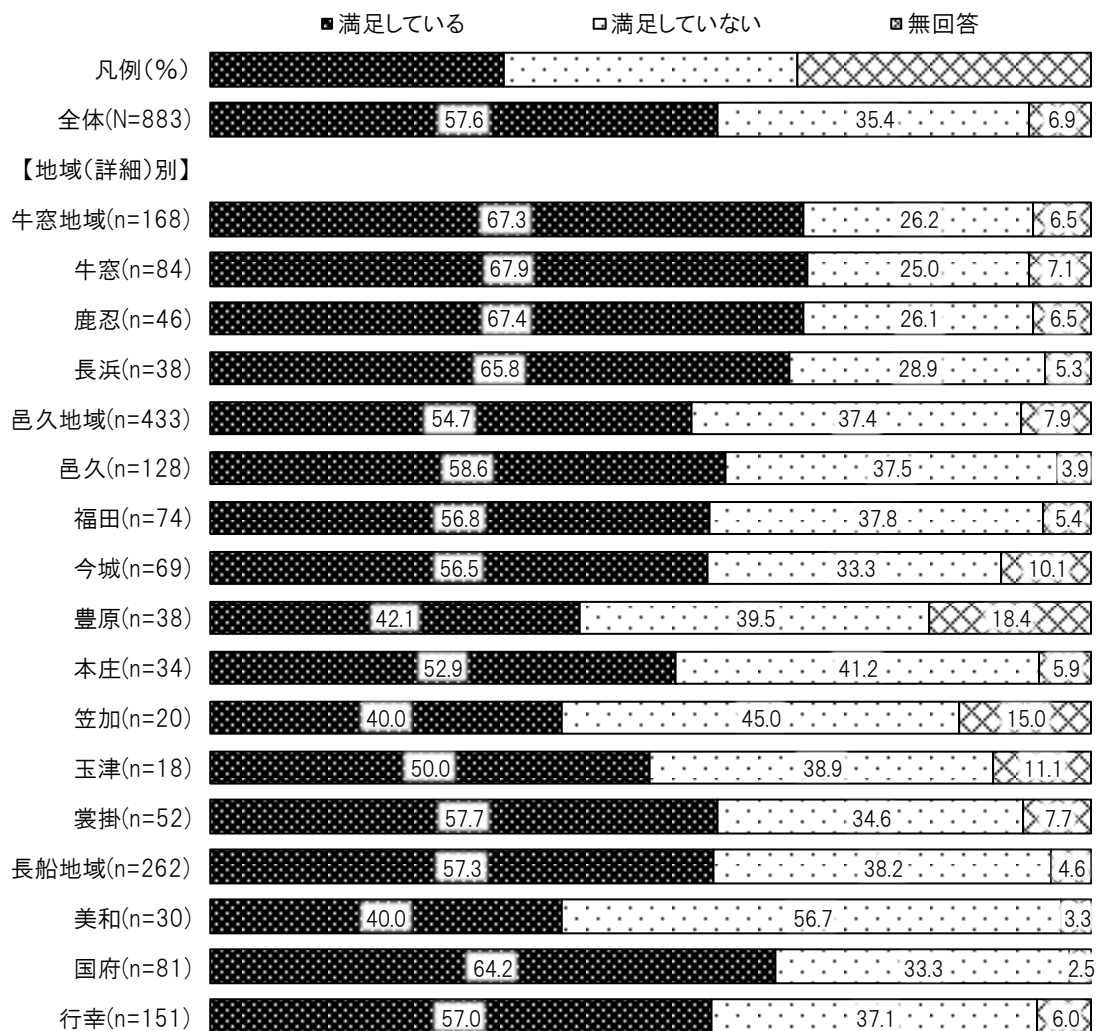
(20) あなたは、瀬戸内市の景観に満足していますか

瀬戸内市の景観への満足度については、「満足している」が57.6%、「満足していない」が35.4%であった。

性別では、男性に比べて女性で「満足している」が高く、年齢別では、29歳以下の7割以上が「満足している」と回答しており、他の年齢層に比べて高くなっている。

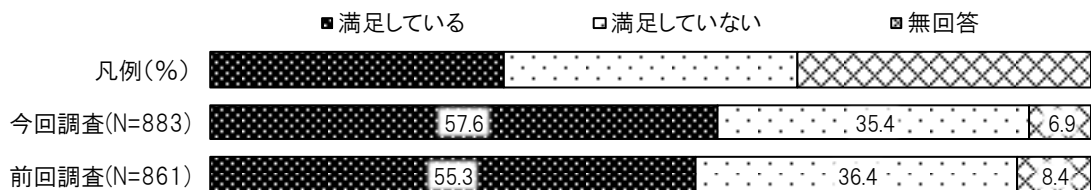


地域別にみると、「満足している」は牛窓、鹿忍、長浜などで高く、「満足していない」は美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「満足している」がやや増加した。

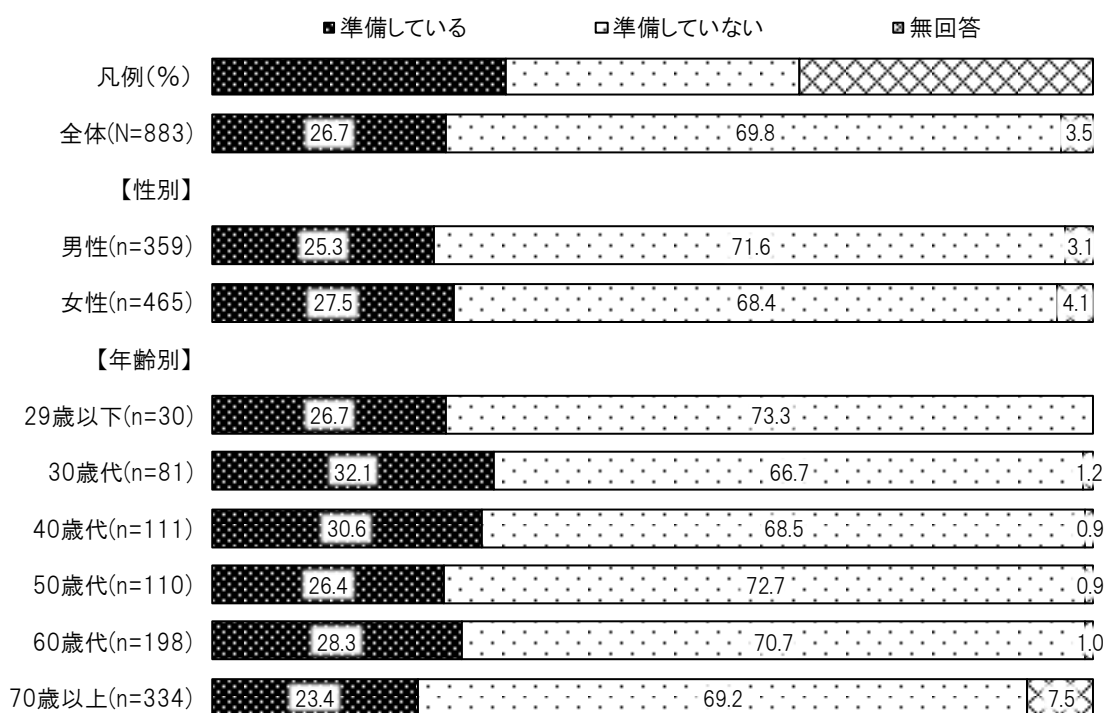


21. 災害時の非常持出品準備状況

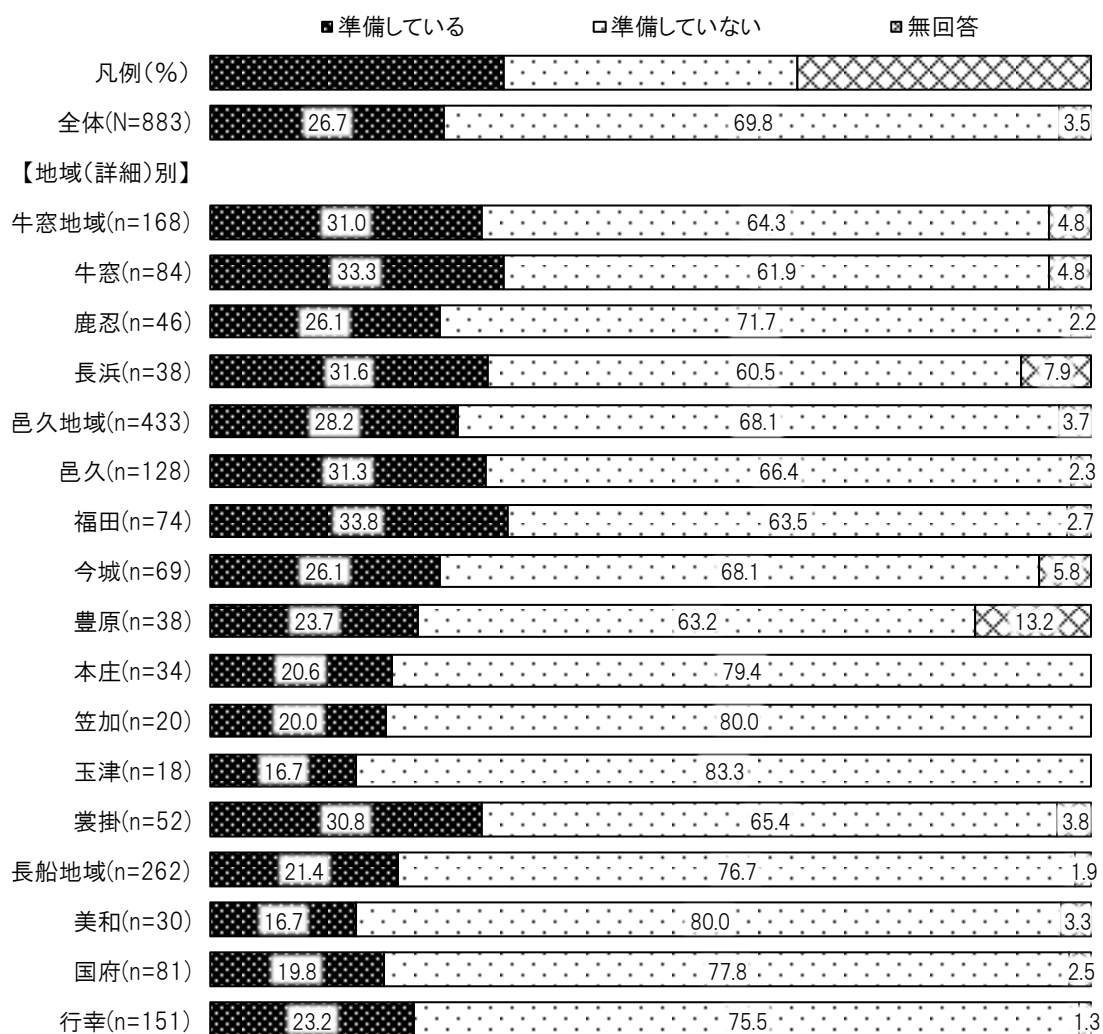
(21) あなたは、災害が起きたときのために、非常持出品を準備していますか

災害時の非常持出品準備状況については、「準備している」が26.7%、「準備していない」が69.8%であった。

性別による目立った差はみられないが、年齢別では、30歳代で「準備している」が他の年齢層に比べてやや高い。

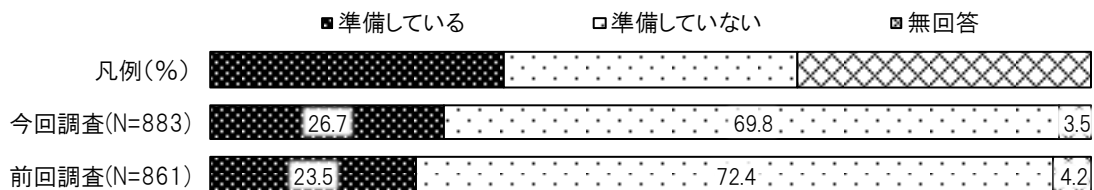


地域別にみると、「準備している」は牛窓、長浜、邑久、福田、裳掛などで高く、「準備していない」は本庄、笠加、玉津、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「準備している」が増加した。



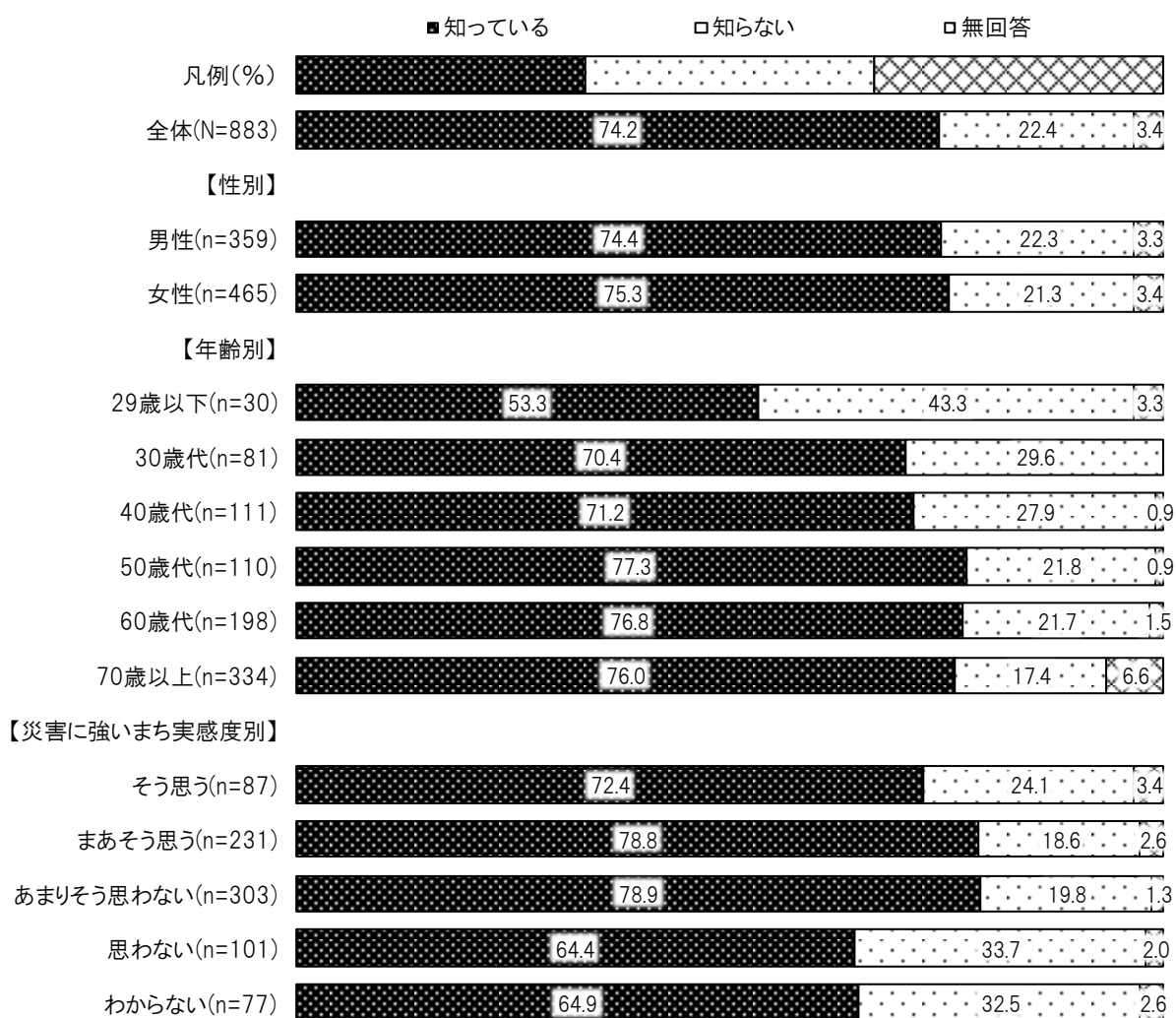
22. 災害時の避難場所認知状況

(22) あなたは、災害が起きたときの、最寄りの避難場所を知っていますか

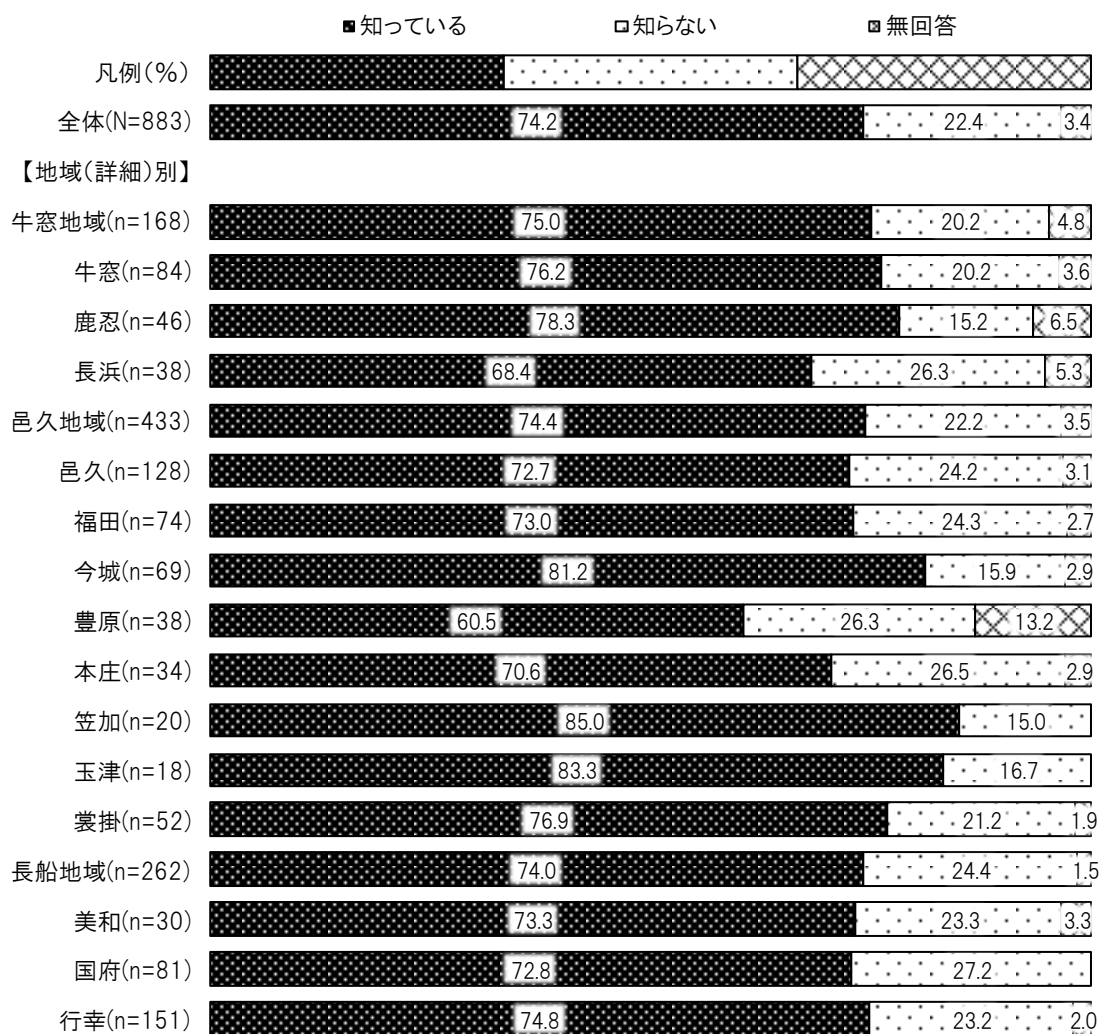
災害時の避難場所認知状況については、「知っている」が74.2%、「知らない」が22.4%であった。

性別による目立った差はみられないが、年齢別では、若い年齢層ほど「知らない」が高くなる傾向にあり、29歳以下で「知らない」が4割以上を占める。

災害に強いまち実感度別では、「思わない」層の3割以上が「知らない」と回答している。

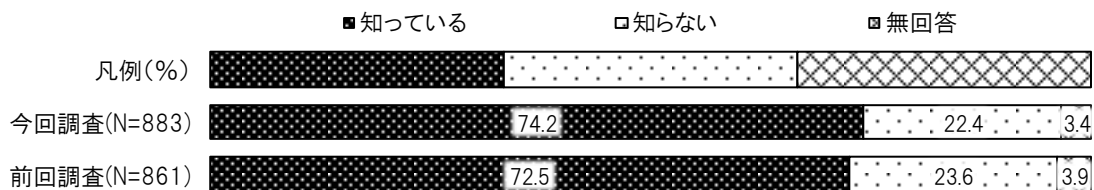


地域別にみると、「知っている」は今城、笠加、玉津などで高く、「知らない」は長浜、豊原、本庄、国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。

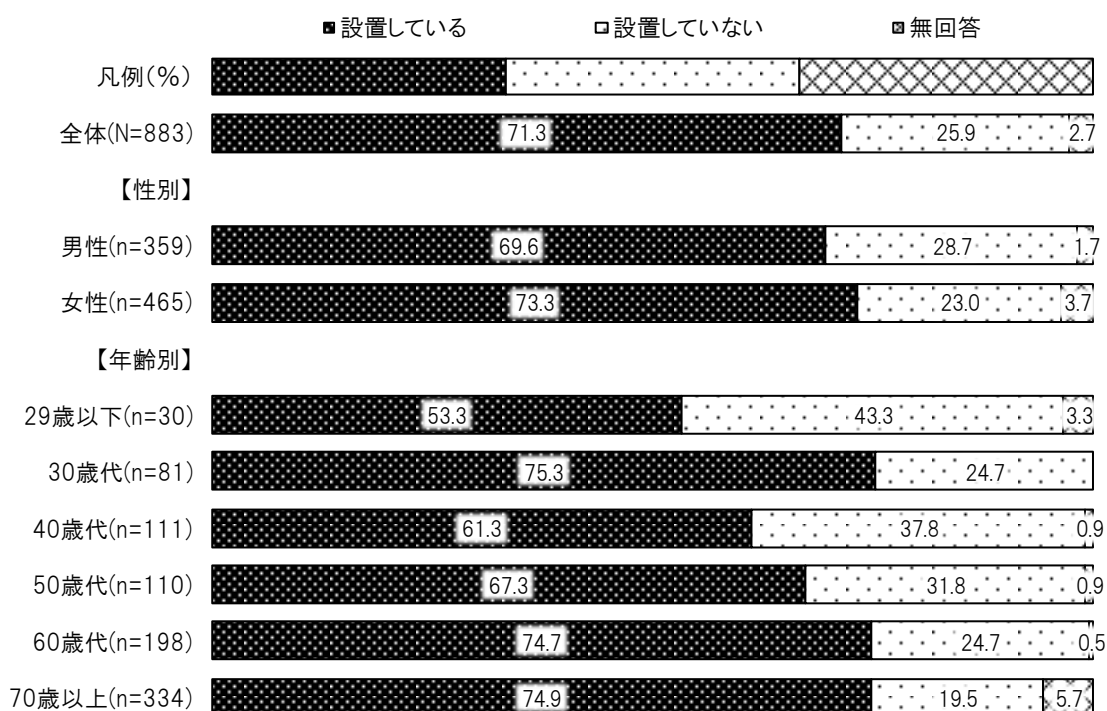


23. 住宅用火災警報器設置状況

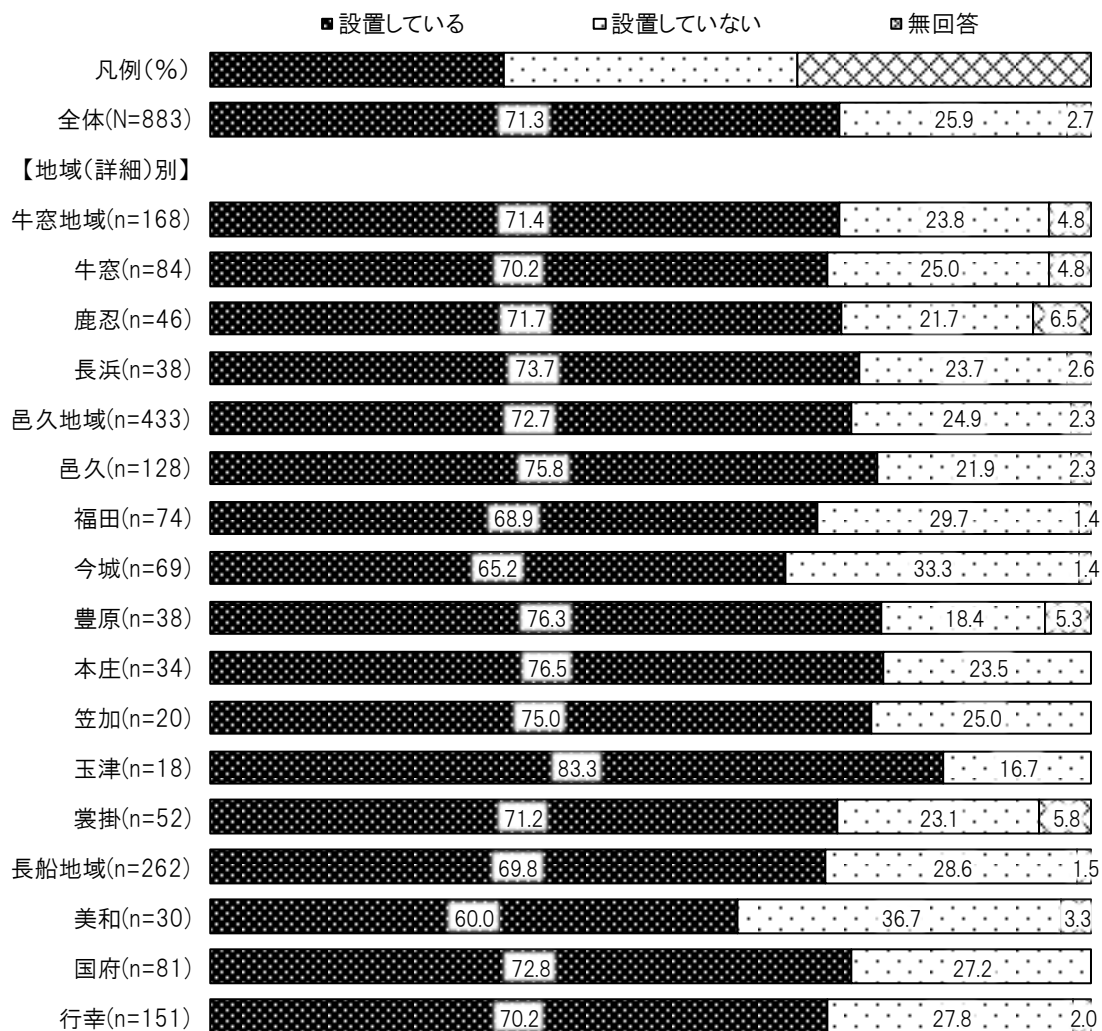
(23) あなたは、ご自宅に住宅用火災警報器を設置していますか

住宅用火災警報器設置状況については、「設置している」が71.3%、「設置していない」が25.9%であった。

性別では、女性に比べて男性で「設置していない」が高く、年齢別では、29歳以下、40歳代で「設置していない」が他の年齢層に比べてそれぞれ高くなっている。

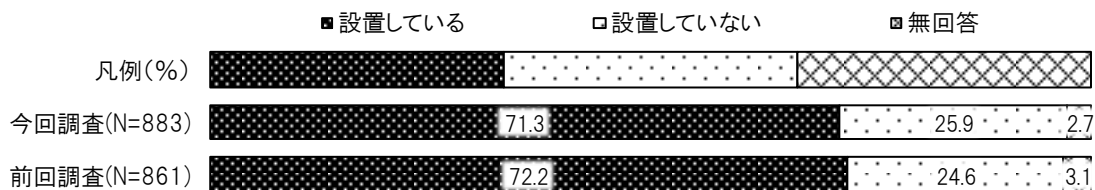


地域別にみると、「設置している」は玉津などで高く、「設置していない」は今城、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。



24. 「消費生活」に関する相談窓口認知状況

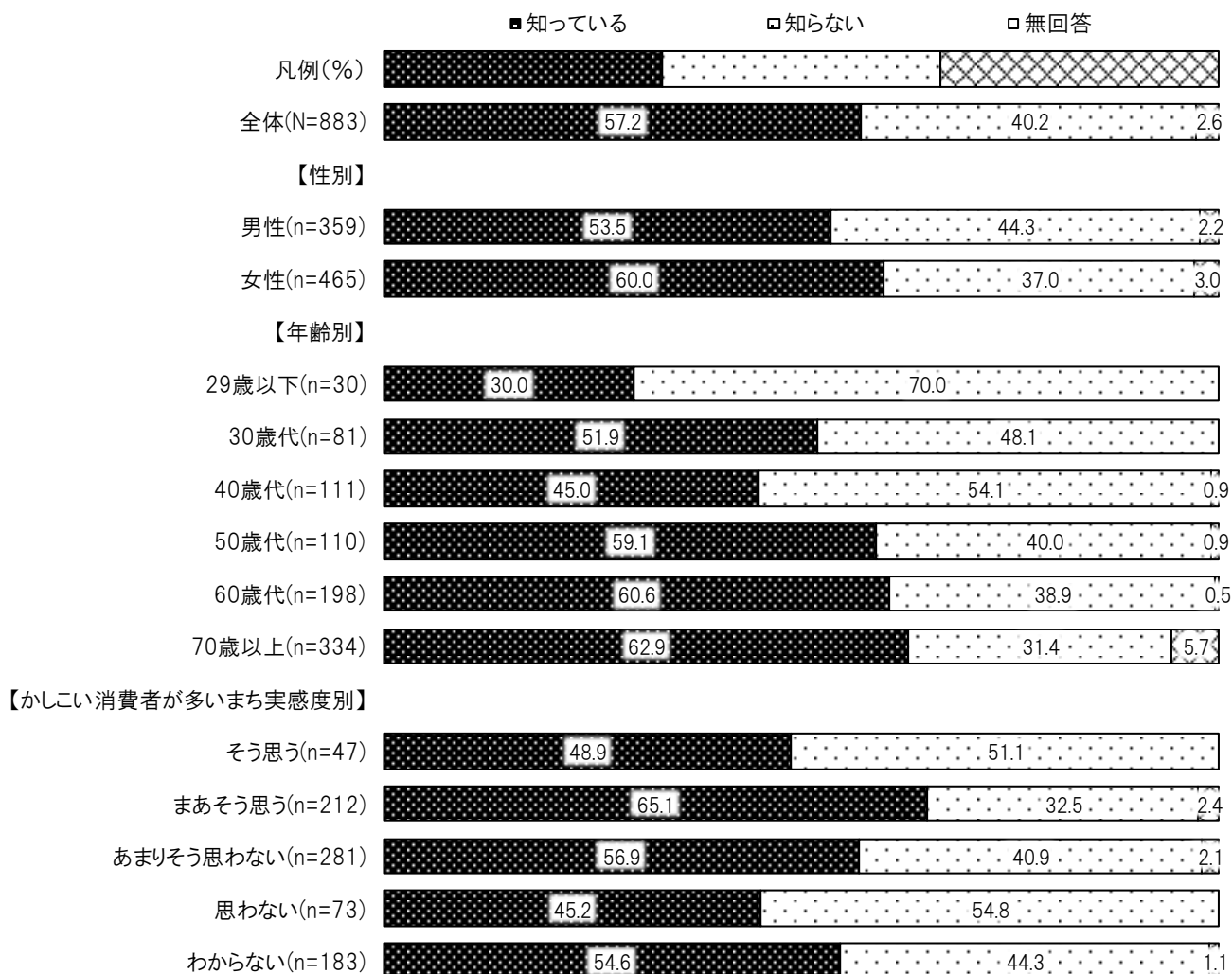
(24) あなたは、悪質商法などへの対応について相談できる市役所や県、警察などの「消費生活」に関する相談窓口を知っていますか

「消費生活」に関する相談窓口認知状況については、「知っている」が57.2%、「知らない」が40.2%であった。

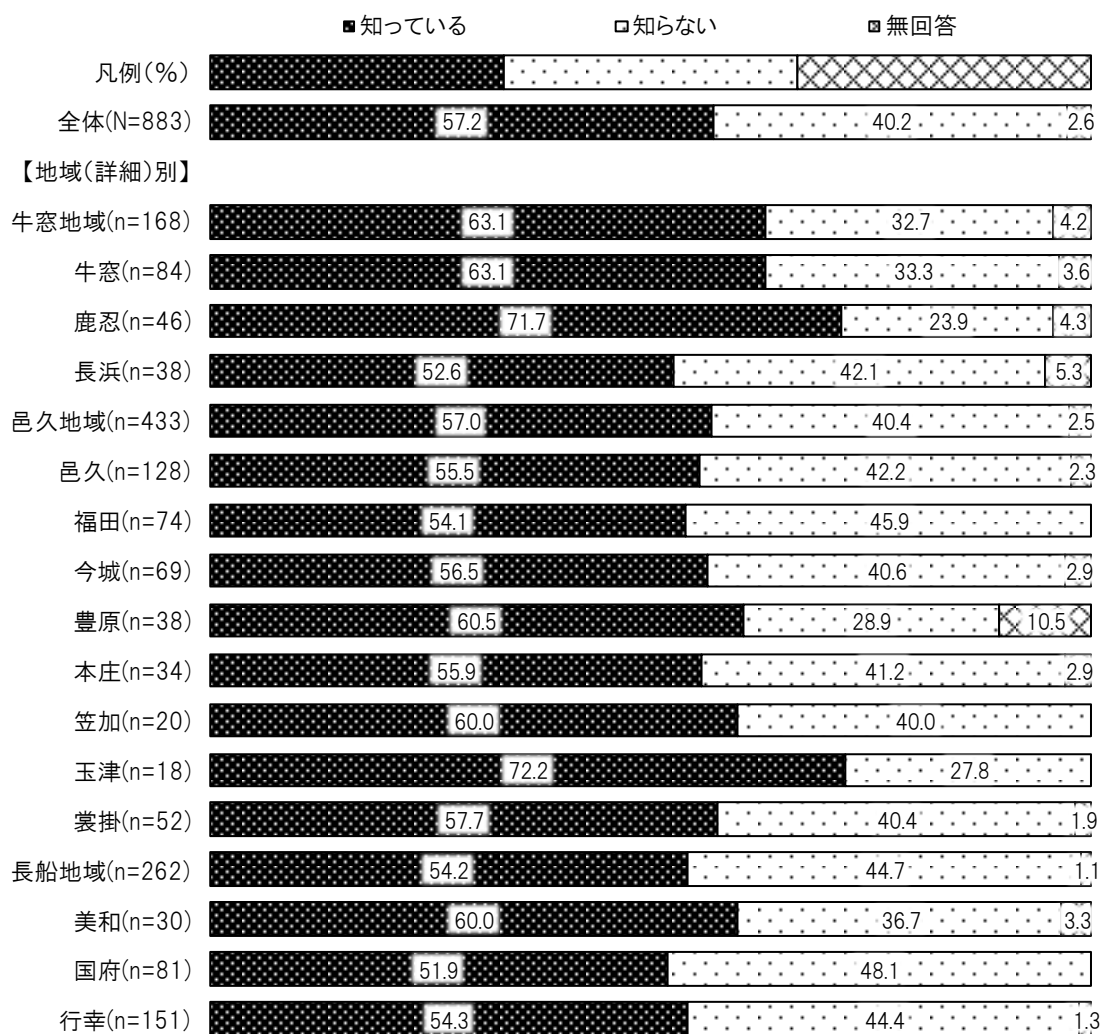
性別では、男性に比べて女性で「知っている」が高い。

年齢別では、50歳代以上で「知っている」が高く、29歳代の7割が「知らない」と回答している。

かしこい消費者が多いまち実感度別では、「思わない」層で「知らない」が高い一方で、「そう思う」層でも過半数が「知らない」と回答している。

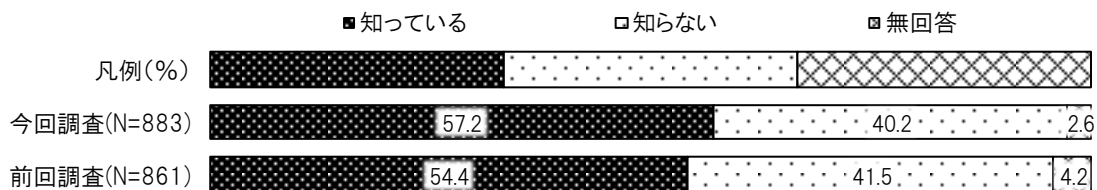


地域別にみると、「知っている」は鹿忍、玉津などで高く、「知らない」は国府などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「知っている」がやや増加した。

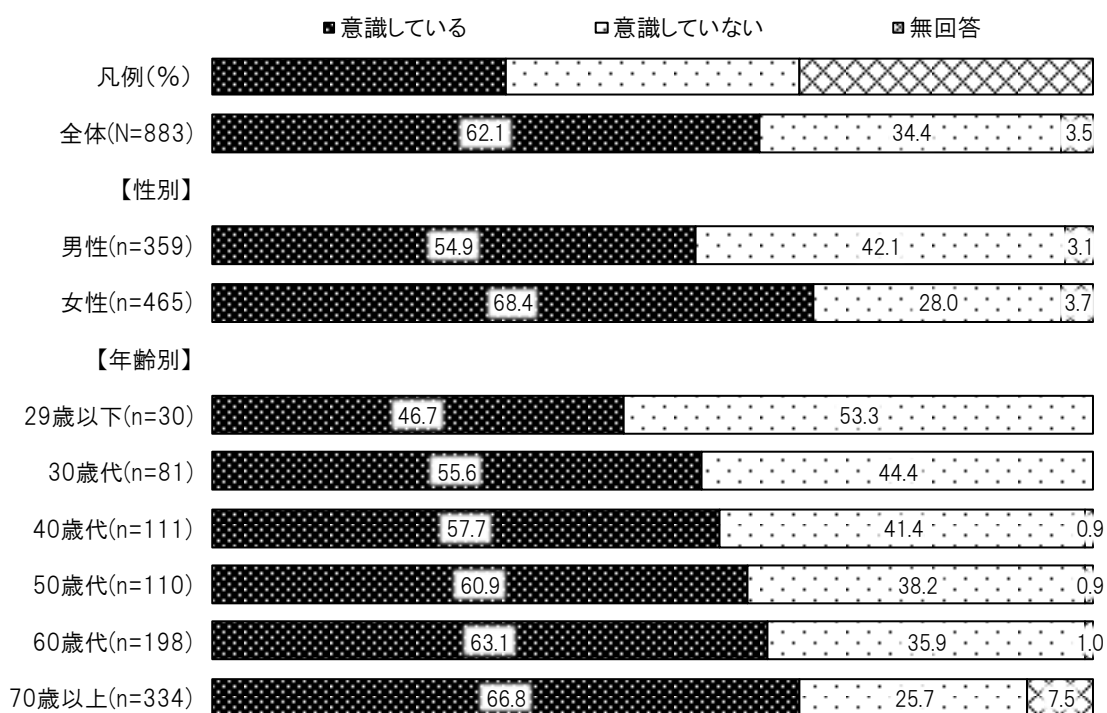


25. 農産物購入時の地元産意識

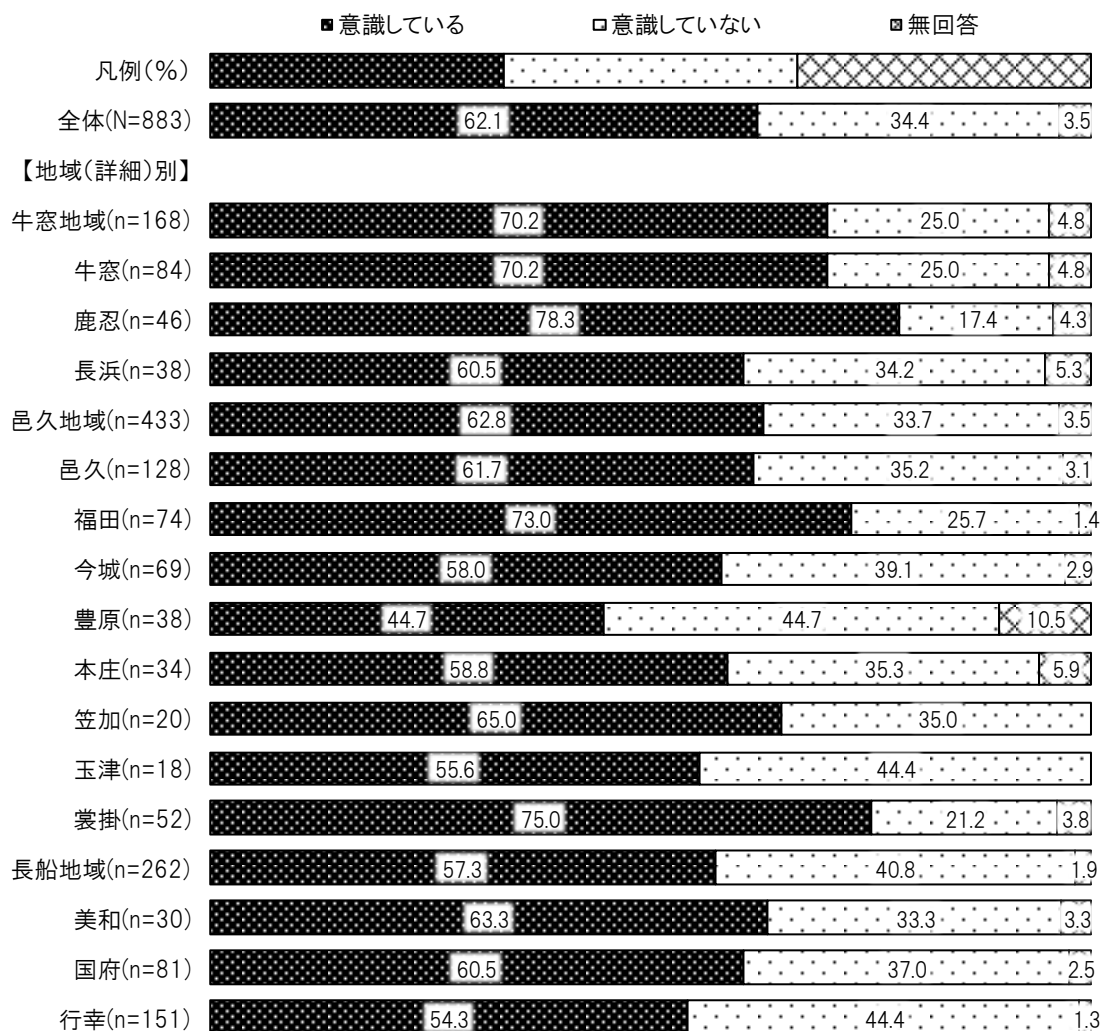
(25) あなたは、農産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

農産物購入時の地元産意識については、「意識している」が62.1%、「意識していない」が34.4%であった。

性別では、男性に比べて女性で「意識している」が高く、年齢別では、年齢層が上がるほど「意識している」が高くなる傾向にある。

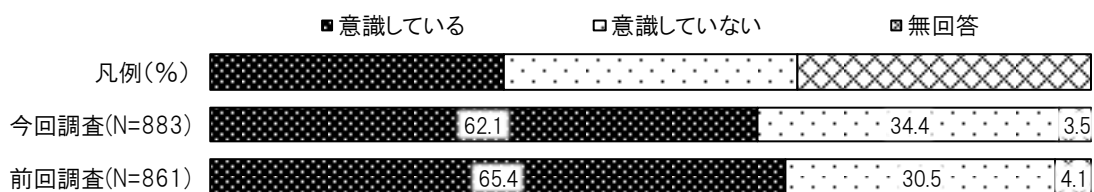


地域別にみると、「意識している」は牛窓、鹿忍、福田、裳掛などで高く、「意識していない」は豊原、玉津、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「意識していない」がやや増加した。

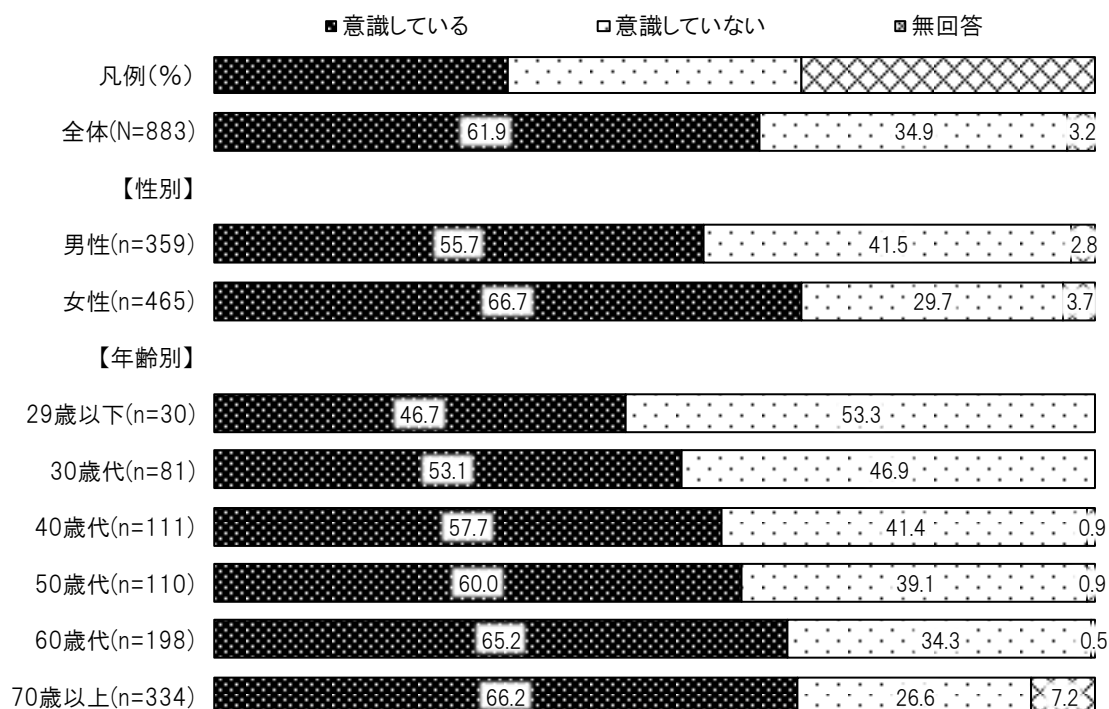


26. 水産物購入時の地元産意識

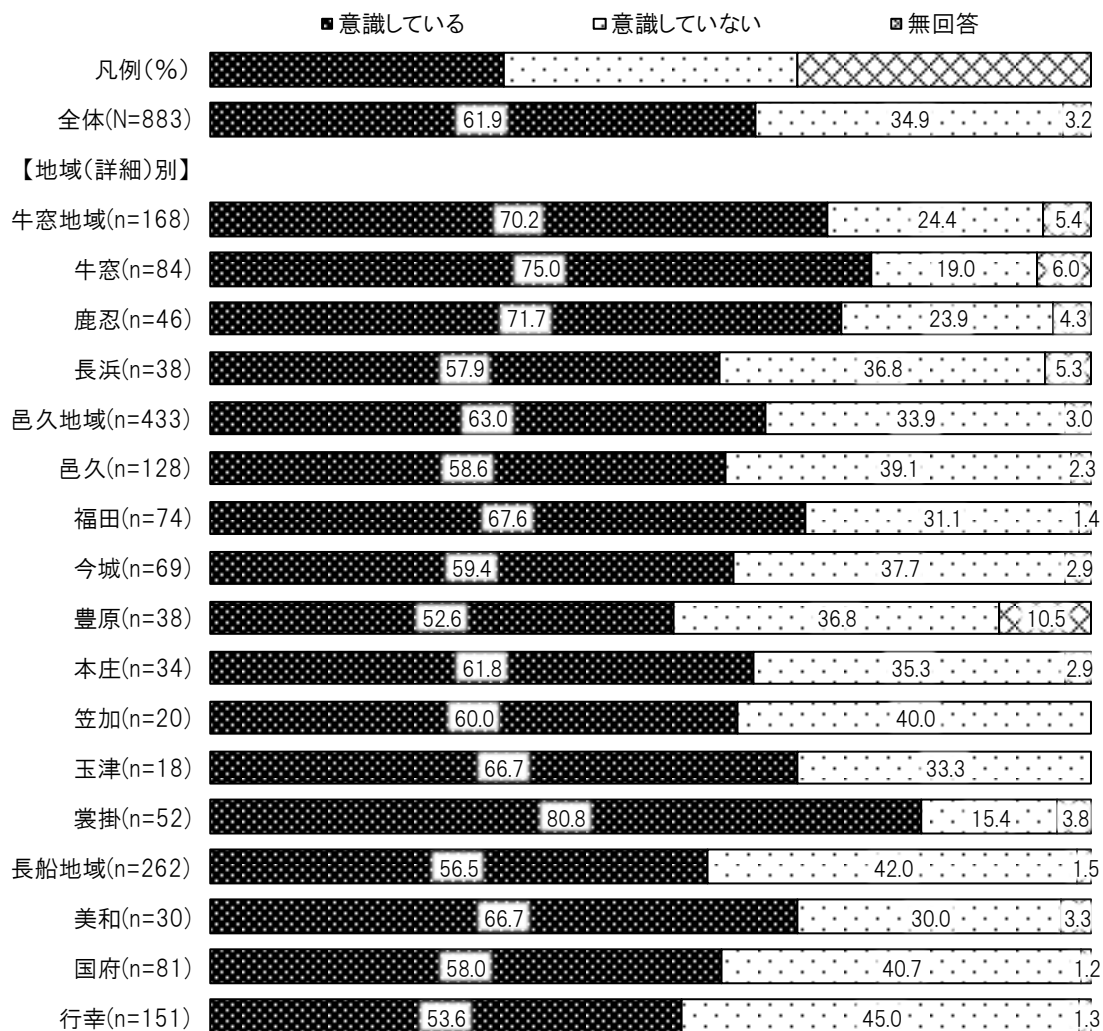
(26) あなたは、水産物を買うときに、地元産かどうか意識していますか

水産物購入時の地元産意識については、「意識している」が61.9%、「意識していない」が34.9%であった。

性別では、男性に比べて女性で「意識している」が高く、年齢別では、年齢層が上がるほど「意識している」が高くなる傾向にある。

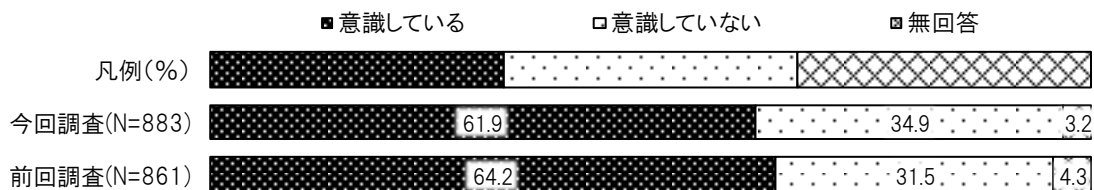


地域別にみると、「意識している」は牛窓、鹿忍、裳掛などで高く、「意識していない」は行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「意識していない」がやや増加した。



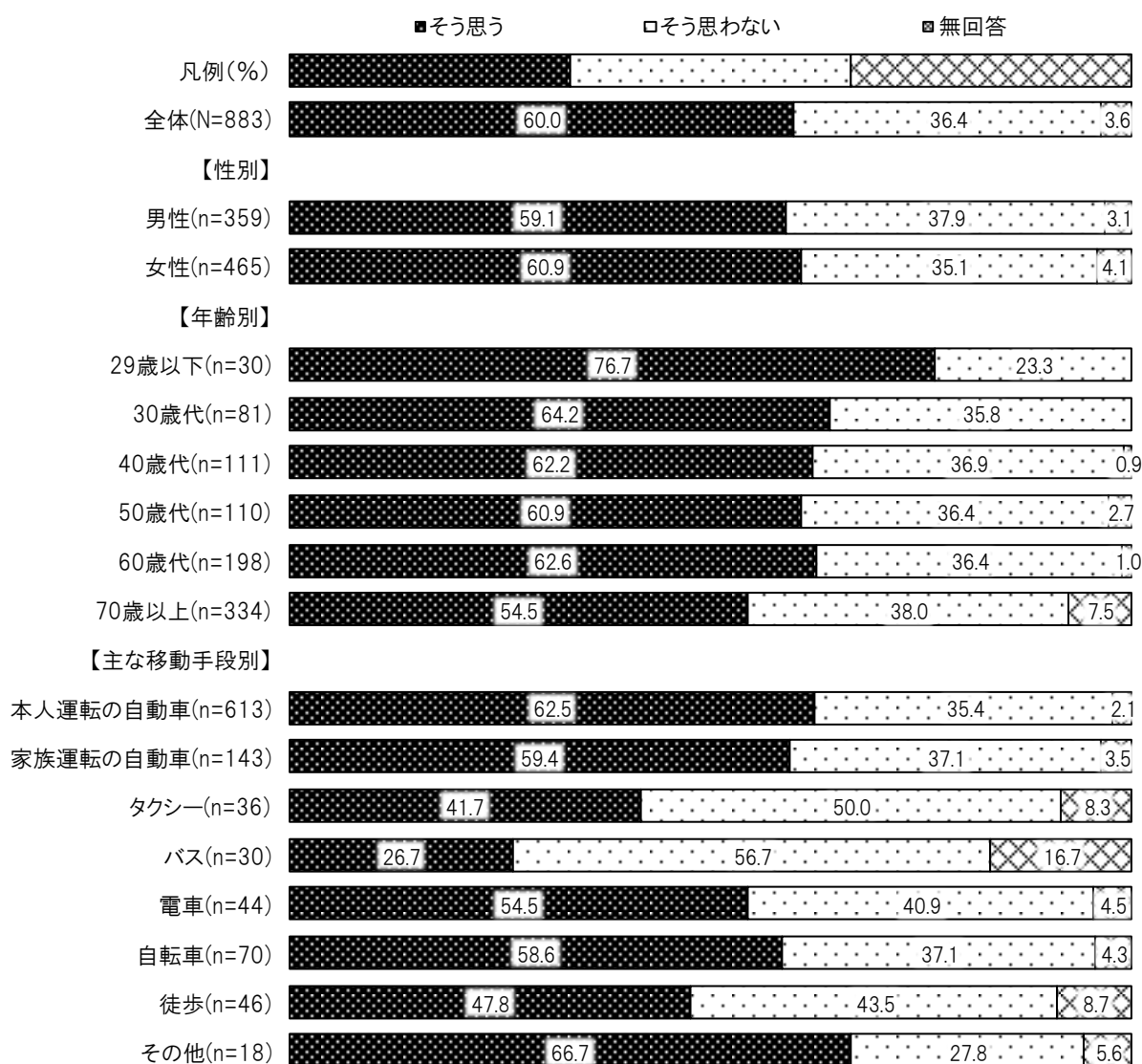
27. 日常生活品の買い物のしやすさについて

(27) あなたは、瀬戸内市は日常生活品の買い物がしやすいまちだと思いますか

日常生活品の買い物のしやすさについては、「そう思う」が60.0%、「そう思わない」が36.4%であった。

性別による目立った差はみられないが、年齢別では、若い年齢層ほど「そう思う」がおおむね高くなる傾向にあり、29歳以下で7割以上を占める。

主な移動手段別で見ると、「バス」利用者の「そう思う」が他の交通機関利用者に比べて低くなっている。



注:クロス軸のうち、主な移動手段別については、複数回答のため傾向値として参照

地域別にみると、「そう思う」は長浜、邑久、福田、笠加などで高く、「そう思わない」は牛窓、鹿忍、玉津、裳掛、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「そう思う」がやや増加した。



28. 「広報せとうち」 閲読状況

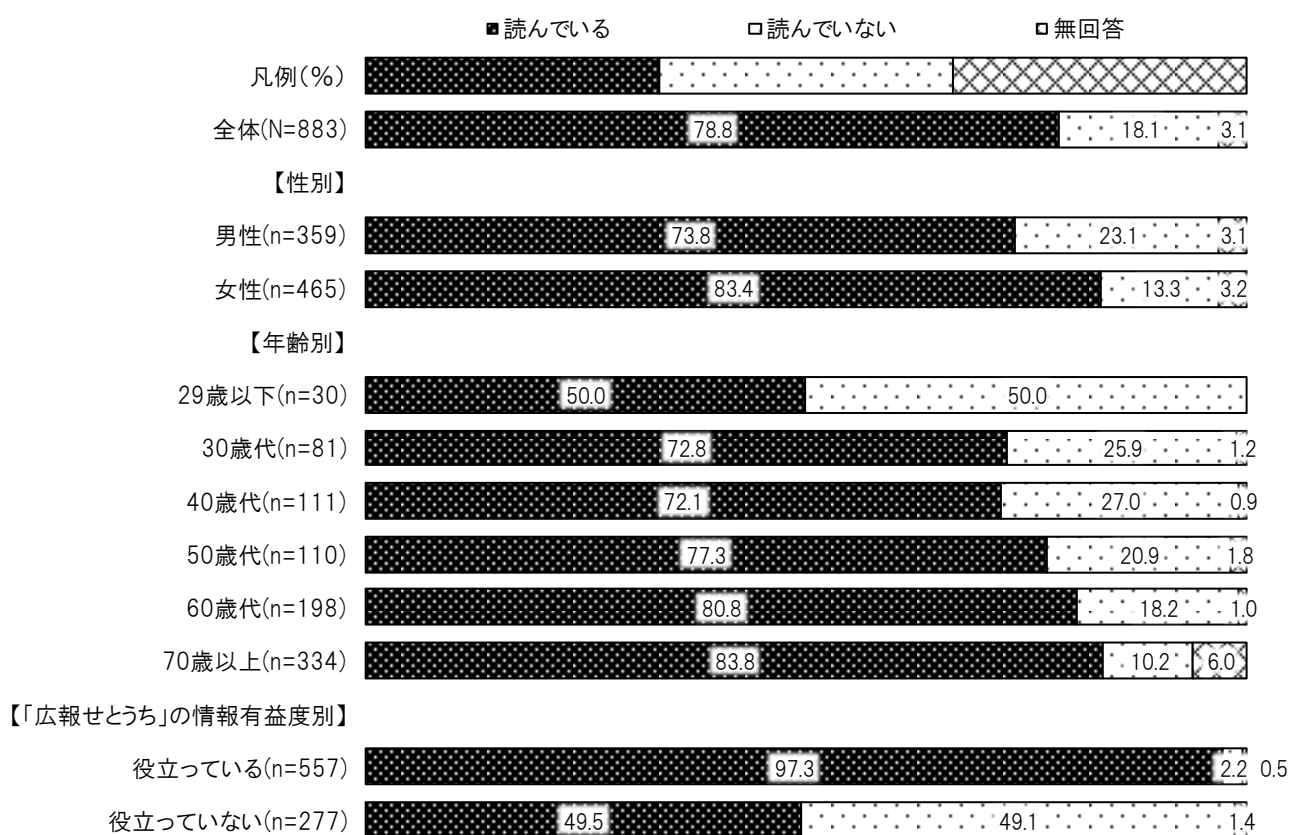
(28) あなたは、「広報せとうち」を読んでいますか

「広報せとうち」閲読状況については、「読んでいる」が78.8%、「読んでいない」が18.1%であった。

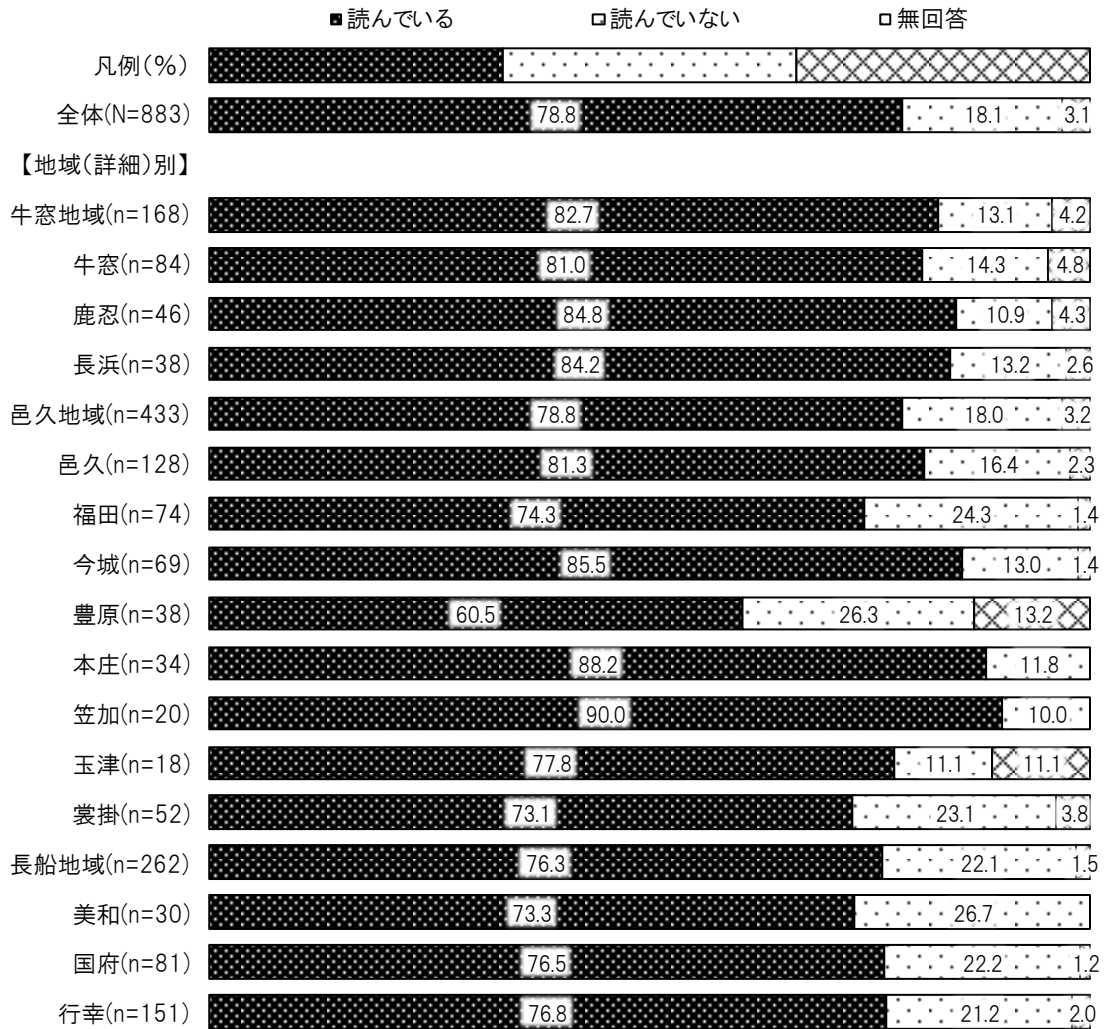
性別では、男性に比べて女性で「読んでいる」が高い。

年齢別では、年齢層が上がるほど「読んでいる」がおおむね高くなる傾向にある。

「広報せとうち」の情報有益度別では、役立っている層のほとんどが「読んでいる」と回答している。

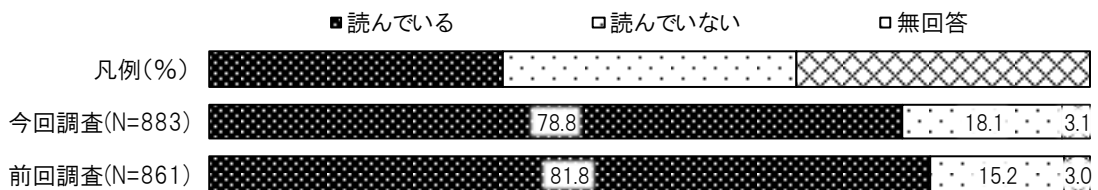


地域別にみると、「読んでいる」は本庄、笠加などで高く、「読んでいない」は豊原、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「読んでいる」がやや減少した。



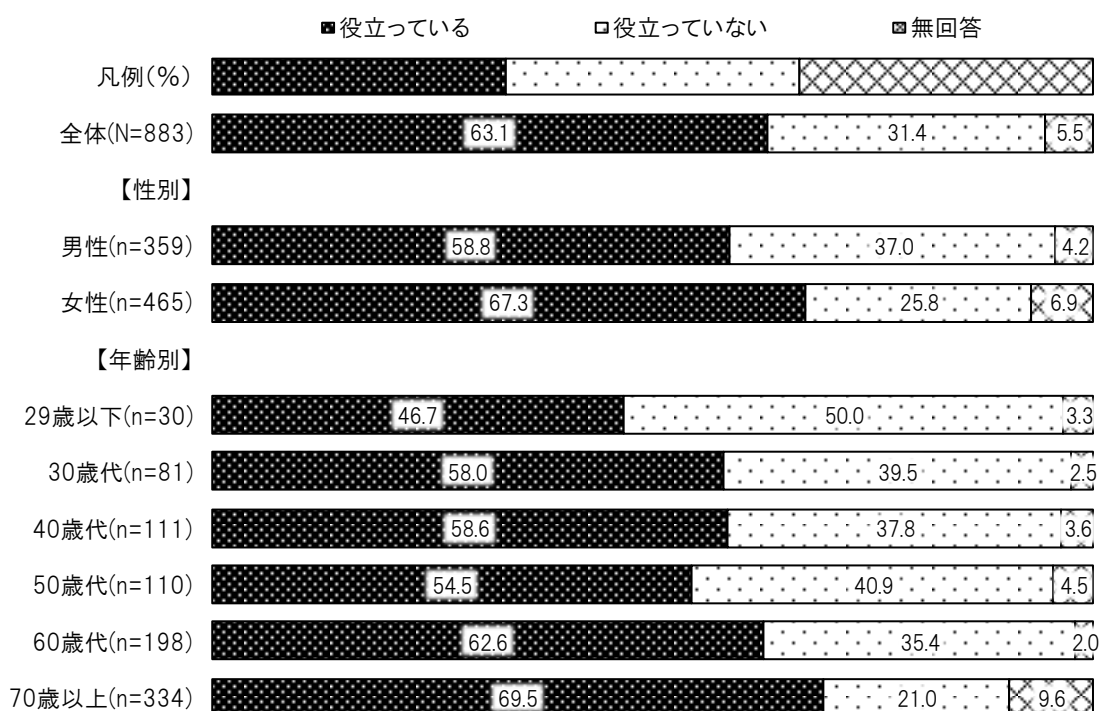
29. 「広報せとうち」の情報の有益度について

(29) あなたにとって、「広報せとうち」の情報は役立っていますか

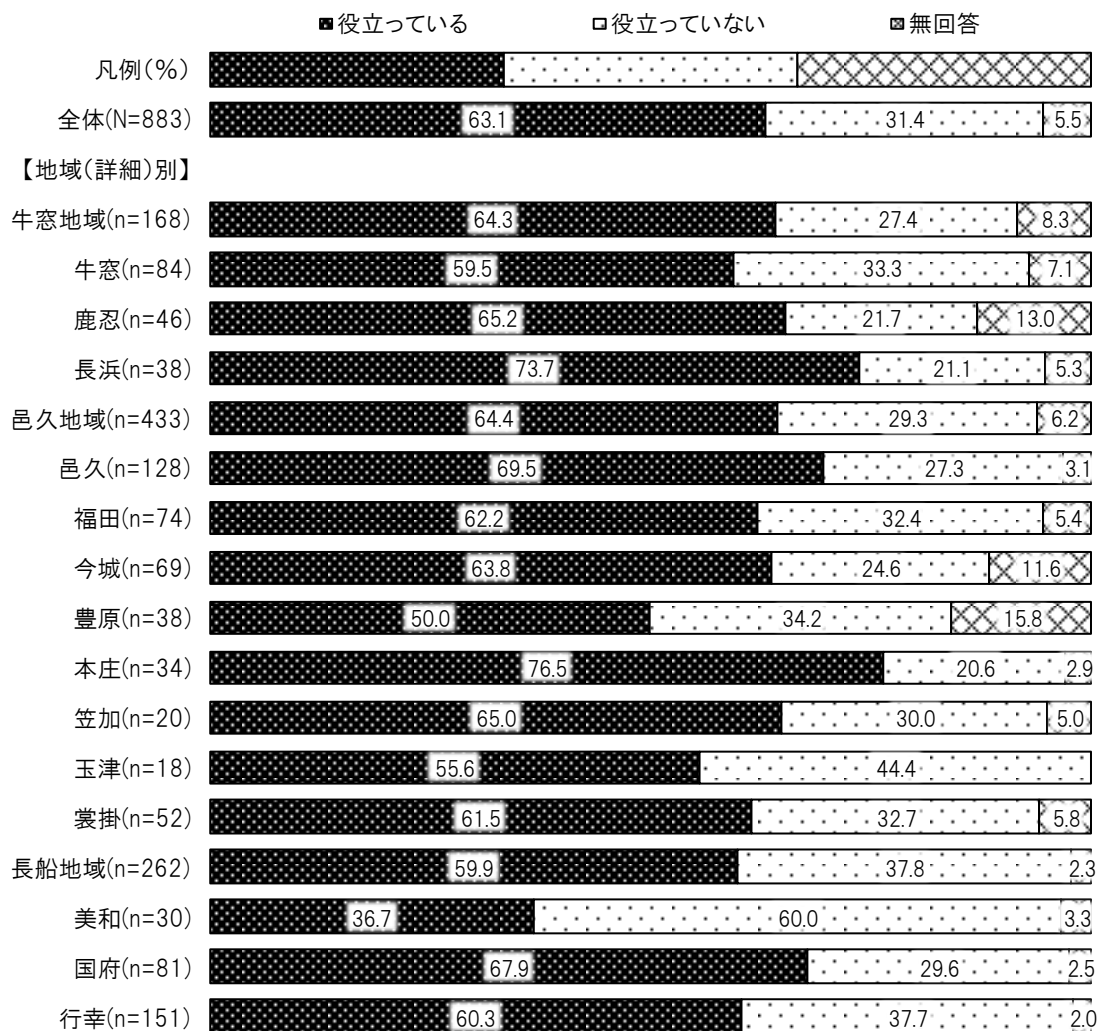
「広報せとうち」の情報の有益度については、「役立っている」が63.1%、「役立っていない」が31.4%であった。

性別では、男性に比べて女性で「役立っている」が高い。

年齢別では、年齢層が上がるほど「役立っている」がおおむね高くなる傾向にある。



地域別にみると、「役立っている」は長浜、本庄などで高く、「役立っていない」は玉津、美和などで高くなっている。



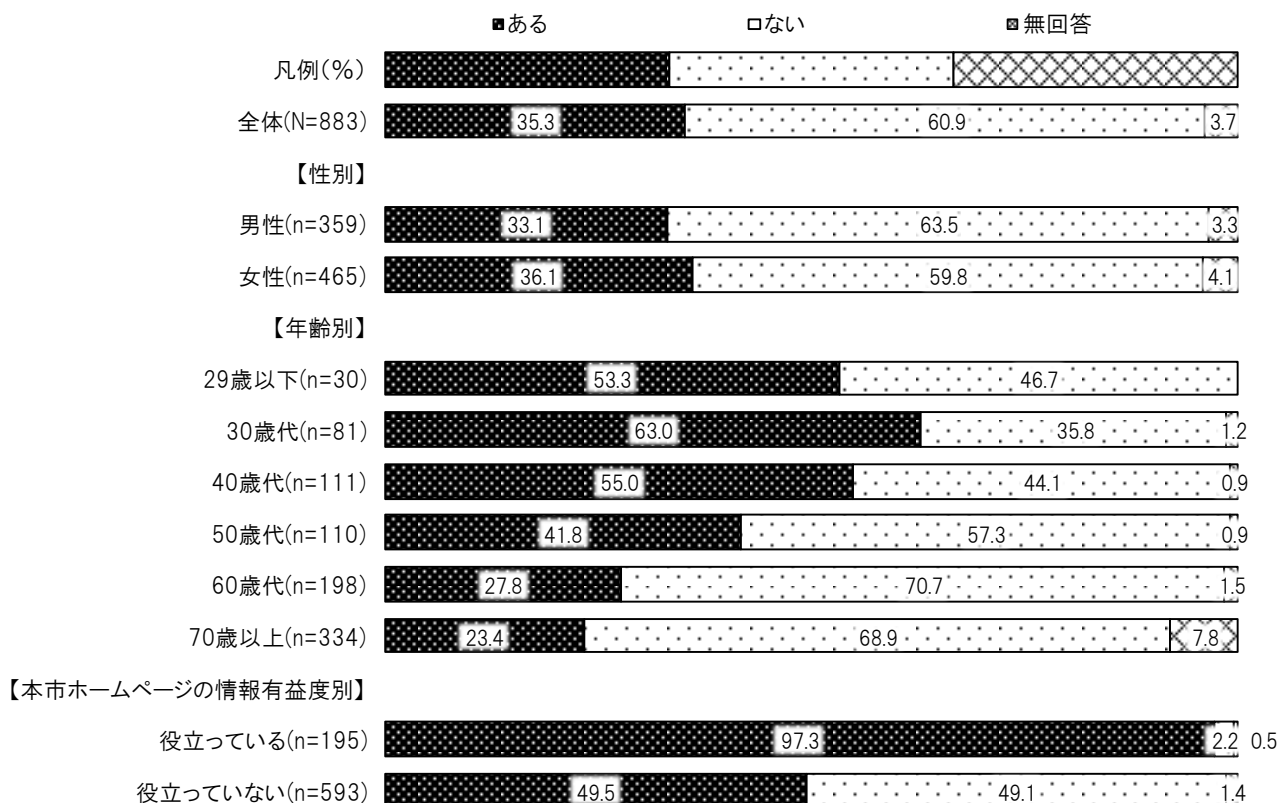
30. 本市ホームページ閲覧状況

(30) あなたは、瀬戸内市のホームページを見たことがありますか

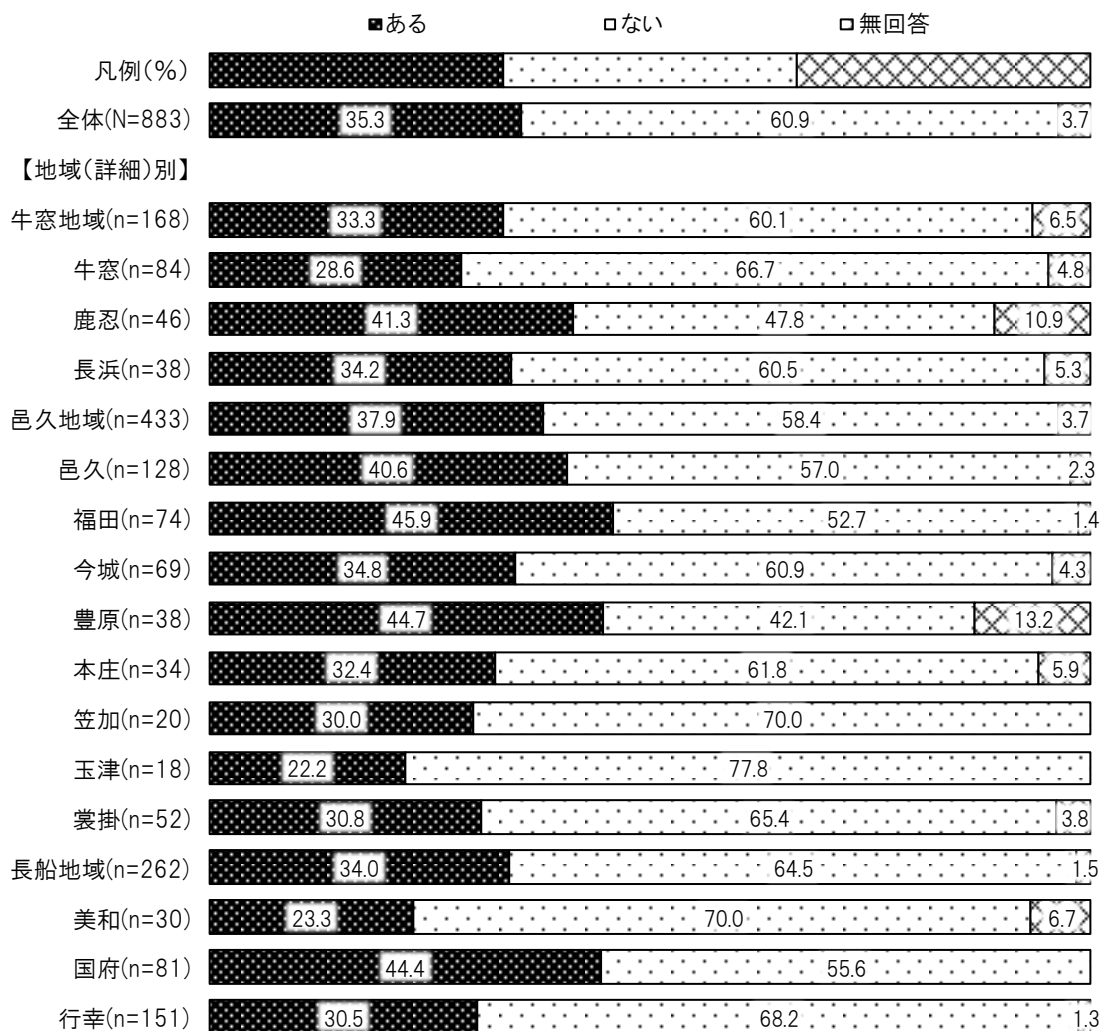
本市のホームページ閲覧状況については、「ある」が35.3%、「ない」が60.9%であった。

性別による差は目立たない。

年齢別では、若い年齢層ほど「ある」がおおむね高くなる傾向にある。その一方で、60歳代以上の約7割が「ない」と回答している。

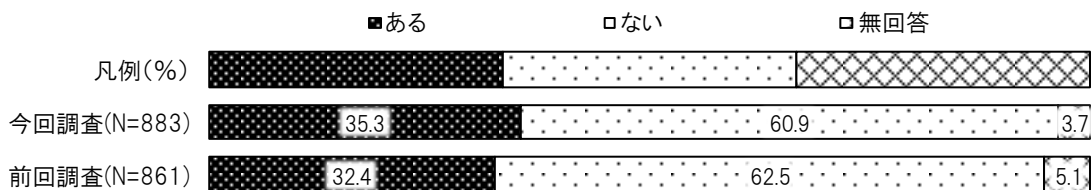


地域別にみると、「ある」は福田、豊原、国府などで高く、「ない」は笠加、玉津、美和、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ある」が増加した。



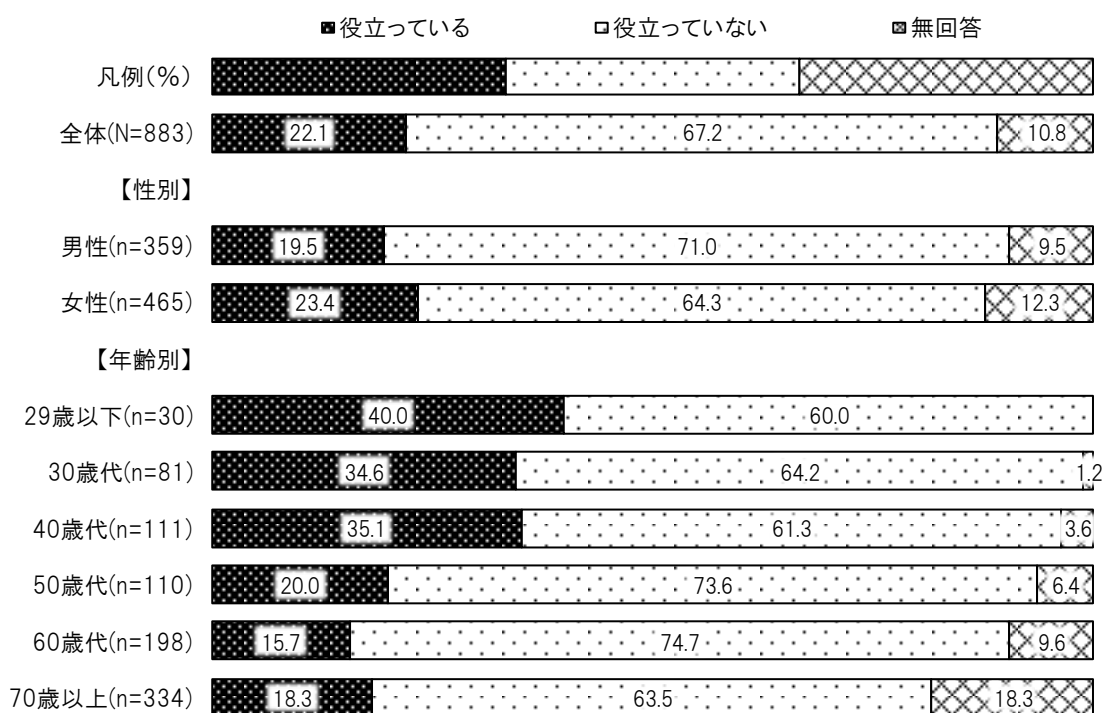
31. 本市ホームページの情報の有益度

(31) あなたにとって、瀬戸内市ホームページの情報は役立っていますか

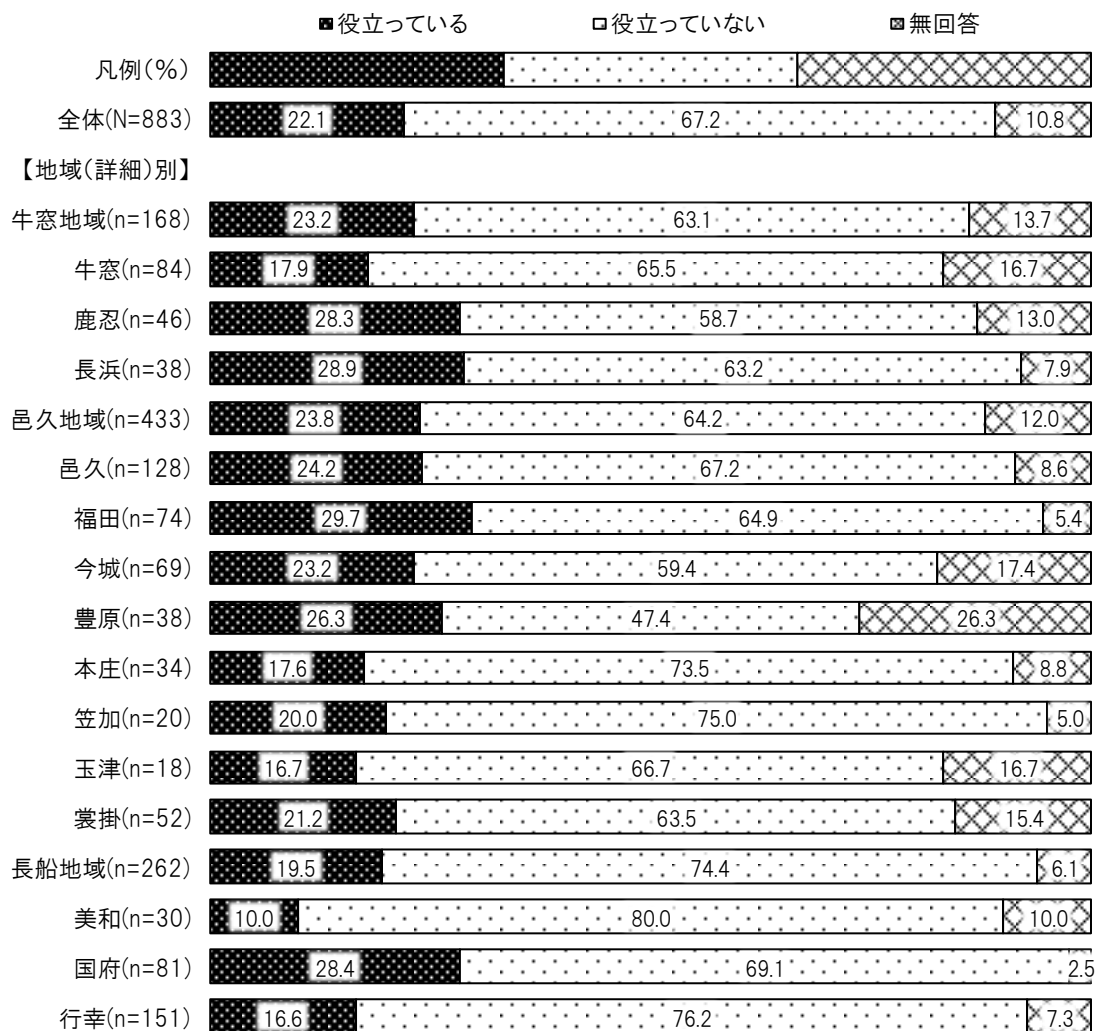
本市ホームページの情報の有益度については、「役立っている」が22.1%、「役立っていない」が67.2%であった。

性別では、女性に比べて男性で「役立っていない」が高い。

年齢別では、若い年齢層ほど「役立っている」がおおむね高くなる傾向にある。



地域別にみると、「役立っている」は鹿忍、長浜、福田、国府などで高く、「役立っていない」は本庄、笠加、美和、行幸などで高くなっている。



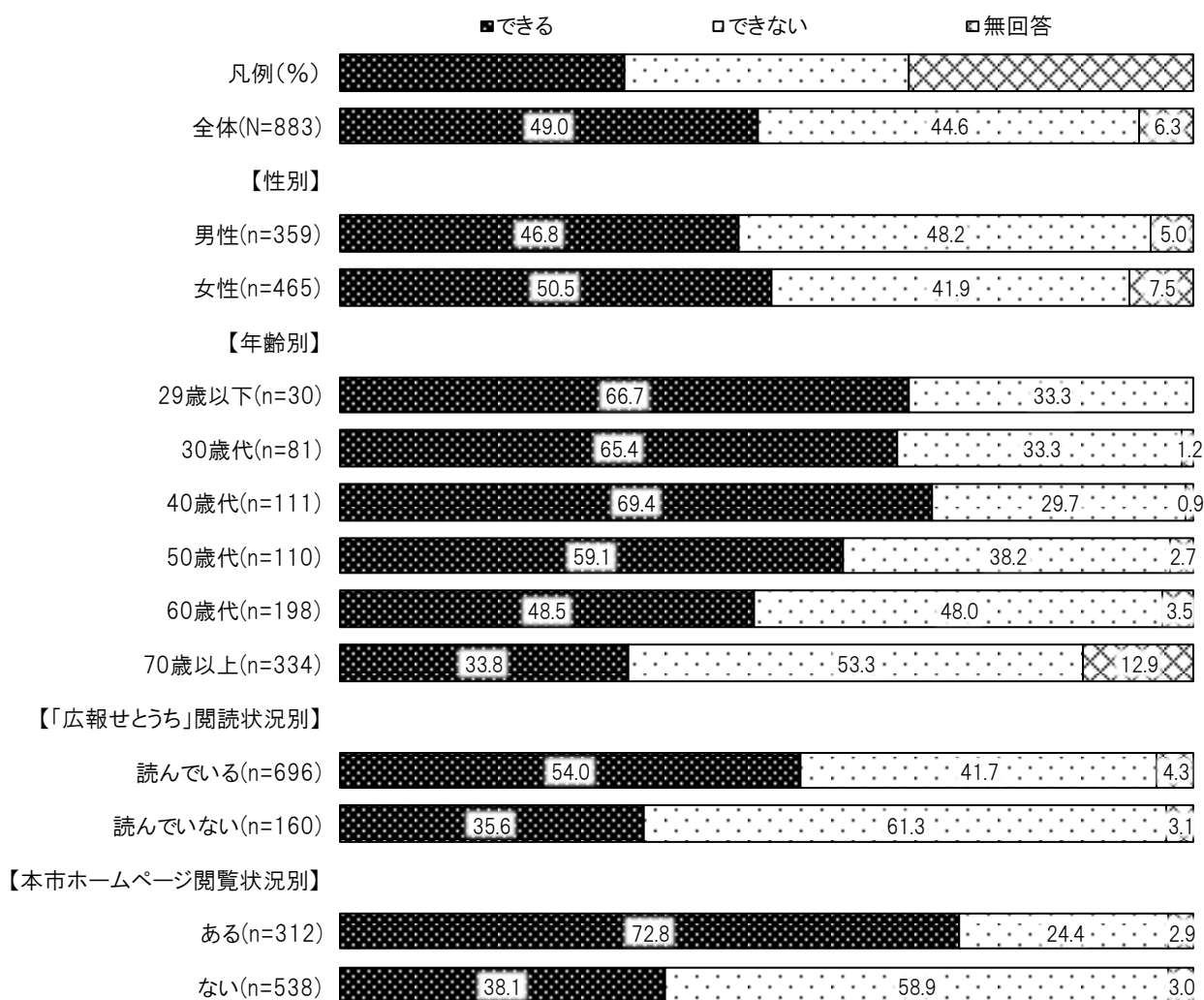
32. 広報紙やホームページによる市の情報入手

(32) あなたは、広報紙やホームページで必要な市の情報を手に入れることができますか

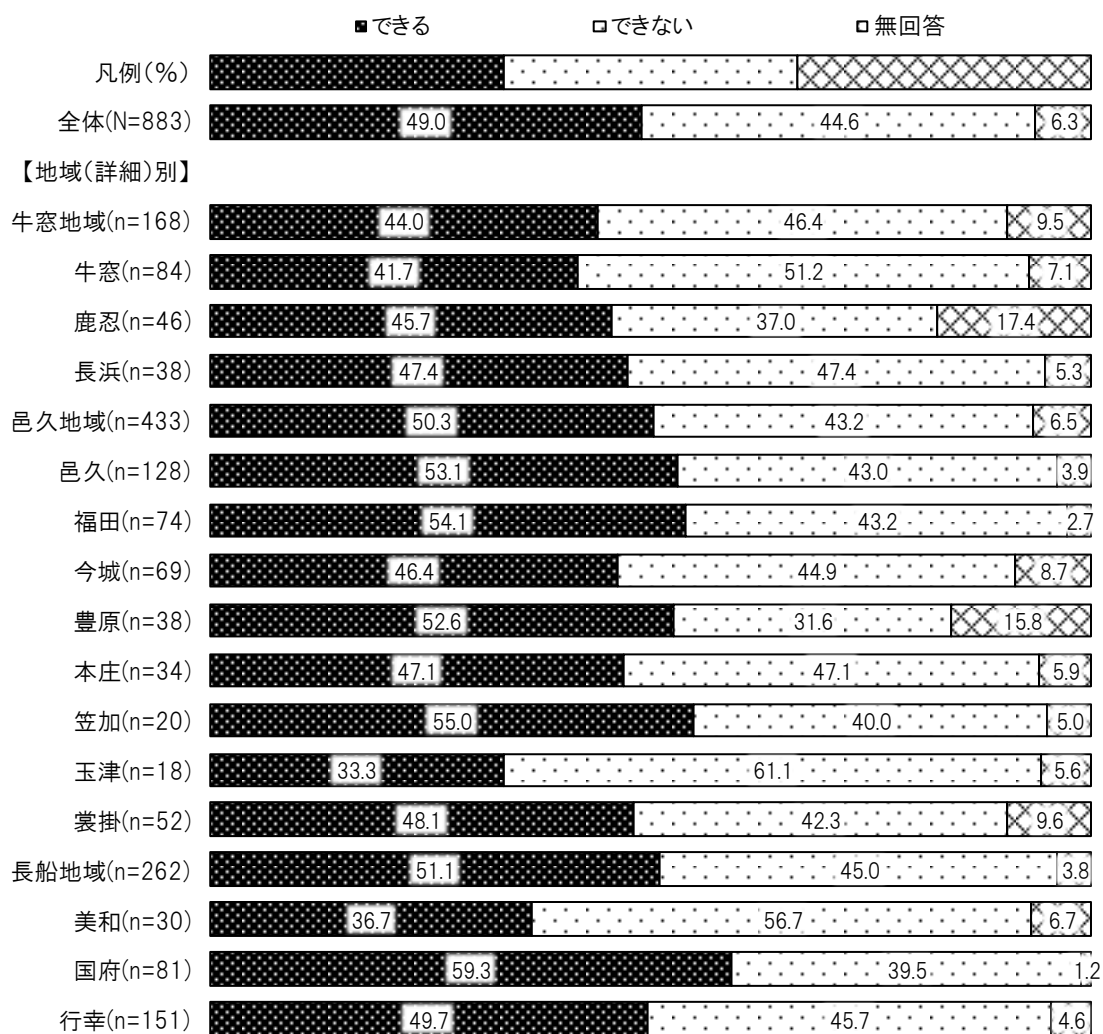
広報紙やホームページによる市の情報入手については、「できる」が49.0%、「できない」が44.6%であった。

性別では、男性に比べて女性で「できる」がやや高く、年齢別では、若い年齢層ほど「できる」がおおむね高くなる傾向にある。

「広報せとうち」の閲読層や本市ホームページの閲読経験がある層で、「できる」がそれぞれ高くなっている。

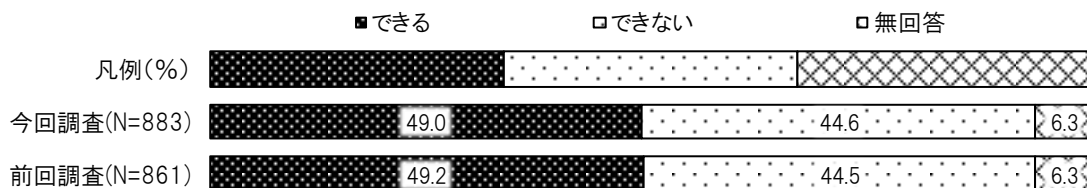


地域別にみると、「できる」は国府などで高く、「できない」は玉津、美和などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。

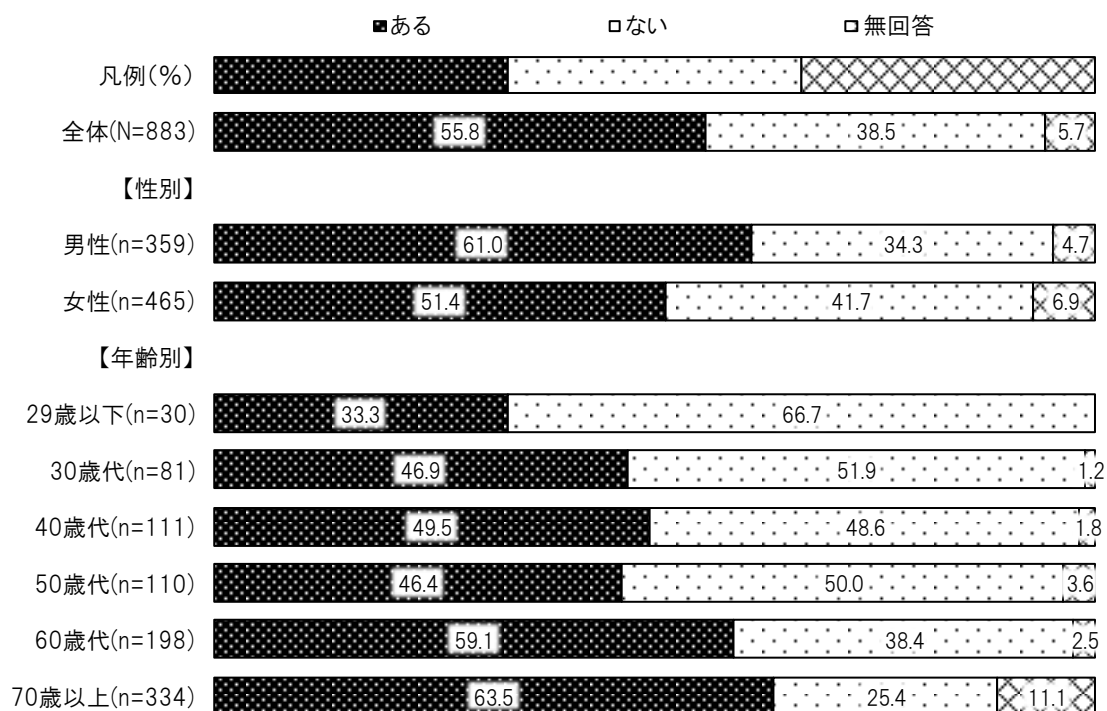


33. 市政への関心

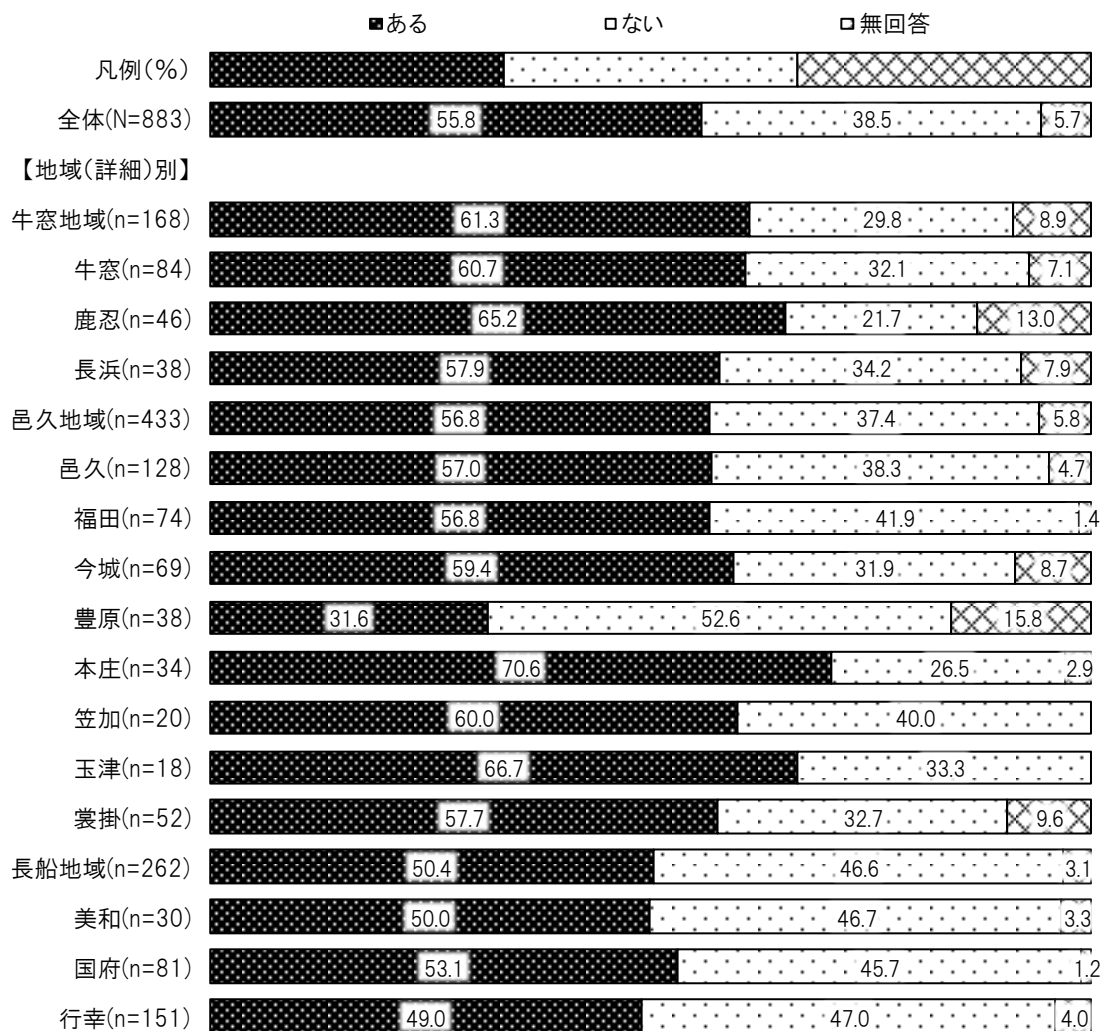
(33) あなたは、市政に関心がありますか

市政への関心については、「ある」が55.8%、「ない」が38.5%であった。

性別では、女性に比べて男性で「ある」が高く、年齢別では、年齢層が上がるほど「ある」がおおむね高くなる傾向にある。

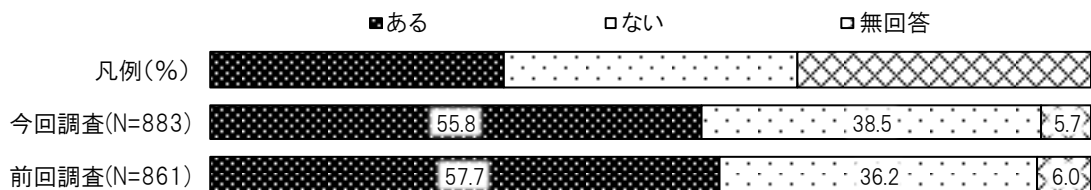


地域別にみると、「ある」は鹿忍、本庄、玉津などで高く、「ない」は豊原、美和、国府、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ない」がやや増加した。

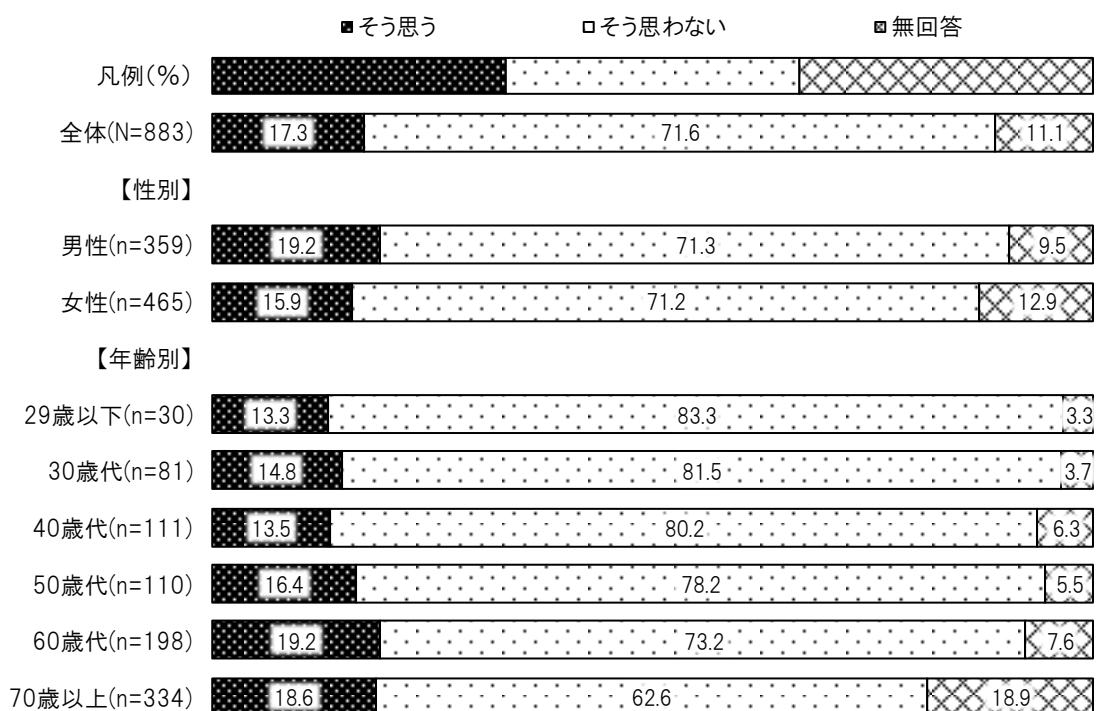


34. 市の財政改善状況について

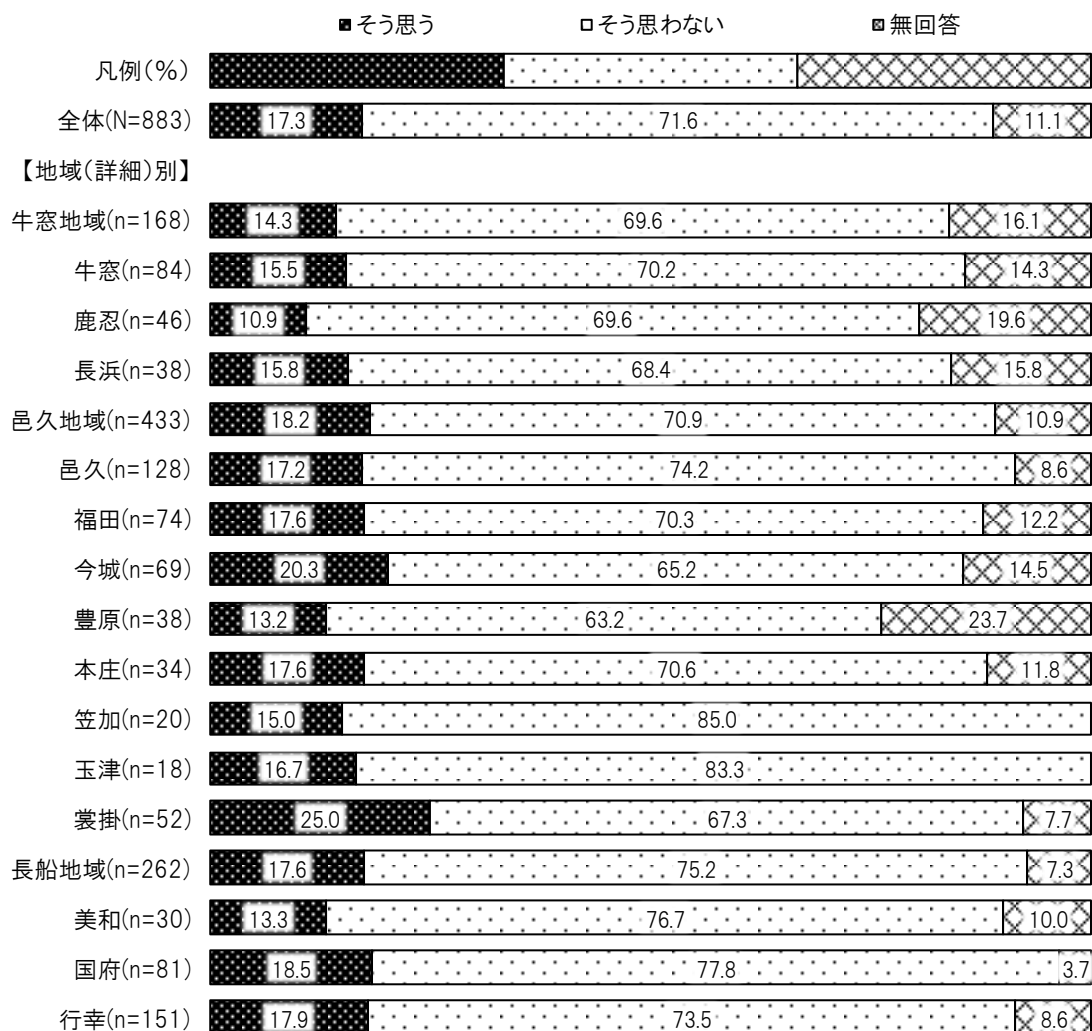
(34) 広報紙やホームページを通じて市の財政状況を公表していますが、あなたは、市の財政が改善されていると思いますか

市の財政改善状況については、「そう思う」が17.3%、「そう思わない」が71.6%であった。

性別では、女性に比べて男性で「そう思う」がやや高く、年齢別では、若い年齢層ほど「そう思わない」が高くなる傾向にある。

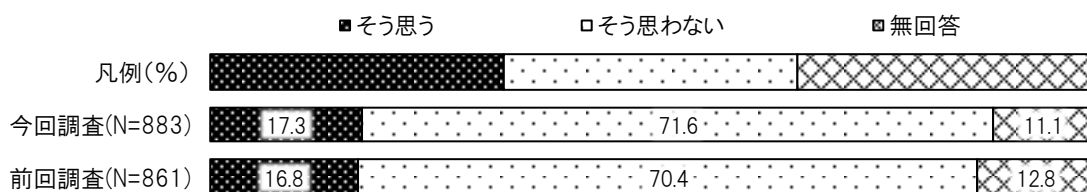


地域別にみると、「そう思う」は裳掛などで高く、「そう思わない」は笠加、玉津などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査に比べ、目立った差はない。



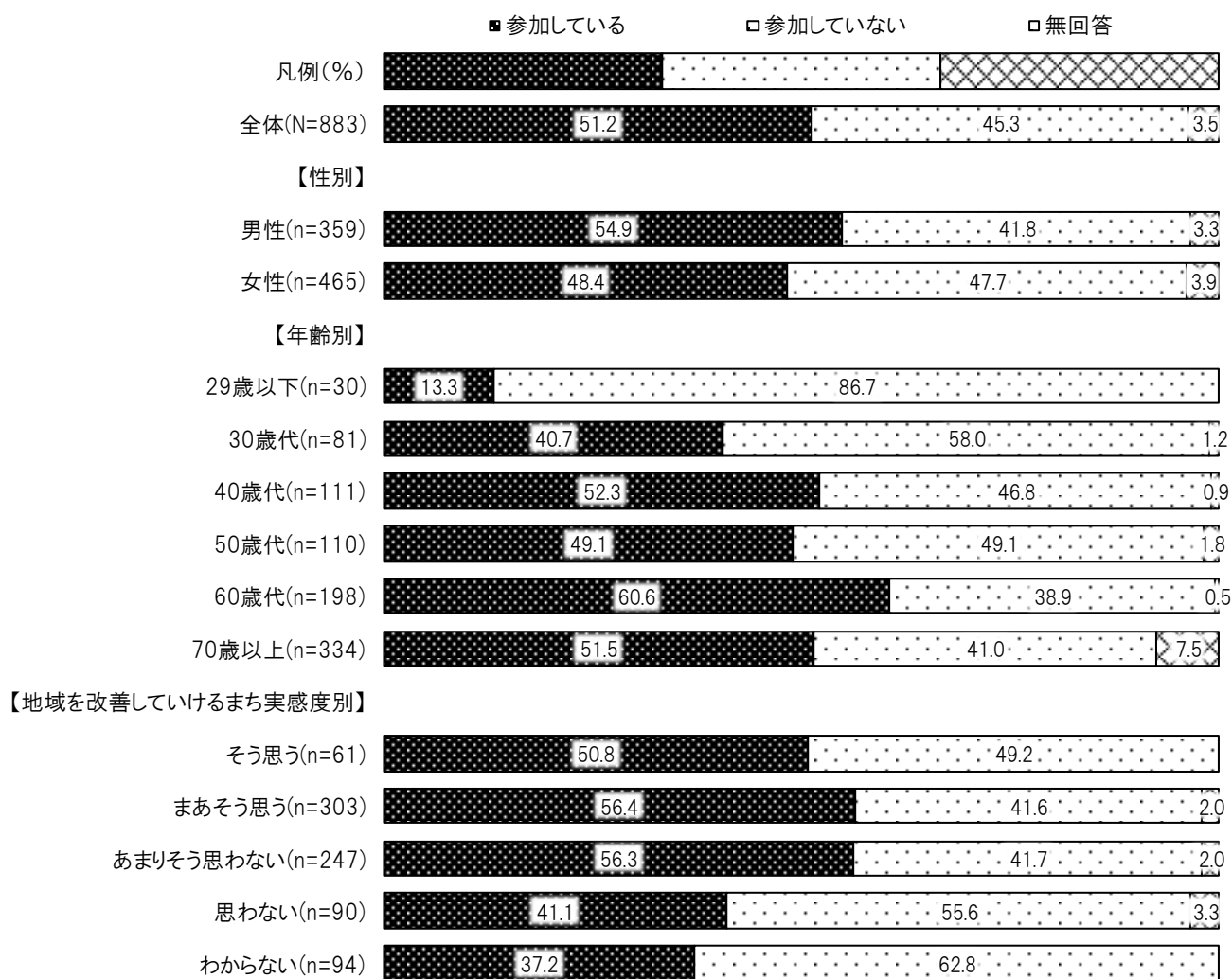
35. 地域コミュニティ活動参加状況

(35) あなたは、自治会などでの地域コミュニティ活動に参加していますか

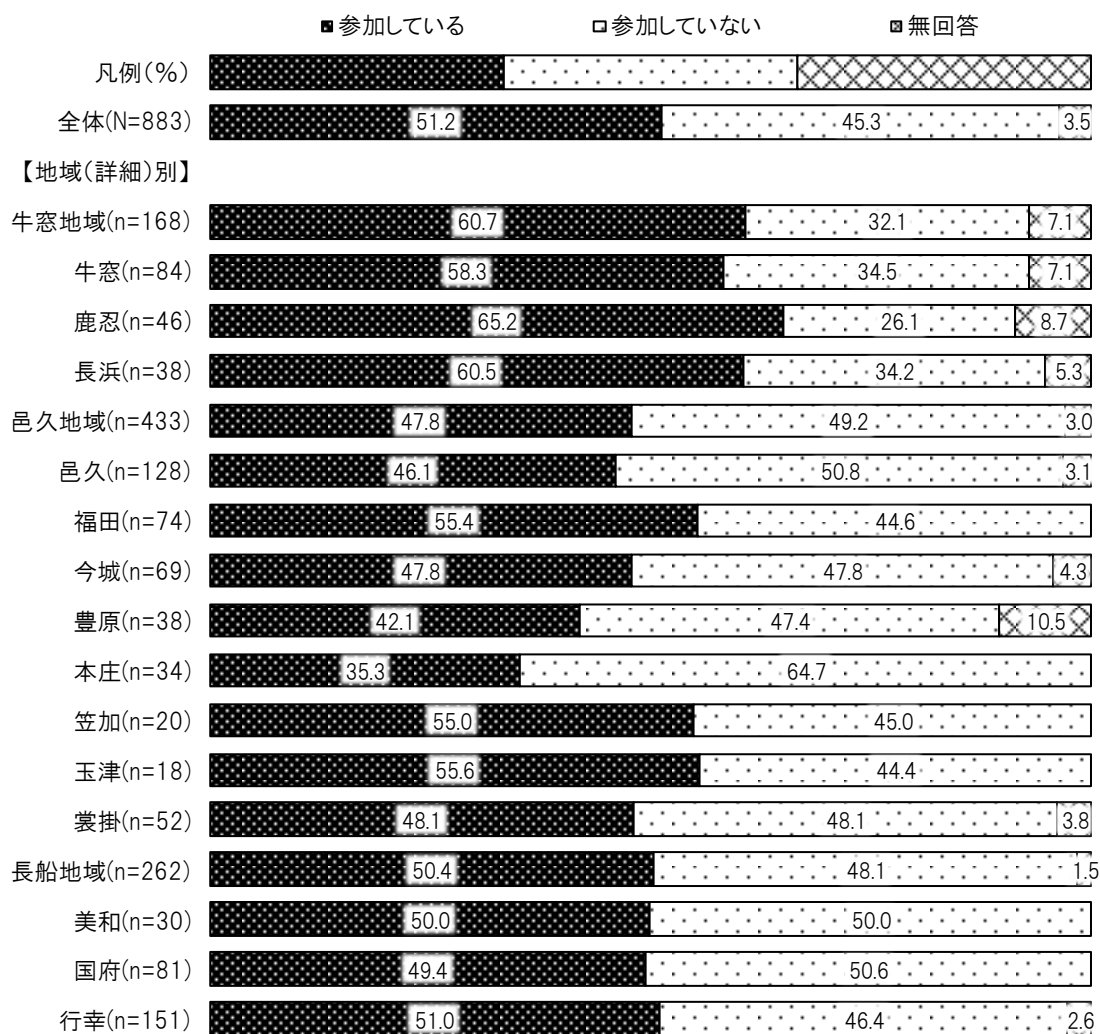
地域コミュニティ活動参加状況については、「参加している」が51.2%、「参加していない」が45.3%であった。

性別では、女性に比べて男性で「参加している」が高く、年齢別では、29歳以下の8割以上が「参加してない」と回答している。

地域を改善していけるまち実感度別では、実感度が低い層ほど「参加していない」が、おおむね高い。

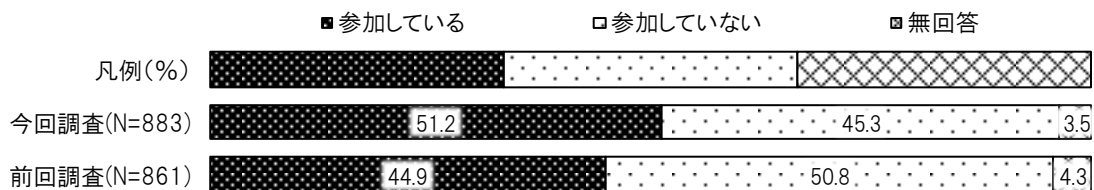


地域別にみると、「参加している」は牛窓、鹿忍、長浜などで高く、「参加していない」は本庄などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「参加している」が増加した。



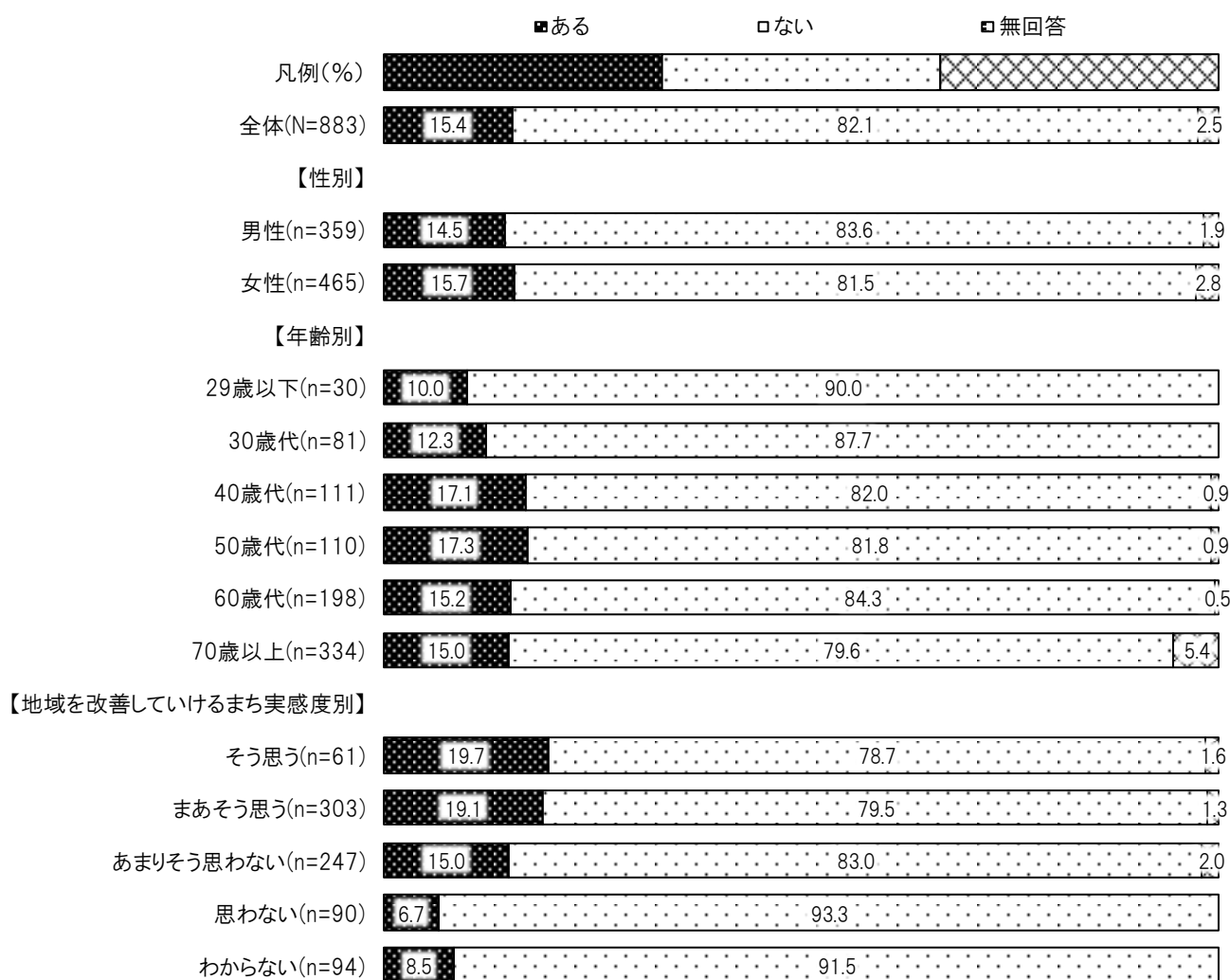
36. ボランティア・NPO活動参加経験

(36) あなたは、過去1年間にボランティア、NPO活動に参加したことがありますか

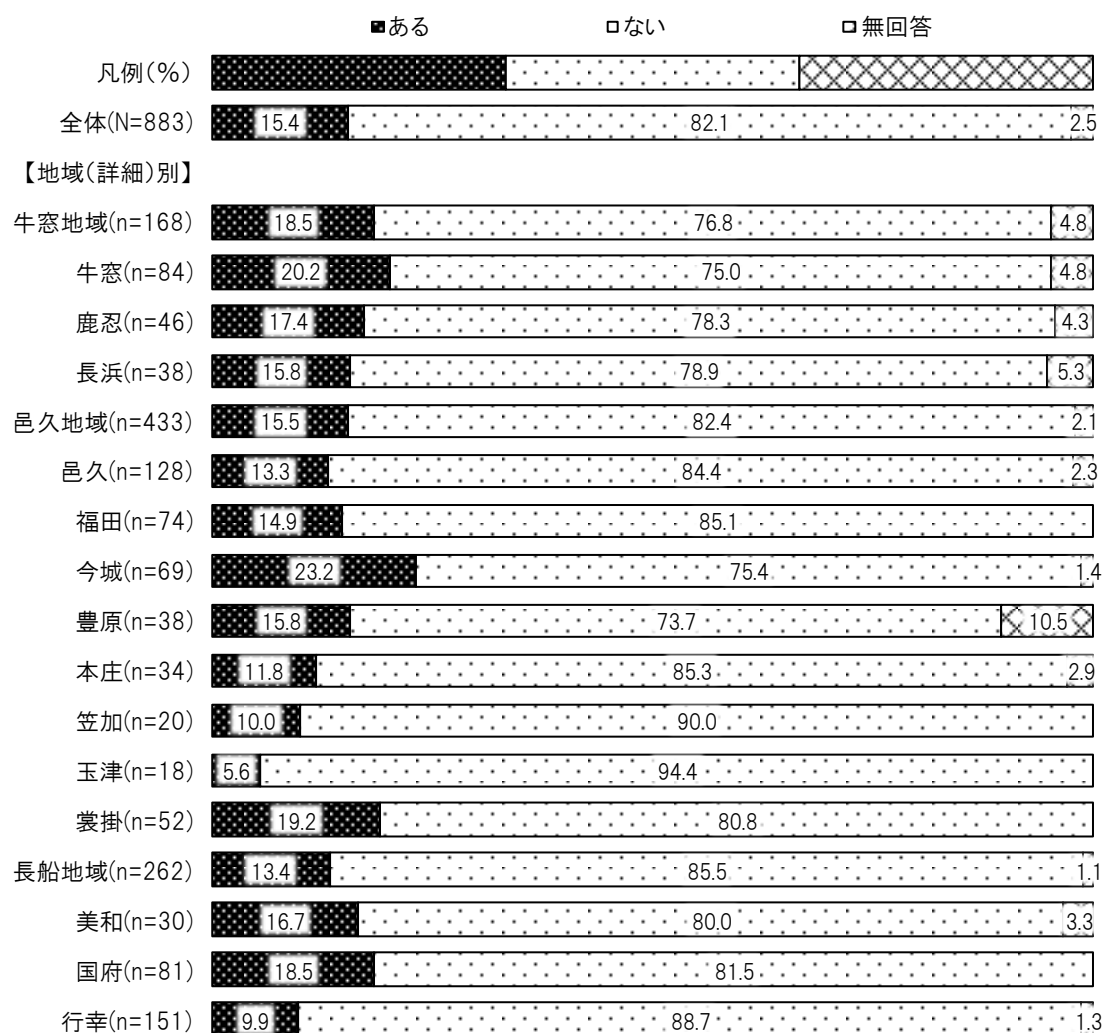
ボランティア・NPO活動参加経験については、「ある」が15.4%、「ない」が82.1%であった。

性別による目立った差はみられないが、年齢別では、29歳以下の9割が「ない」と回答している。

地域を改善していけるまち実感度別では、実感度が高い層ほど「ある」が高くなる傾向にある。

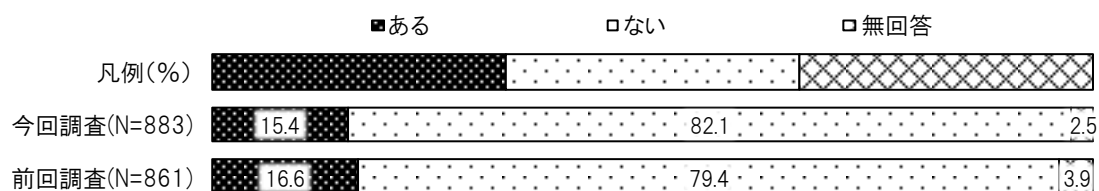


地域別にみると、「ある」は今城などで高く、「ない」は笠加、玉津、行幸などで高くなっている。



【前回調査との比較】

前回調査と比べ、「ない」がやや増加した。



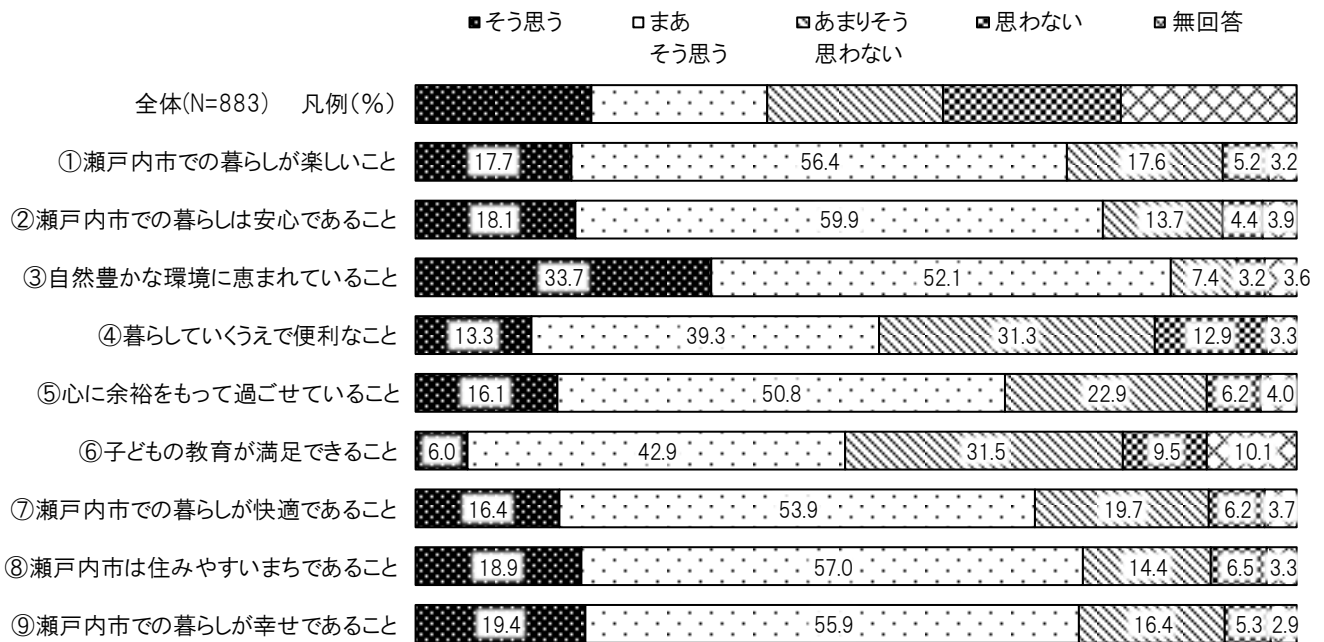
【3】瀬戸内市の暮らしについて

問3. あなたの瀬戸内市での暮らしについておたずねします。下記の(1)~(9)の質問ごとに、回答欄の4つの選択肢から、あてはまるもの1つを選んで、番号に○印をつけてください。

1. 瀬戸内市の暮らしに関する評価

本市の暮らしに関する9項目について4段階評価で回答を得たところ、「そう思う」への回答が最も高かったのは「③自然豊かな環境に恵まれていること」(33.7%)であり、「まあそう思う」(52.1%)と合わせると8割以上(85.8%)を占める。

一方、「あまりそう思わない」、「思わない」と回答した市民の割合は、「④暮らしていくうえで便利なこと」(44.2%)、「⑥子どもの教育が満足できること」(41.0%)などで高くなっている。

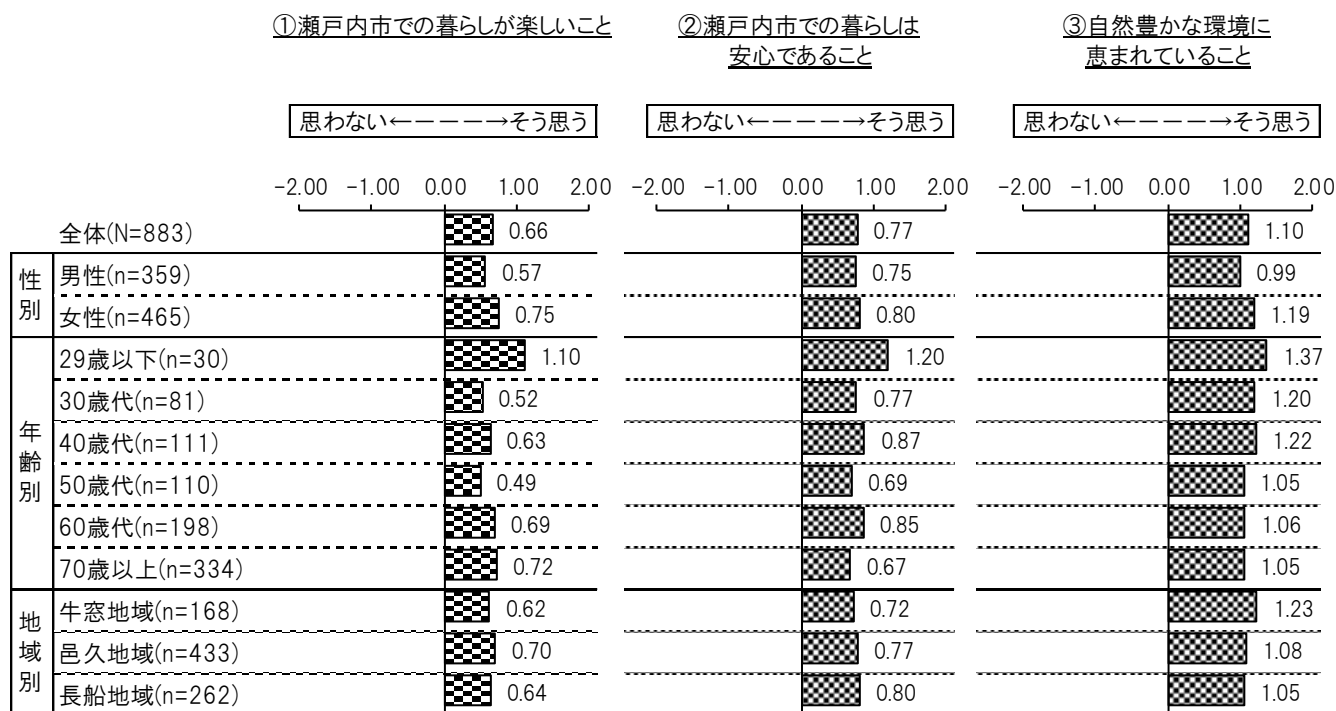


平均評定値による属性別傾向をみると、性別では、すべての項目で女性の肯定的評価が男性のそれを上回っており、とくに「⑤心に余裕をもって過ごせていること」は女性で高く、男女差が大きい。一方、男性で「⑥子どもの教育が満足できること」は否定的な評価となっている。

年齢別でみると、若い年齢層ほど「③自然豊かな環境に恵まれていること」、「⑤心に余裕をもって過ごせていること」、「⑦瀬戸内市での暮らしが快適であること」、「⑧瀬戸内市は住みやすいまちであること」、「⑨瀬戸内市での暮らしが幸せであること」の肯定的評価がおおむね高くなる傾向にある。また、29歳以下は他の年齢層に比べ、すべての項目で肯定的評価が高く、その一方で、50歳代は「④暮らしていくうえで便利なこと」、「⑥子どもの教育が満足できること」の否定的評価が高くなっている。

地域別では、牛窓地区でとくに「4. 暮らしていくうえで便利なこと」の否定的評価が他の地域に比べて高い。

○平均評定値（加重平均値）は、「思わない」に－2点、「あまりそう思わない」に－1点、「まあそう思う」に＋1点、「そう思う」に＋2点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、－2点に近いほど反対、＋2点に近いほど賛成を示す指標である。



④暮らしていくうえで便利なこと

⑤心に余裕をもって
過ごしていること

⑥子どもの教育が満足できること

思わない←-----→そう思う

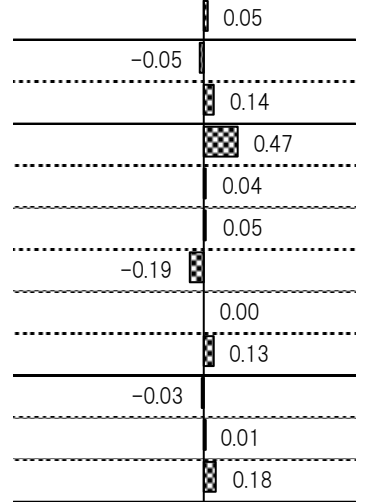
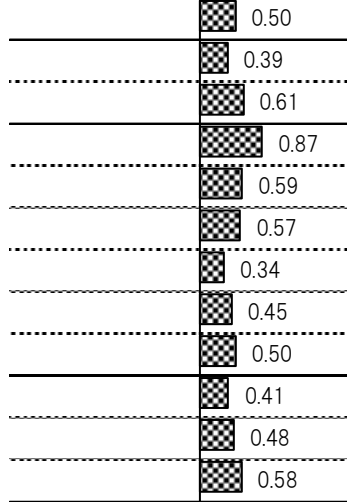
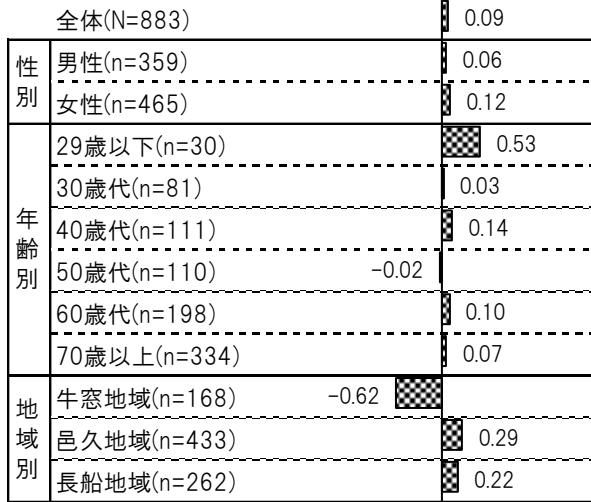
思わない←-----→そう思う

思わない←-----→そう思う

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00



⑦瀬戸内市での暮らしが
快適であること

⑧瀬戸内市は住みやすい
まちであること

⑨瀬戸内市での暮らしが
幸せであること

思わない←-----→そう思う

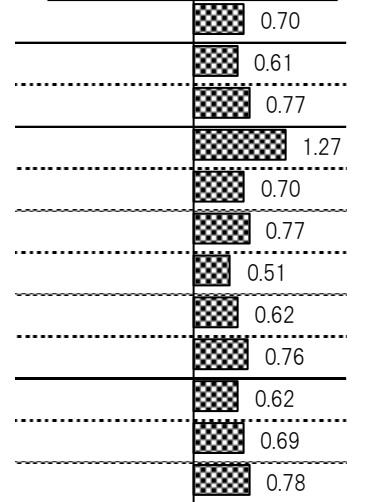
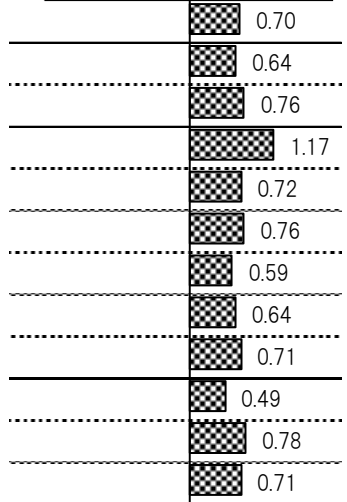
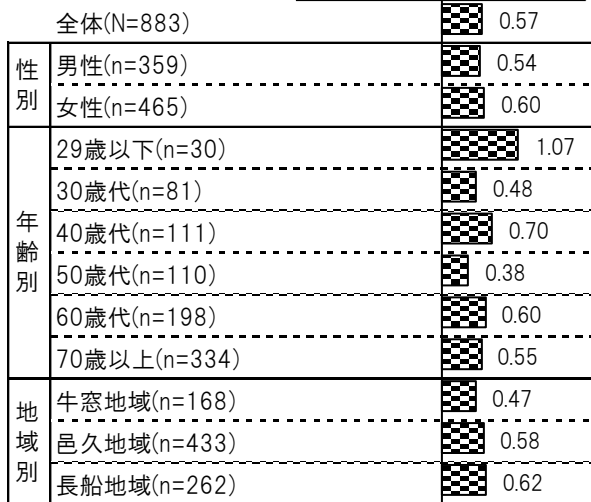
思わない←-----→そう思う

思わない←-----→そう思う

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00

-2.00 -1.00 0.00 1.00 2.00



【4】自由意見

現在または将来に向けての市の行政やまちづくりにご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見の記述欄では、1人の回答者が、複数の意見を記入している場合は分割するなどして、総計500件近い意見がみられた。以下は、それらの内容を項目ごとに整理・分類したものである。

最も多かった意見は、「No. 39 市民ニーズに答える市役所があるまち」が47件で最も多く、次いで「No. 21 自由に行き来できるまち」(42件)、「No. 17 活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち」、「No. 19 便利で快適な道路が通ったまち」(各34件)、「No. 9 質の高い医療が受けられるまち」(27件)、「No. 10 安心して笑顔で子育てできるまち」(21件)などの順となっており、市民ニーズへの対応を筆頭に、公共交通機関や道路の整備、医療などが上位に上がっている。

【自由意見集約結果】

施策大綱	分類No.	施策	今後の主な取組(略表記)	回答件数
未来に輝く人づくりと文化の創造	1	みんなの思いやりがあふれるまち	人権教育・人権啓発	2
	2	子どもが楽しく学び成長が実感できるまち	学校教育	20
	3	子どもの成長をみんなで見守るまち	家庭教育	5
	4	互いに学びあい、教えあい、人がつながるまち	生涯教育	10
	5	スポーツを通じ健やかに暮らせるまち	スポーツ活動の場と機会	6
	6	国際社会にはばたく人を育むまち	国際理解のための学習機会	0
	7	歴史や文化を大切にすまち	文化財の保護と保存	0
健やかに暮らすの現実	8	健やかに暮らせるまち	健康づくり活動への理解と意識啓発	5
	9	質の高い医療が受けられるまち	医療体制の充実	27
	10	安心して笑顔で子育てできるまち	子育て家庭への情報提供・相談体制	21
	11	働きながらでも安心して子育てできるまち	保育サービス	5
	12	高齢者が元気なまち	高齢者の社会参加	4
	13	いくつになっても安心して暮らせるまち	ニーズに合った介護・福祉サービス	18
	14	障害者がいきいきと暮らせるまち	障がい者の自立支援	3
	15	生活に困難を感じる人が自立できるまち	生活困窮者の自立支援	4
	16	地域ぐるみで支えあうまち	地域福祉	2
安全・安心で快適な暮らしの実現	17	活力を生み調和のとれた土地利用を進めるまち	土地利用の促進	34
	18	住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまち	定住促進	5
	19	便利で快適な道路が通ったまち	道路整備	34
	20	河川・海岸・港湾が整備された安心なまち	河川の改修	3
	21	自由に行き来できるまち	公共交通機関の利用促進	42
	22	便利な情報ネットワークがあるまち	行政手続きにおけるオンライン化の促進	3
	23	安全で良質な水が飲めるまち	上水道の整備	7
	24	きれいな水を未来へ渡すまち	下水道の整備	8
	25	環境に配慮したまち	ゴミの減量	8
	26	人と地球にやさしいまち	新エネルギーの導入	2
	27	光輝く自然・まちなみが残るまち	自然景観の保存	7
	28	防災意識の高いまち	防災・災害の防止	17
	29	交通事故がないまち	交通安全教育・啓発	2
	30	地域みんなで防犯に力を入れているまち	市民の防犯意識	10
	31	消費者を守り育てるまち	消費者教育の実施	0
魅力ある観光都市の創出	32	農林業にやりがいを見出すまち	農業後継者の確保と集落営農組織の育成	6
	33	水産業に活力が生まれるまち	獲る漁業から育てる漁業への転換	2
	34	商業の経営の安定化に取り組むまち	買物環境の創出	19
	35	工業が進出しやすく経営が安定するまち	企業間の相互連携	8
	36	雇用・労働環境が整ったまち	雇用機会の創出	8
	37	にぎわいと活気のある観光のまち	にぎわいと活気のある観光	19
(※)市民と協働	38	透明で聞かれた市役所があるまち	市民公聴会の実施	6
	39	市民ニーズに答える市役所があるまち	財政のスリム化	47
	40	みんなが知恵を出しあい助けあうまち	NPO等市民活動の支援	17
	41	その他	その他	46
合計				492

(※)市民と市役所が協働で進める自主自立した都市の実現